

わたしたちの重信町

小学校 3・4年生 社会科資料 改訂版



重信町教育委員会編

改訂にあたって

新指導要領の移行に伴い、時代の変化に対応できる豊かな人間性の育成を目ざして、このたび三・四年生の社会科副読本「わたしたちの重信町」が改訂されますこと、大変意義深く思います。

二年前改訂された本書と、躍進を重ねる重信町を対比しますと、その変貌はめざましく、二万人を越す人口、産業、文化の量的な充実等々、名実ともに、愛媛県の雄町として成長致しました。その歩みを平明に、深く広く的確にと、編集委員の先生方が日夜をいとわず、長い月日をかけ、心を合わせての御苦労が見事に結実致しました。内容につきましては、正確さに力点を置き、「一枚の写真」「一行

の文章」にも心血をそそぎ、指導要領改正の精神を十分に表現したものです。

本書の活用にあたりましては、社会科全体の流れの中で、重信町の地域社会のしくみ、実体をいきいきと認識させるとともに、身をもって体験する「特別活動」の時間の中にも生かされて、郷土を愛し、感謝し、郷土に奉仕する心を養い、二十一世紀を生きるたくましい人間として育ってほしいと念願しております。

本書発刊にあたり、指導助言をいただいた方々、及び編集委員の皆様方に、厚く御礼申し上げます。

平成四年三月

重信町教育委員会

教育長 高橋 謙 一

もくじ

- 改訂にあたって
- 重信町の地図
- 学校のまわりのようす

三 年

一 すみよい町に……………

- (一) 明るくゆたかなくらしを…………… 1
- 1 公民館…………… 1
- 2 町立図書館・歴史民俗資料館…………… 6
- 3 そのほかのしせつ…………… 8
- (二) 美しい町をつくる…………… 9
- 1 よごれた川…………… 9
- 2 かせんじきのせいび…………… 9

二 わたしたちのすんでいるところ…………… 10

- (一) 学校のまわりをたんけんしよう…………… 10
- (二) 重信町の土地のようすをしらべよう…………… 12

三 わたしたちのくらしと商店がい…………… 15

- (一) よく買い物に行く店…………… 17
- (二) 重信町の商店がい…………… 18
- (三) 商店がいのくふう…………… 21

四 土地にあわせた人びとの仕事…………… 28

- (一) 重信町の人びとの仕事をしらべよう…………… 28
- 1 田や畑で作っているもの…………… 29
- 2 工場で作っているもの…………… 31
- 3 山地で作っているもの…………… 32
- 4 重信町の人びとの仕事…………… 33
- (二) 農家の仕事のくふう…………… 34
- 1 米作りのくふう…………… 35
- 2 米がしょうひ者にとどくまで…………… 41
- 3 米作りがいの農家の仕事…………… 42
- (三) 工場の仕事のくふう…………… 44
- 1 よい乳せい品を作るくふう…………… 46
- 2 よいげんりようを買い入れるくふう…………… 48
- 3 作ったものを売るくふう…………… 49
- 4 公害をふせぐくふう…………… 50
- 5 はたらく人びとの楽しみ…………… 51

五 重信町のくらしのうつりかわり…………… 52

- (一) 重信町のうつりかわり…………… 52
- 1 学校ができたころの重信町のようす…………… 53
- 2 鉄道が通ったあとのかわりかた…………… 55
- 3 大きなせんそうのあと…………… 58
- (二) 家にのこされている古い道具…………… 65
- (三) 町にのこされている古い行事…………… 68

四年

一 住みよい生活……………74

(一) わたしたちのくらしと重信町の水……………74

1 重信町の人びとのくらしと水道……………74

2 水道が使える地いきの広がり……………75

3 簡易水道のしくみ……………77

4 下水のしまつ……………79

(二) ごみを少なくする運動……………80

二 安全な生活……………84

(一) 火事をふせぐ作戦……………84

1 火事を早く消すために……………84

2 もえない町づくり……………88

(二) 交通事故のない町に……………90

1 ふえる交通事故……………90

2 交通事故をふせぐ……………91

三 地いきの開発……………93

(一) たりなかつた農業用水……………93

1 野田・牛湫の田に引く水……………93

2 三が村掘貫水門の見学……………94

3 三が村掘貫水門がつくられる前のようす……………96

(二) 農業用水の開発……………97

1 橘並右衛門のはたらき……………97

(おとしよりから聞いた話)

2 ため池の利用……………99

3 面河ダムの水……………101

(三) 大がかりな開発事業……………103

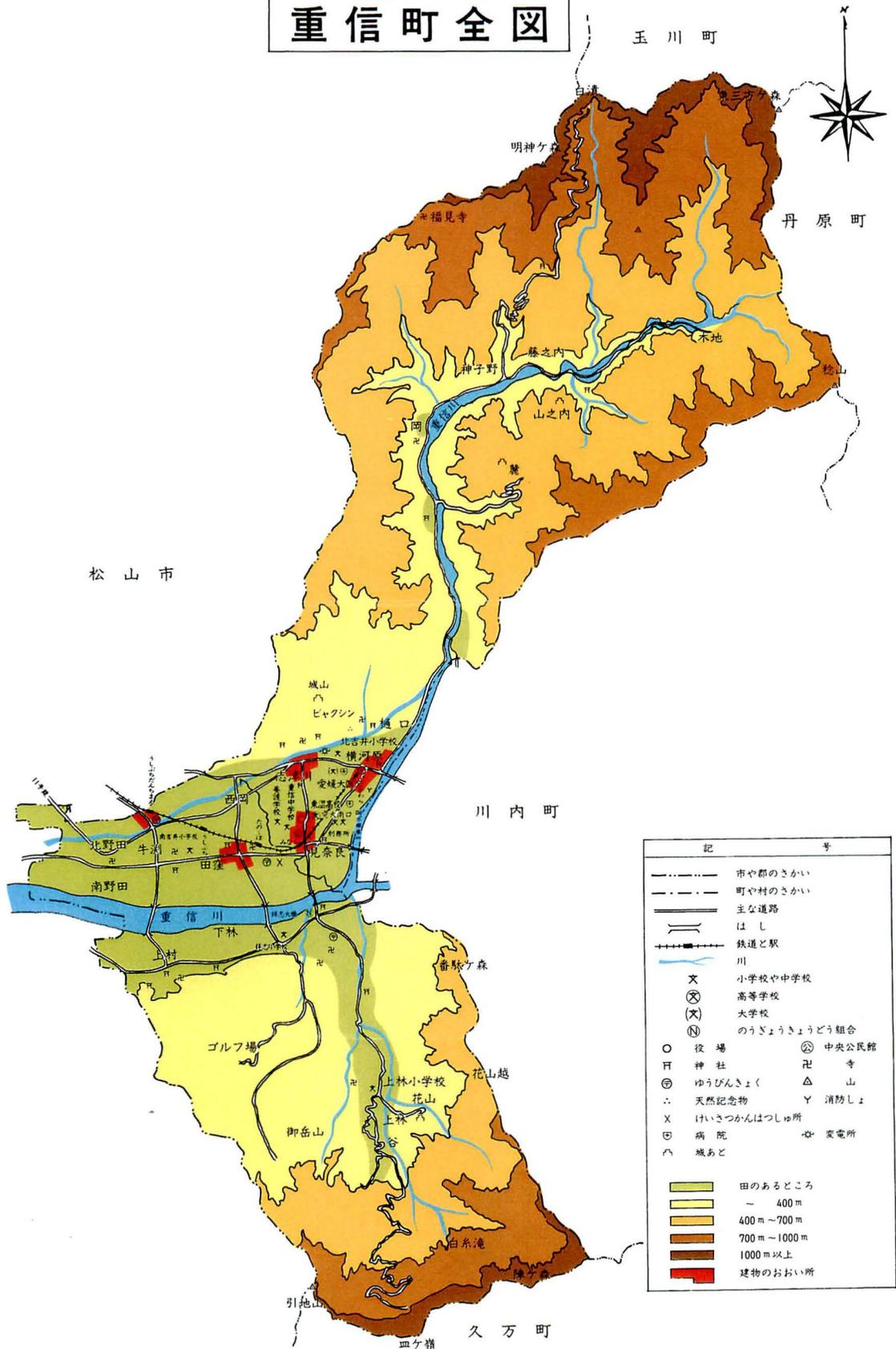
1 ほ場整備……………103

重信町の指定文化財……………105

○ 年表……………

○ 重信町地図……………ふくろ入り

愛媛県 温泉郡 重信町全図



記号	
-----	市や郡のさかい
- - - - -	町や村のさかい
====	主要道路
====	はし
—+—+—+—+—+—	鉄道と駅
~~~~~	川
⊗	小学校や中学校
⊗	高等学校
⊗	大学校
⊗	のうぎょうきょうどう組合
○	役場
⊗	中央公民館
卍	神社
卍	寺
⊕	ゆうびんきょく
△	山
⋯	天然記念物
Y	消防しよ
X	けいさつかんはつしよ所
⊕	病院
⊕	変電所
△	城あと
■	田のあるところ
■	— 400 m
■	400 m ~ 700 m
■	700 m ~ 1000 m
■	1000 m 以上
■	建物のおおい所



学校のまわりのようす ㊦



5



5



元



天然林と人工林



町立図書館  
歴史民俗資料館

町民会館

# 一 すみよい町に

## (一) 明るくゆたかなくらしを

### 1 公民館

わたしたちの重信町には、中央公民館を  
中心に、二十二の分館があります。これら  
の公民館は、地いきの人びとのくらしに、ど  
のように役立つているのでしよう。

重子さんは、夕ごはんのとき、お母さんか  
ら、

「今夜は、公民館でお花のけいこがあるから、  
夕ごはんを早くすませて行くので、おすい  
じを手つだつてね。」

と、言われました。重子さんは、お手つだい  
しながら、公民館ではお花のほかにどんなこ  
とをしているのか、聞いてみました。すると、



お年よりのクロッケー



お茶のけいこ

次のように話してくれました。

「公民館では、お花のほかにお茶やお料理を習っているお母さんがたもいるし、詩ぎんやお習字をしているお父さんがたもいるのよ。また、昼ま集まってクロッケーをしたり、ごやしようぎを楽しんでいるお年よりもいるわよ。重子も一度見学に行くといいわね。」

このように公民館は、地いきの人びとのために、いろいろと使われていることがわかりました。

そこで、重子さんたちは、公民館のことについて、みんなでくわしくしらべることになりました。

△重子さんたちのしらべるけいかく▽

しらべること	しらべかた
○公民館のようす ・しごこのしゅるい ○公民館の役わり ・地いきの人びとのための役目	・公民館を見学してしらべる。 ・公民館に人が集まっているとき、何をしているのか聞いてみる。 ・お父さんやお母さんに聞く。

① 地いきの公民館

公民館はどんなしごとをしているか、見学してしらべてみましょう。

重子さんたちは、日曜日に、公民館長さんにおねがいして、公民館を見学させてもらうことにしました。この公民館は、十年ほど前に新しくたてかえられたもので、中に入ると、たたみの部屋では、お年よりの人たちが、楽しそうにしょうぎをしていました。ろうかの黒板には、今月の予定が、ぎっしりと書きこまれていました。

6	5	4	3	2	1	日
月	日	土	金	木	水	曜
詩ぎん	紙人形づくり	バレーボール	みんなよう	料理教室	さどこう (お茶)	十月のぎょうじ予定表

11	10	9	8	7
土	金	木	水	火
バレーボール	ソフトボール	日本ぶよう (おどり)	けんこうそうだん	バレーボール

② 中央公民館

中央公民館は、どんなしごとをしているのでしよう。

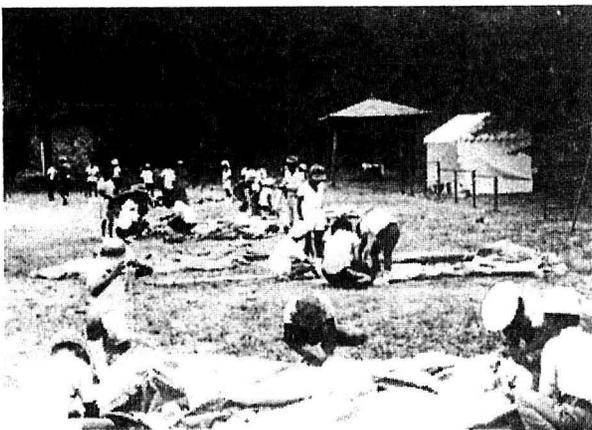
重子さんたちは、学校から帰ると、近くにある中央公民館をたずね、公民館の主事さんから、いろいろとお話を聞きました。

それによると、地いきの分館では、その地いきの人々がそうだんしてけいかくを立て、自分からすすんで活動していますが、中央

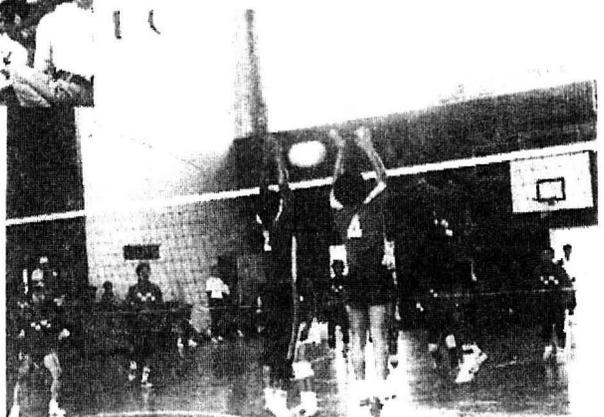
公民館では、町全体の人びとのむすびつきを深めたり、分館だけではできないようなぎょうじをけいかくしたりして進めています。

町内の代表の人でつくっている公民館うんえいしんぎ会の委員のかたたちが、一年間のぎょうじのけいかくを立て、中央公民館のかかりの人がおせわをして、しごとを進めるようにしているのだそうです。

健康マラソン大会	町民大学	わんぱく広場	町民運動会	おもなぎょうじ	活動の中み
みんなが気軽に参加できるマラソン大会	有名な人のお話	キャンプ・紙ねんど・文化ざいめぐり	分館たいこう運動会		



わんぱくひろば



せいじん成人バレーボール大会

子どもスポーツ大会	ソフトボール・ミニバスケットボール
成人スポーツ大会	分館たいこうソフトボール大会 パレーボール大会
PTA研究大会	お父さんやお母さんがあつまって、 子どものよいそででかたの話しあい
歩行ラリー	きめられたコースを正しくまわって くるきようぎ
さらがみね登山	町民遠足一日登山
青年教室	世の中のことを広く学習する
四〇〇歳駅伝大会	中学生クラブたいこう駅伝 分館たいこう四百歳駅伝
中央婦人学級	世の中のことやよいかてい生活 についての学習
しゅみの教室	ペン習字・英会話・しよどう・ やきもの・はいく・たんかなど
中央料理教室	おいしい料理のじようずな作り かた

中央公民館の一年間のおもなぎょうじ

公民館は、わたしたちのくらしに、どのように役立つているのでしよう。

重子さんたちは、公民館を利用したことのある人のお話を聞くことにしました。

広子さんのお母さんは、お料理がとてもとくいです。中央公民館の料理教室には、いつもさんかしています。そして、



「今日は、こんなおかしの作りかたを習ったのよ。」  
 と言って持って帰ってくれたり、家でおやつを作ってくれたりするそうです。

信夫さんのお父さんは、会社につとめていますが、ソフトボールが大すきです。日曜日



ぶんかん  
分館たいこうソフトボール大会

がくると、待ちかねていたように、練習やし  
合に出かけます。また、近ごろは、学校にナ  
イターのせつびがあるので、夜、練習に出か  
けることも多くなりました。今度の公民館た

いこうソフトボール  
大会には、何として  
でもゆう勝したいと、  
いまからはりきって  
いるそうです。  
みなさんも、お家  
の人や近所の人から  
いろいろとお話を聞  
いてみましょう。

重信町には、中央

公民館と老人ふくし

センターを一つにま

とめた町民会館があ

ります。

一階は老人ふくし

センター、二階と三

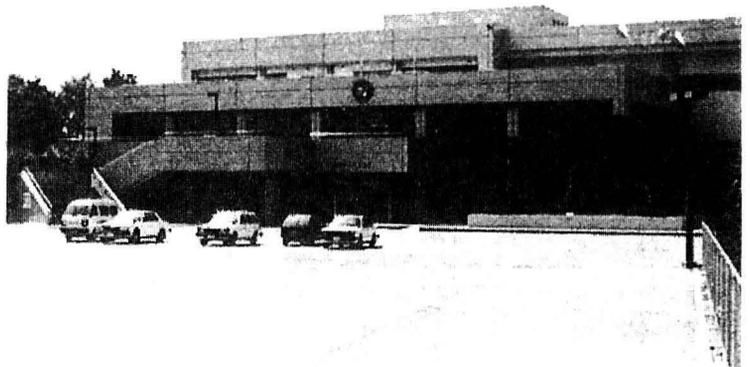
階は中央公民館の役

目をしているりっぱ

なたてものです。

## 2 町立図書館・歴史民俗資料館

重信町では、「うるおいとやすらぎの文化  
でんえん都市」を目ざして、町にすむ人びと  
のねがいをかなえるために、町立図書館・歴



町民会館

史民俗資料館を作りました。



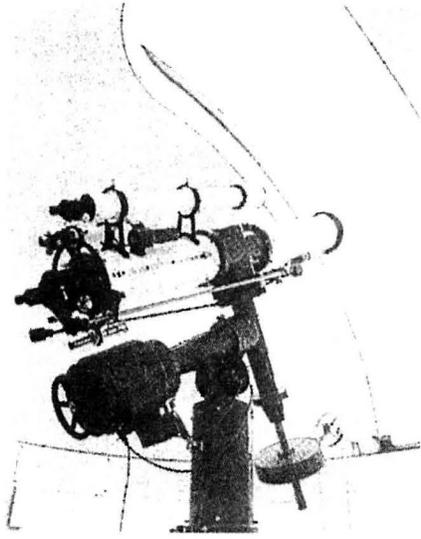
図書館

図書館

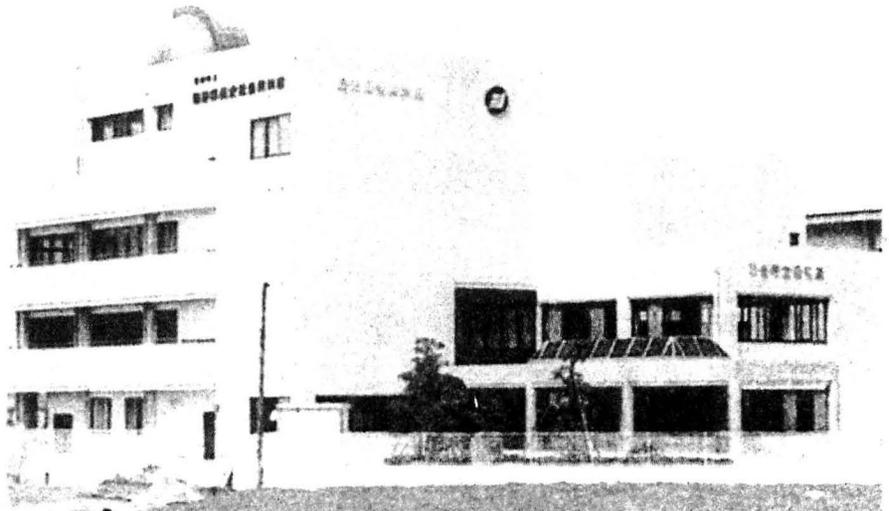
には、七  
百さつも  
はいる自  
動車で、  
町内をま

一階と二階は図書

館、三階は歴史民俗  
資料館になっていま  
す。四階には、先生  
がたのきぼうで、天  
体ぼう遠きようをそ  
なえた天体かんそく  
室があります。



天体ぼうえんきよう



町立図書館・歴史民俗資料館

わって、本をかしたす自動車文庫があり、天  
体かんそく室には、昼ま利用でできるプラネタ  
リウムなどがあります。

### 3 そのほかのしせつ

そのほかにも、町の人びとのくらしを高め  
るしせつとして、重信川緑地公園・重信町ト  
レーニングセンター・五十メートルコースの  
重信町民プールなどがあります。

これらのしせつは、人びとに、たいへん利  
用ようされています。

#### △学習のまとめ▽

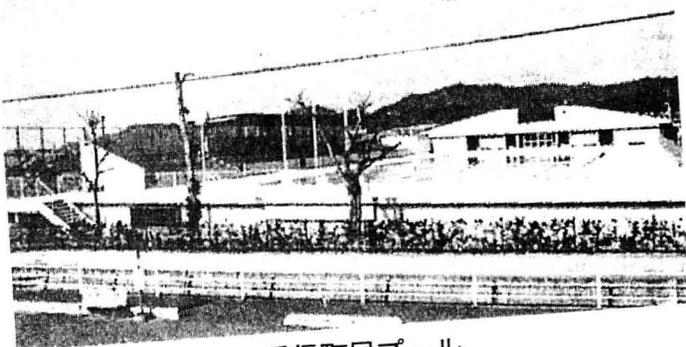
重信町では、人びとのくらしをゆたかにす  
るために、どのようなふうをしているか、  
まとめてみましょう。

- 一番近くの公民館は、どこにありますか。
- 公民館は、どんなおしごとをするところ  
でしたか。
- 人びとのくらしをゆたかにするためのし

せつで、公民館のほかに、どんなものがあ  
りますか。



重信町農林業者  
トレーニングセンター



重信町民プール

## (二) 美しい町をつくる

### 1 よごれた川

お父さんやお母さんが子どもだったころに  
くらべると、このあたりも急に家がふえてき  
て、小川にも、下水がたくさん流れこむよう  
になりました。また、ごみをすてる人も多く  
なって、年ごとに、川のよごれはひどくなっ  
ていきました。

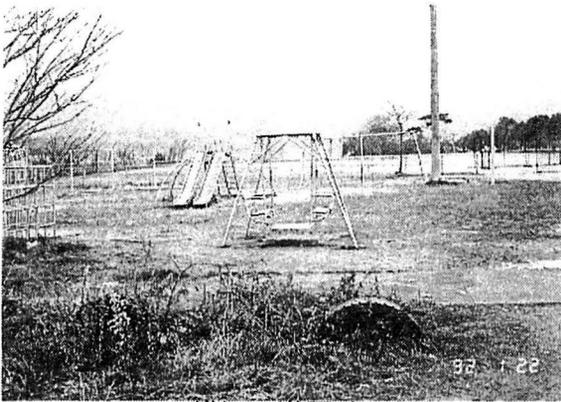
川は、一度よごれると、なかなかきれいに  
はなりません。広場や遊園地がよごれてい  
ても、そのよごれは、しだいに川へ流れこんで  
いくからです。

そこで、「地いき全体を美しくしよう」と  
いう考えの人が、どんどんふえてきました。  
こうして、クリーン運動がはじまったのです。

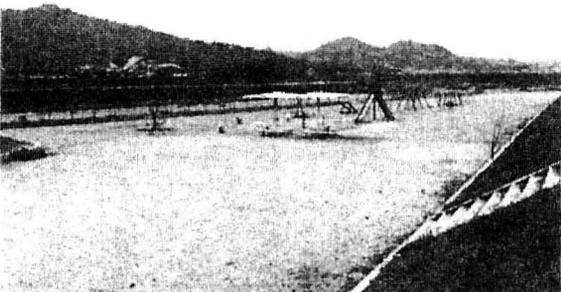
### 2 かせんじきのせいび

川を美しくするために、大きい川では、川  
の中だけでなく、ていぼう全体のせいびにと  
りかかりました。

とくに、かせんじきをきれいにし、公園  
や遊園地に作りかえました。みなさんの近く  
には、どんなところがあるでしょう。



横河原遊園地



重信川緑地公園

## 二 わたしたちのすんでいるところ

### (一) 学校のまわりをたんけんしよう

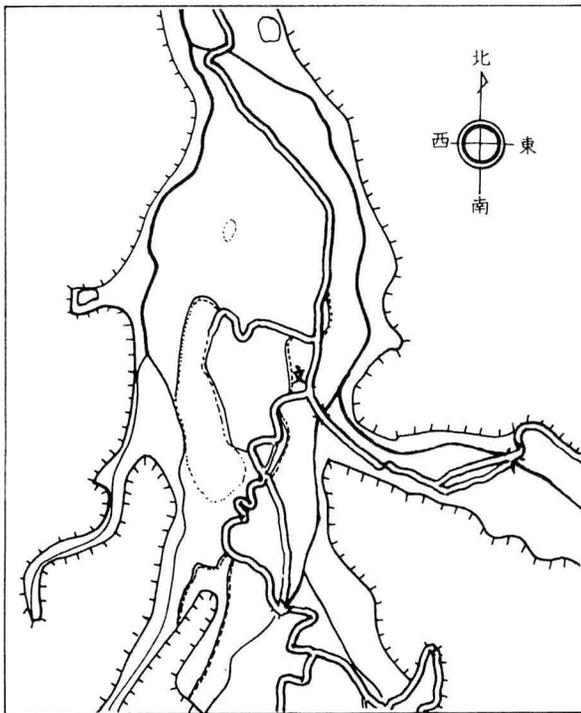
学校のまわりのようすは、どのようになっているのでしよう。

上林小学校の正夫まさおさんたちは、次のような学習問題がくしゅうもんだいをつくりました。

#### △学習の問題▽

どれが、わたしたちの学校のまわりの写真しゃしんだろう。

話し合けんどうって見当けんとうをつけましたが、はっきりしないので、くわしくしらべてみることにしました。



かみばやし  
上林小学校のまわりの白地図

しらべること

- 。土地のようす
  - 。小高いところ
  - 。高いところ
  - 。土地のつかいかた
  - 。土地の小高いところ
  - 。田や畑のようす
  - 。たてもののようす
  - 。土地の高いところ
  - 。森や林のようす
- とくにめだつめじるしについて、ちゅういする。

しらべかた

- 。白地図をつかって、土地の小高いところ、高いところ、川などに色をぬる。
- 。歩いてしらべる
- 。学校より北の方へ
- 。学校より南の方へ
- 。わかったことを白地図にかき入れ、絵地図をつくる。

正夫さんたちは、学校のまわりのようすをしらべて、わかったことを次のようにまとめました。

△正夫さんのまとめ▽

ぼくたちがつくった地図と、こう空写真とをくらべたら、**え**がぼくたちの学校のまわりの写真だとわかった。

△そのわけ▽

- ① 学校のまわりは、三方を山がとりかこむようにつづいている。
- ② 北の方がひらけている。
- ③ 県道をはさんで、だんだんになった田が、山のふもとまで広がっている。
- ④ 家は、道路ぞいにちらばっているが、だいたい地いきごとにまとまっている。

みなさんも、学校のまわりのようすをしらべて、地図をつくってみましょう。そして、学習してわかったことをまとめてみましょう。

わたしたちの学校のまわりの地図をはるところ（地図の左下のほうにのりづけをして、ここにはり、おりこんでおきましょう。）

のりづけ

(二) 重信町の土地のようすをしらべよう

重信町全体の土地のようすは、どのよう  
 になっているのでしょうか。

正夫さんたちは、ほかの三枚のこう空写真  
 は、重信町のどのあたりのものをたしかめ  
 するために、町全体の土地のようすや土地の使  
 い方をしらべることになりました。

<p>しらべること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重信町の土地のようす</li> <li>・土地の高いところや、ひくいところは、町のどのあたりに広がっているか。</li> <li>・川や道路はどのように通っているか。</li> </ul>
<p>しらべかた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こう空写真<small>しゃしん</small>を見る。</li> <li>・写真で学校のいちを見つける。</li> <li>・おもな道路や川、鉄道<small>てつどう</small>などを見つける。</li> <li>・重信町の白地図に、山地・平地・川に分けて色をぬる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・重信町の土地のつかいかた</li> <li>・平地のつかいかた</li> <li>・店・工場・住<small>じゆう</small>たくの多いところ</li> <li>・田が広がっているところ</li> <li>・小高い土地のつかいかた</li> <li>・田・畑・くだもの畑のようす</li> <li>・高い土地のつかいかた</li> <li>・おかや山地のようす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図やこう空写真を見てしらべる。</li> <li>・家の人たちと出かけたり遠足に行ったりしたときのことを思い出す。</li> <li>・しらべたことは、重信町の白地図<small>さくちず</small>に、教科書<small>きょうかしょ</small>の記号<small>きごう</small>や、色分けてまとめる。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できあがった地図を見て、重信町の土地のようすや使い方がどうなっているか、学級で話し合いました。

• 平地は……………

• 山地は……………ふもとには……………

• 道路は……………

• 鉄道は……………

• 重信川の上流……………中流……………

わかったことをまとめてみましょう。

できあがった地図を見ると、場所によって土地のようすや使い方にちがいがあることがわかります。

正夫さんたちは、できあがった地図やどこみの地図と三まいのこう空写真をくらべて見ました。

⑥は

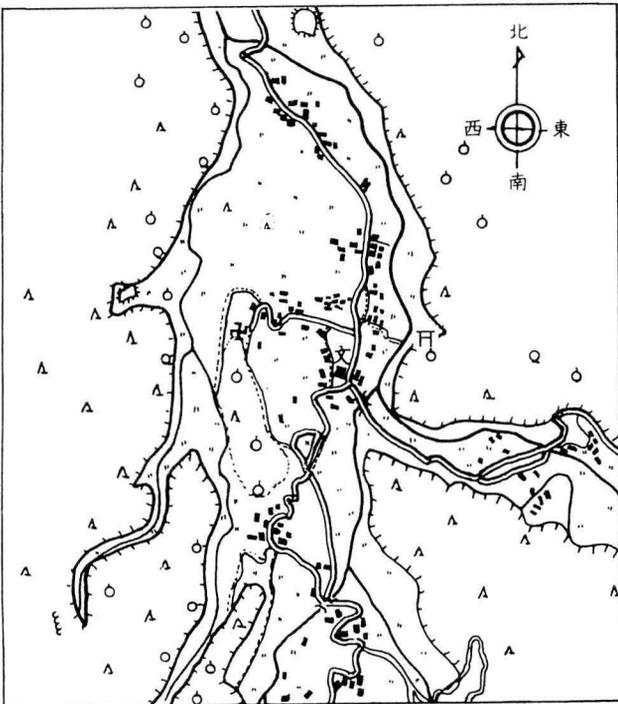


小学校のまわり

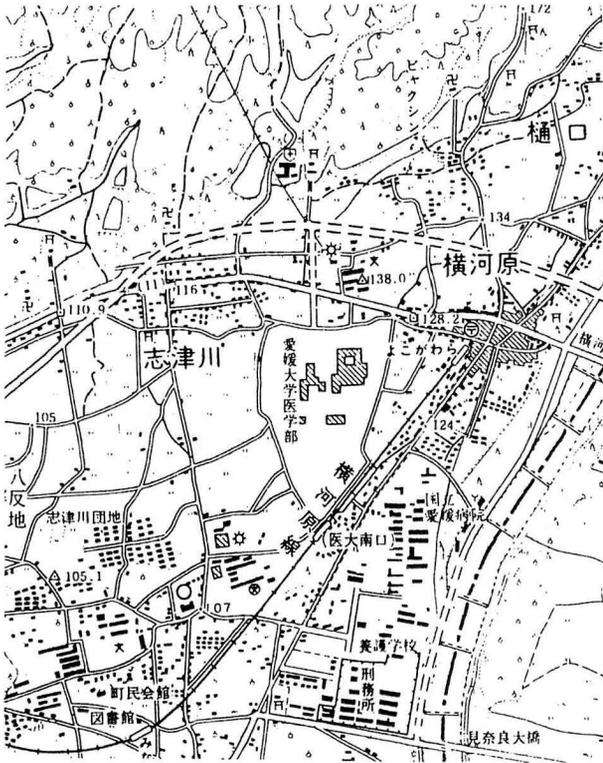
①は  小学校のまわり  
②は  小学校のまわり  
の写真だとわかりました。

△正夫さんがぎもんと思ったこと▽

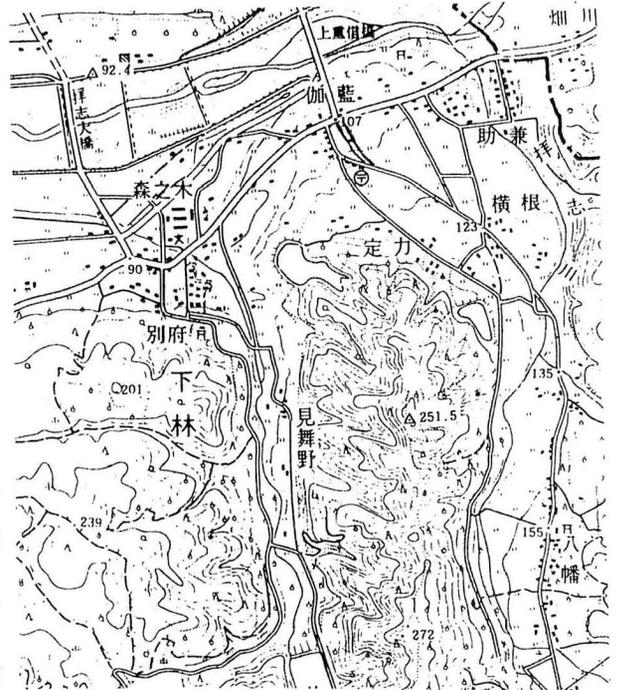
土地のようすがちがうと、土地の使い方もちがっている。すると、そこに住んでいる人びとのくらしや仕事にも、ちがいがあるのだろうか。



かみばやし 上林 小学校のまわりの地図



北吉井小学校のまわりの地図



拝志小学校のまわりの地図

上林校区、拝志校区、南吉井校区、北吉井校区は、どのようなちがいがあるか、見くらべましょう。

地図の記号	

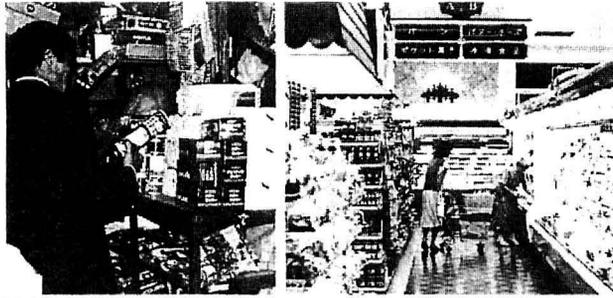


南吉井小学校のまわりの地図

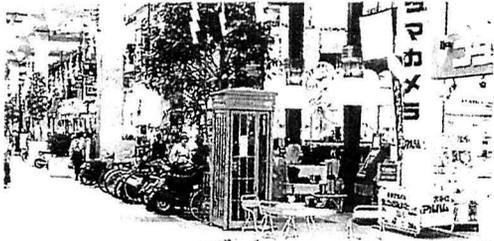
### 三 わたしたちのくらしと商店がいしょうてん

みなさんのすんでいるところには、どのよ  
うな商店がいが見られますか。

さまざまな商店がいやスーパーマーケット  
は、わたしたちのくらしと、どのようにつな  
がりがあるのでしょうか。



ほいし 拜志小学校の近くの店 スーパーマーケット



大かい道商店がい



よこがわら 横河原商店がい

春子さんたちは、二年生のときの「お母さ  
んの買いものしらべ」を思い出し、近くの店  
やスーパーマーケットと毎日のくらしのつな  
がりを話しあいました。

みんなから「近くの店やスーパーマッ  
トでは、いろいろな食べ物ものを売っています。」  
とか「いつも使うものを売っています。」な  
どの意見が出ました。

土	金	木	水	火	月	日	よう日 しなみのみせ
のり	プリン	やさい	レタス	とうふ	牛乳	とうふ	た
パン	かんづめ	さしみ	肉	やさい	やさい	おかし	べ
たまご	さかな	しょうゆ	小魚 こぼんこ	肉	さかな	肉	も
お茶	あぶらげ	あぶら	トマト	みそ	りんご		の
トイレ ペーパー	くすり	せんざい	花			本	そ の ほ か
スー パー マ ー ケ ッ ト	スー パー マ ー ケ ッ ト	スー パー マ ー ケ ッ ト	花 や スー パー マ ー ケ ッ ト	スー パー マ ー ケ ッ ト	スー パー マ ー ケ ッ ト	スー パー マ ー ケ ッ ト	か っ た み せ

買いものしらべ

春子さんたちは、写真を見ながら、

「よこがわら横河原のしょうてん商店がいと、おお大かいどう道にある商店がいと、ずいぶんずいぶんにぎやかさやようすがちがっている。」

などと話しあいました。

近くの店や、にぎやかな商店がいの店は、わたしたちのくらしとどのようになつながらがあるのでしょうか。

春子さんたちは、近くの店や商店がいと人びどのくらしのつながりをしらべてみることにしました。

春子さんたちは、しらべることやしらべかたについてまとめてみました。

しらべること	しらべかた
<ul style="list-style-type: none"><li>・よく買い物にいく店</li><li>・どんな店があるか。</li><li>・どんな物を買っているか。</li><li>・近くの店で買うわけ。</li><li>・商店がいのお客はどこからきているか。</li><li>・商店がいのくふう</li><li>・品物をとりよせるくふう。</li><li>・客をあつめるくふう</li><li>・商店がいのなやみやねがい。</li><li>・松山市とのつながり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地図を書いたり表にまとめたりする。</li><li>・家の人に聞く。</li><li>・商店がいのおじさんから聞く。</li><li>・見たこと聞いたことをまとめる。</li><li>・商店がいのおじさんから聞く。</li><li>・ビデオを見る。</li></ul>

(一) よく買い物に行く店

春子さんたちは、自分のうちでどんなとき、どんなものを近くの店から買っているのかをしらべました。

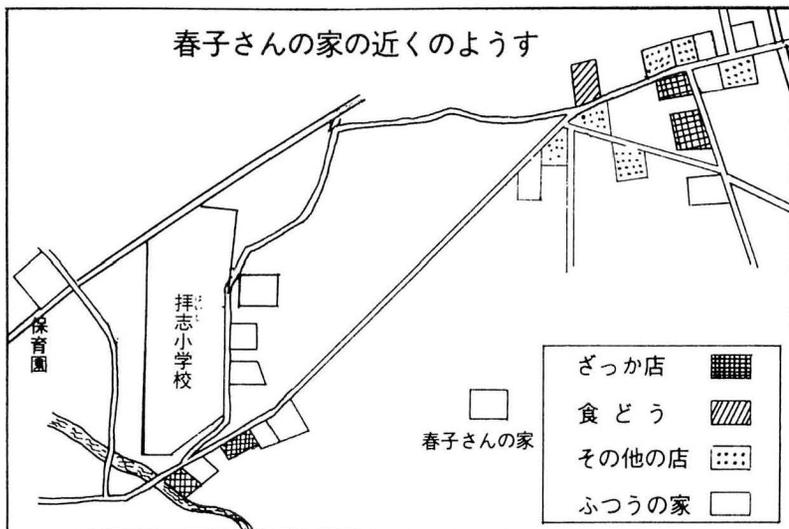
みなさんも、しらべてみましょう。

。毎日の食事にいるもの

。きゅうにひつようになったもの

近くの店は、毎日の食事にいるものや、きゅうにひつようになったものを、まにあわせるやくめをしていることがわかりました。

そこで、春子さんたちは、自分たちの住んでいるまわりには、どんな店があるのかを絵地図にかいてみることにしました。



店のしゅるい	。食べ物売店	けん	。楽しむ物売店	けん
	。石けん・ちり紙売店	けん	。食どう・きっさ店	けん
	。きる物・はき物売店	けん	。そのほかの店	けん
	。きぐ・どうぐ売店	けん		

自分の家の近くの店をしらべて、地図にかいてみましょう。

春子さんは、近くの店の人や、買い物きやくの客のようすを見て、近くの店のよいところをしらべました。

きんじよのおばさんの話

近くだからすぐに買い物にいけない、とてもべんりです。それに、夜おそくいつでも売ってくれるのであんしんです。また、知りあいなので気軽に買え、しな物をえらんでもらえるのでべんりです。

おどくいさんが、ほとんときまっている近くの店では、買い物客が買い物しやすいように、いろいろなくふうをしていることがわかりました。

近くの店で売っているものは、食べ物や毎日のくらしにつかうものだということがわかりました。

## (二) 重信町の商店がいしげのぶちよう しょうてん

近くの店で売っていないしな物ものは、どこで買っているのでしょうか。

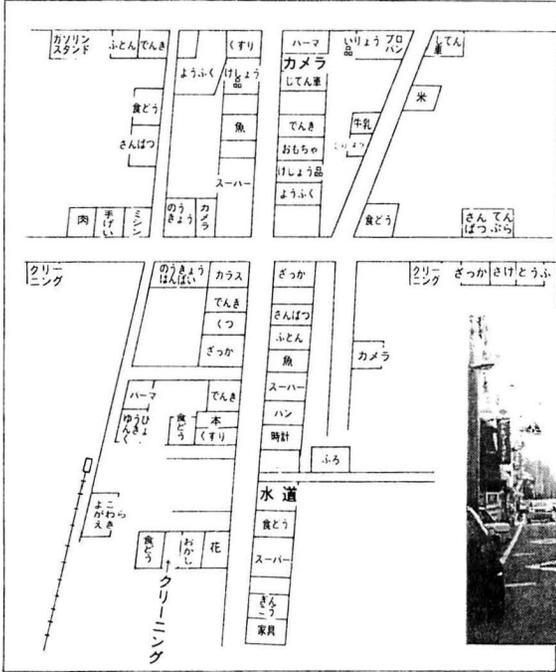
春子さんたちは、きんじよのおばさんに聞いてみました。

きんじよのおばさんの話

近くの店で、毎日のせいかつにひつような物は、だいたい買うことができます。でも、大きなどうぐやでんきせいひんなどは、横河原よこがわらの商店がいや松山の商店がいいで買います。

商店がいには、どうぐやでんきせいひんを売っている店がなんげんかあるので、しな物をくらべ、よいしな物を買うことができます。

よこがわら  
横河原商店がい

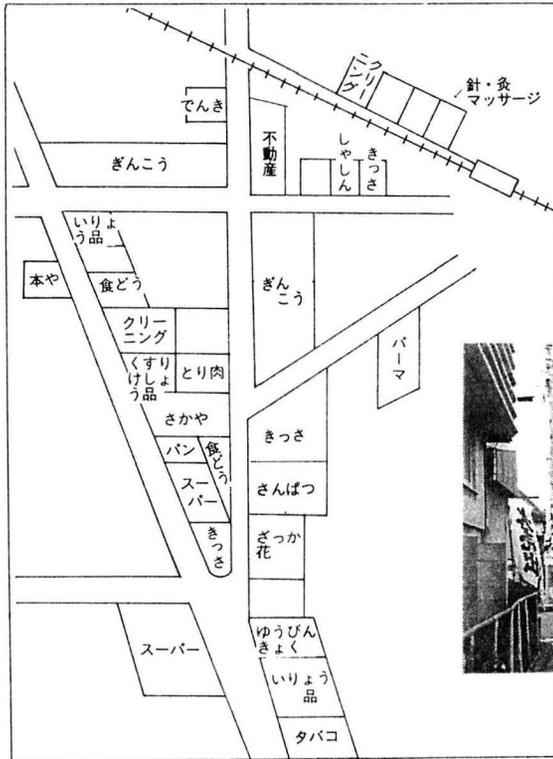


よこがわら  
横河原商店がい

つぎに春子さんたちは、牛淵団地前商店が  
いと横河原商店がいには、どんな店があるの  
か、グループにわかれてしらべ絵地図をつく  
りました。

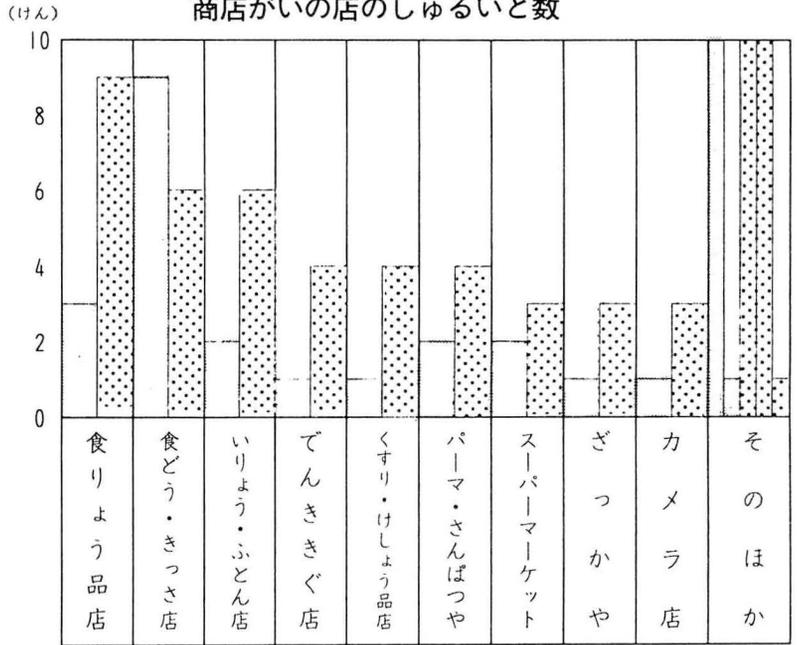
うしぶちだんちまえ  
牛淵団地前商店がい

そして、どんな店が多いのかをいくつかの  
なかまにわけてグラフにまとめました。



うしぶちだんちまえ  
牛淵団地前商店がい

商店がいの店のしゅるいと数



牛澗 牛澗前商店がいの  
よこがわら 横河原商店がいの

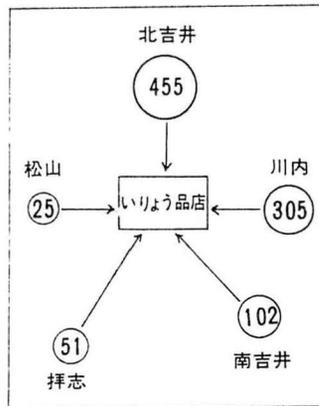
商店がいには、春子さんたちが考えたように、毎日のくらしにつかうものを売っている店の多いことがわかりました。

そして、商店がいは、わたしたちの家のだいたいどころとつながっていると思いました。

商店がいに来るお客は、どこからくるのか横河原商店がいのおじさんに聞いてみることにしました。



いりよう品店



横河原のあるいりよう品店への1か月のお客さんのかず (人) (H3・12)

いりよう品店のおじさんの話  
私の店は洋服店です。やすくていいしな物をあつかっているのです、たくさんのお客さんがきます。重信町はもちろん、川内町や松山市からも買いにこられます。

横河原商店がいは、重信町の人たちだけでなく、川内町からも買いにきています。わかりました。

(三) 商店しょうてんがいのくふう

近くの店や商店がいで売っているしな物は、どこからとりよせてくるのでしょうか。

わたしの家では、毎日の食べ物やぐらしにつかうものの多くを、近くの店や商店がいで買っています。

お母さんは、

「このりんごは、遠い青森県あおもりけんからおくられてきたものよ。」

と話してくれました。

わたしは、店にいつてしらべてみました。店さきには、いろいろなどころからおくられてきている。だんボールを見ることができませんでした。

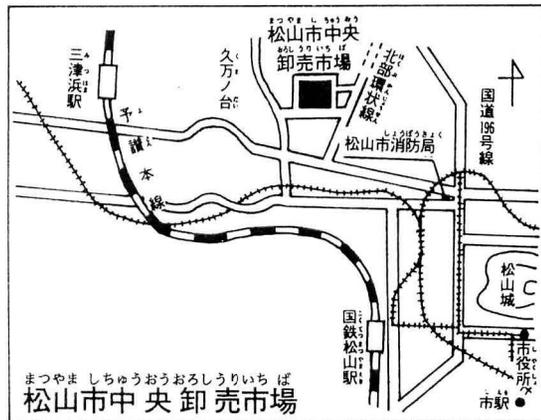
みなさんも近くの店やさんへいつて、しらべてみましょう。

やさいやくだものは、毎朝はやく店のおじさんが、自動車じどうしゃで松山市の市場いちばへいき、しいれてくるそうです。

「せり」をしているところ



「せり」とは、ほしいしなものにねだんをつけて買いあうこと。

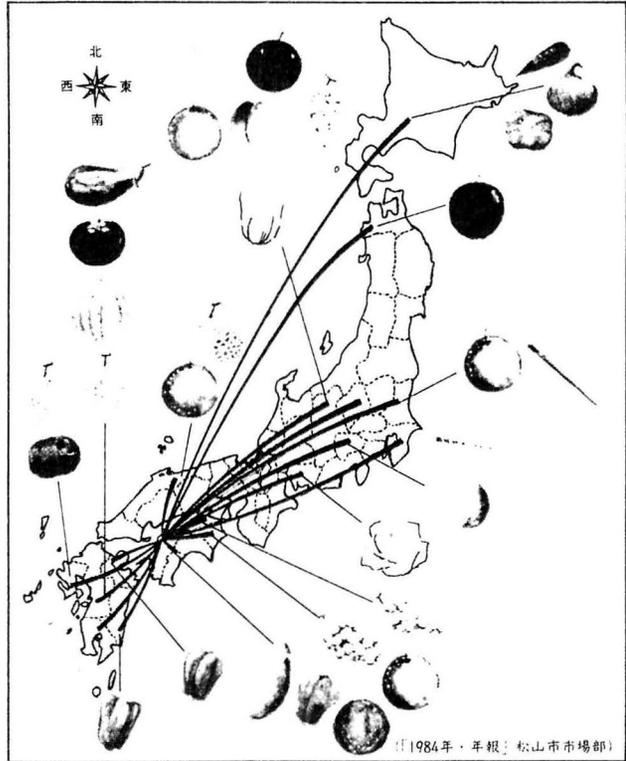


松山市におくられてくるやさいやくだものは、どこからあつめられているのでしょうか。

春子さんは、市場のおじさんに聞いて絵地

図にまとめてみました。

おく  
松山市に送られてくるやさいやくだもの



市場には、日本のかく地から、また、遠い  
外国からもしなものがあつまってきます。

このことから、わたしたちのくらしは、よ  
その土地とふかくつながっていることがわか  
りました。



商店がいては、たくさんのお客がきてくれ  
るように、どんなことに力をいれているので  
しょうか。

春子さんたちは、よく買い物にいく商店が  
いでは、お客をたくさんあつめるために、ど  
んなくふうをしているのか、おじさんに聞い  
てみました。

商工会のおじさんの話

商店では、みなさんのねがいをとりいれて、  
土曜日や水曜日な  
どをとくばい日に  
しています。新聞  
にこうこくをいれ  
て、町のみなさん  
に知らせています。  
年のくれなどに

は、大売^{おお}り出しをし、買い物をしてくれたお客さんには、ちゅうせんけんをあげます。と  
うせんした人には、しな物をあげたり、りよ  
こうにつれていってあげたりしています。



### 花火大会

毎年八月に横河原で  
観月祭^{かんげつさい}がおこなわれま  
す。この観月祭には、  
花火大会やぼんおどり  
大会などがあります。

この祭りには、重信  
町の人たちはもちろん

川内町や松山市の人もたくさん見物^{けんぶつ}にきます。  
花火大会は、近くの町や市のたくさんの人び  
とに、横河原商店がいをしてもらうため  
におこなっています。

・ お客さんが、商店がい^いにたいしてどんな  
意見^{いけん}やきぼう^もを持っているか知るために、  
「意見^{いけん}ばこ」をつくっています。

・ しんせん^{ちゅうもん}なしな物をしいれたり、よいし  
な物をそろえたり、やすくしたり、注文^{ちゅうもん}  
しな物をすぐまにあわせたり、返品^{へんぴん}におう  
じたりしてお客さんをたいせつにしていま  
す。

・ お客さんが、横河原の商店がい^いで気持ち  
よく買い物ができるように店の中や商店が  
いを美しくしています。

商店がい^いの人たちは、お客をたくさんあつ  
めるために、いろいろとくふうしていること  
がわかりました。

横河原の商店がいには、どのような問題^{もんだい}やねがいがあるのでしょうか。

春子さんは、横河原の商店がいをよくりようしているおばさんやおじさんから、商店がい^でふべんなどころを聞いてみました。

おばさん・おじさんの話



駅前駐車場

・ 道はばがせまく、車をとめることが気になります。駅前^{えきまえ}は、いつも車が多くてとめることができません。それでしかたなく、車を道の横において、いそいで

で買い物をしてくるのです。そのために、ゆつくりと買い物ができます。

・ なんでもほうふにあって買いやすいので

すが、流行^{りゅうこう}のものや新しいものをもうすしそろえたらいいなあと思います。

つぎに商工会^{しょうこうかい}のおじさんから、商店がいの問題について聞いてみました。

商工会のおじさんの話



車が多く、せまい^{けんどう}県道

・ 商店がい^は、国道十^{ごうせん}一号線や県道^{けんどう}にそってあります。そのため、ダンプカーなどたくさん^の車が通り、きけんなためお客さんは買い物にこまります。

・ 店^がくつついてならんでいるために、ちゅう車場^{しやじょう}を店の横につくることができないのでこまります。

・ 大きな店が横河原にできると、お客さんをその店にとられてしまうのではないかと  
いうしんぱいもあります。

そこで、商店がいの人たちは、たくさんのお客さんにきてもらうためにどうしたらいいのか、たびたびみんなであつまって話しあい  
をしているそうです。

松山市の大きな商店がいのようすは、重信町の商店がいとくらべるとどんなちがいがあ  
るのでしょうか。

春子さんたちは、松山市のまつ地下タウンと大かい道の商店がいを見学しました。

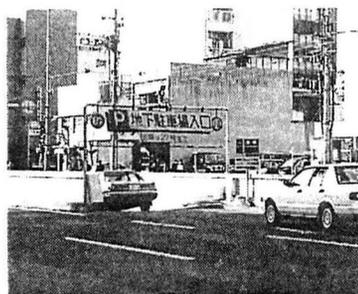
見学しておどろいたことは、お店のしゅるいとお客さんがとても多かったことです。また、地下にちゅう車場があったり、地下から

バスのり場やでんしゃのり場にいきたりして、とてもべんりにくふうしていることがわかり  
ました。

まつ地下タウンや大かい道には、買い物でつかれた人やからだの不自^{ふじ}由^{ゆう}な人のために、  
休^{やす}め^ばい^{しょ}場所^{ばしょ}を作^{つく}ってあ^あつたり、かいだんをく



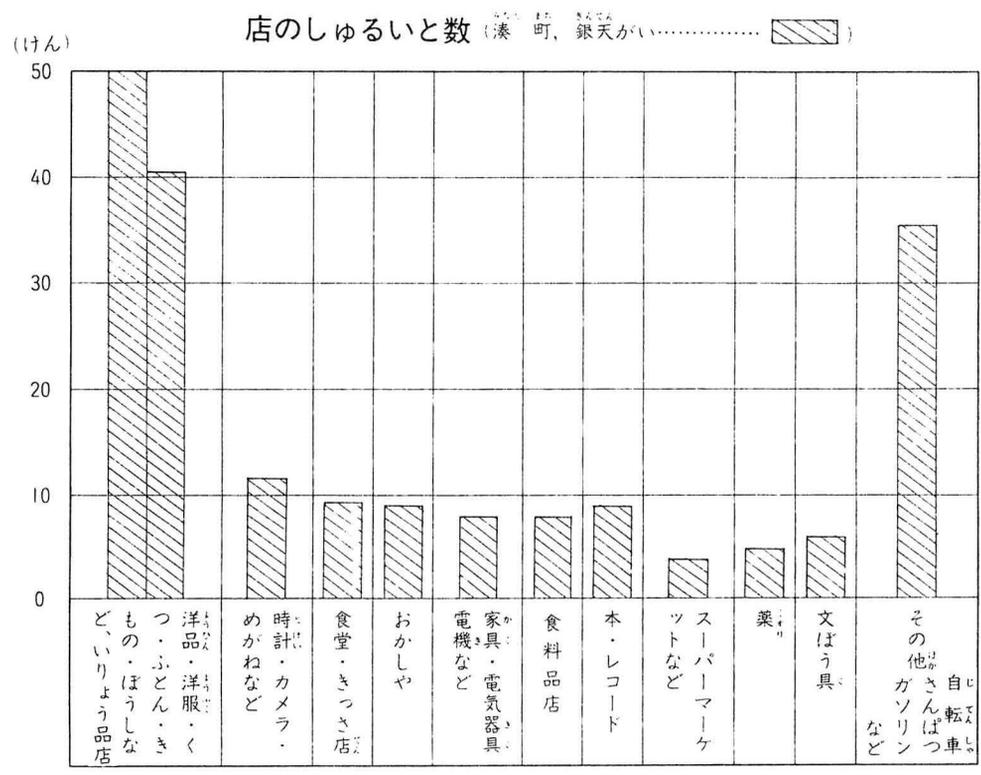
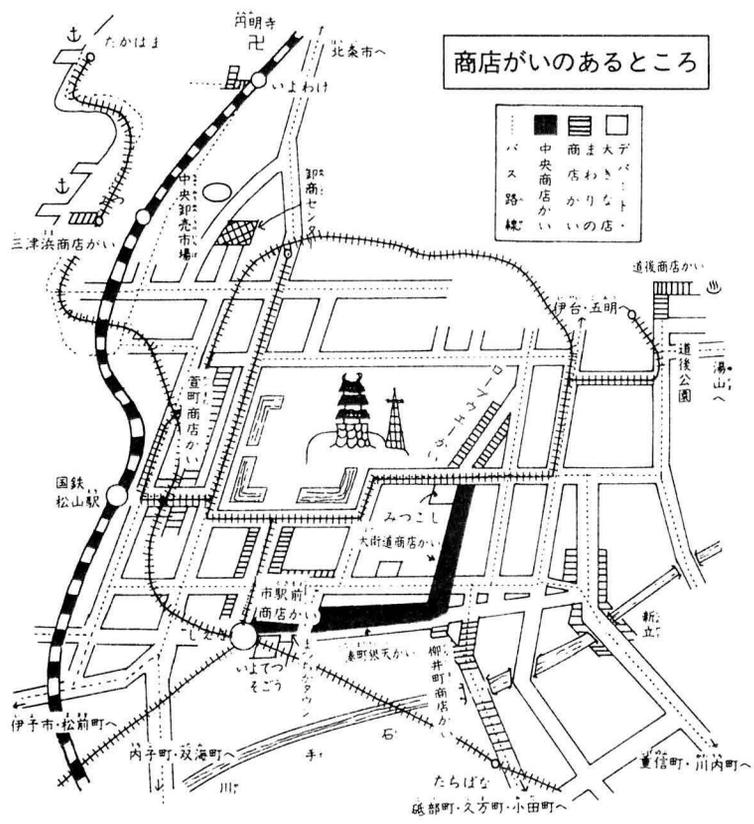
おお  
くふうされた大かい道



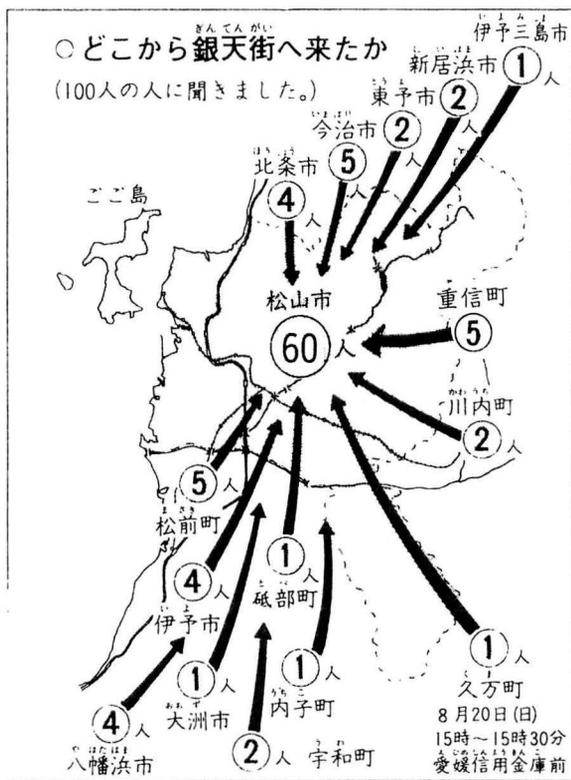
地下ちゅう車場入口

ふうしたりしていました。また、道はばをひろげたり、雨がふっても買い物ができるようにしたりして、お客さんが、いつでもよろこんで買い物ができるようにくふうしていま  
した。

春子さんたちは、見学したことを絵地図や表にまとめてみました。



にぎやかな商店がいへの買い物客は、どのような地いきからあつまってくるのでしょうか。



松山市の商店がいは、重信町の人たちにも

りようされていることがわかりました。また、

横河原商店がいや牛湊団地前商店がいと同じ

ように、大売り出しや土曜市をひらいたりし

て、遠くからのお客をあつめていることもわ

かりました。このほかにも、

- 市ときょうカしあって、アーケードをつ

- くったり、花をうえたり、美しいかざりや

- 見やすいかんばんをつけている。

- 地下がいには、ふんすいのある広場をつ

- くって休けいができるようにしている。

- 自動車や自転車を通さないようにして、

- ほこうしゃ天国にしている。

- 買い物をした人にむりようちゅう車けん

- をあげている。

- せんもん店があり、せんもんのよいしな

- 物をそろえていることがわかりました。

わたしは、重信町にある商店がいをしらべ

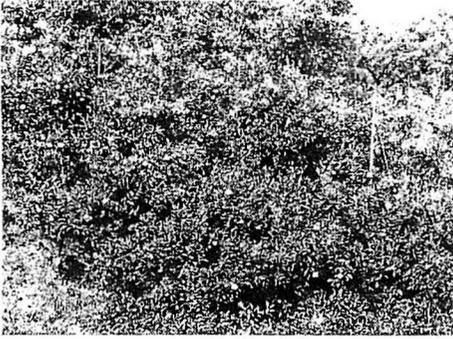
て、お客をあつめるためにいろんなくふうを

していることがわかりました。また、買い物

がしやすいようにと、お客さんのことを考え

た話し合いもしていることがわかりました。

北吉井校区



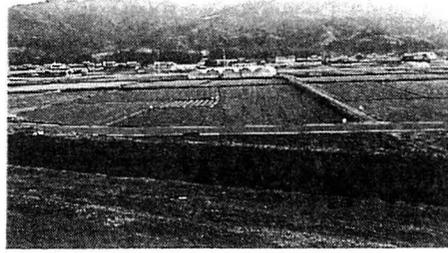
みかん畑

上林校区



すぎ林

拝志校区



広がる田

南吉井校区



きかい工場

#### 四 土地にあわせた人びとの仕事しごと

(一) 重信町の人びとの仕事をしらべよう。

重信町の人びとは、土地のようすにあわせて、どんな仕事をしているのでしよう。

花子さんたちの家の近くには、田や畑が広がり、米や野さいなどがうえられています。また、重信川の近くには、大きな工場もいくつか見られます。このことから、重信町の人びとは、土地のようすにあわせて、いろいろなものを作っているのではないかと思いました。

そこでまず、花子さんたちは、重信町ではどんなものが多く作られているのかをしらべることになりました。

田や畑やくだもの畑で作っているもの、工場で作っているもの、山地で作っているものにわけて、しらべてみることにしました。

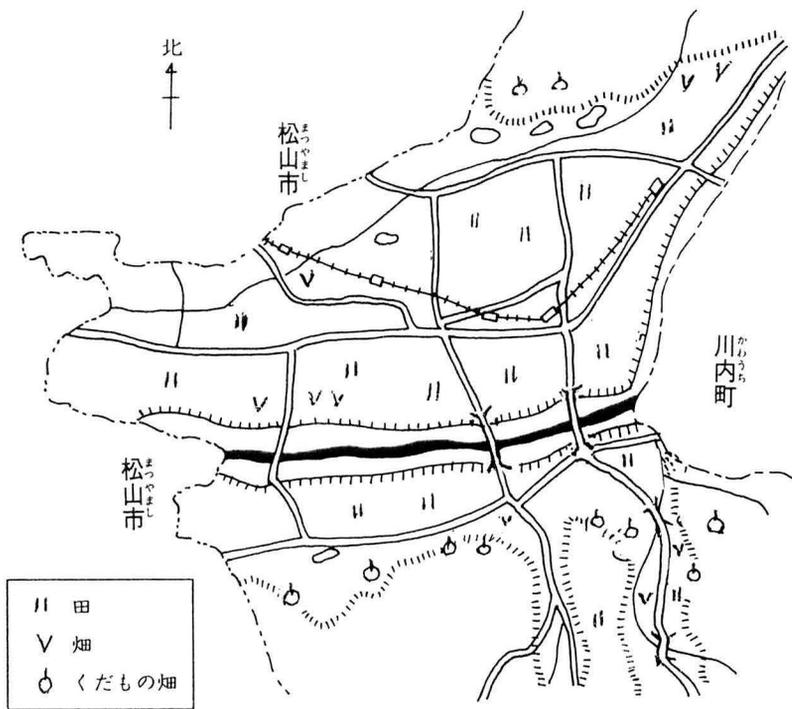
▽ しらべるけいかく △

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ しらべること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ しらべかた</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 田や畑で作っているもの</li> <li>○ 田や畑の広さ</li> <li>○ 田や畑・くだもの畑のあるところ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町のしりょうを見る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工場で作っているもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町のしりょうや工場のしりょうを見る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山地で作っているもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町のしりょうを見る。</li> </ul>

### 1 田や畑で作っているもの

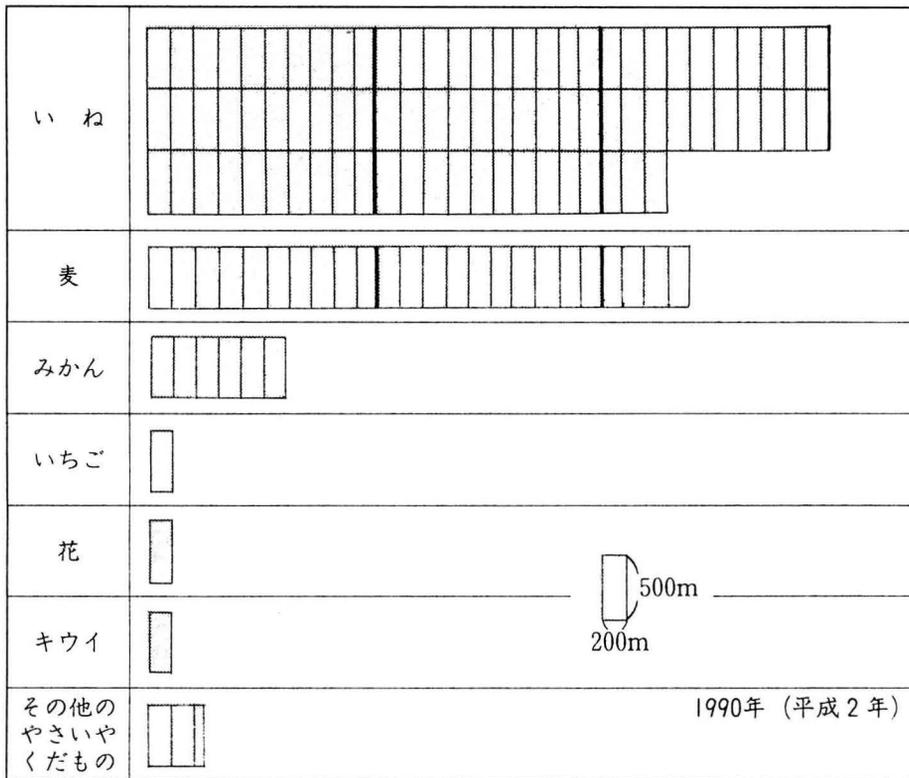
花子さんは、重信町の土地のようすをしらべて、平地には、田や畑が多く、山のしやめ

んには、くだもの畑が多いことがわかりました。



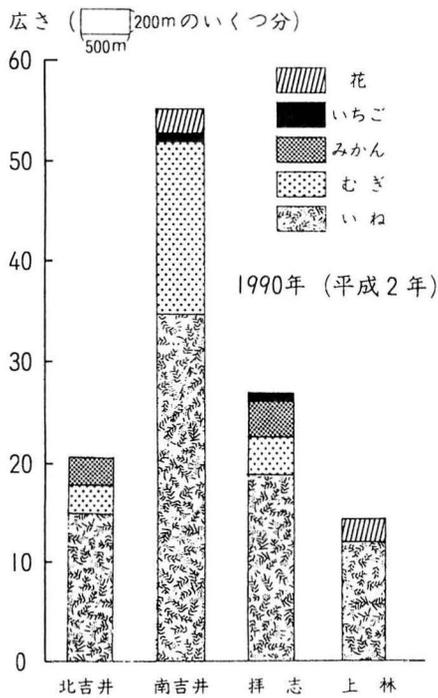
田や畑，くだもの畑のあるところ

花子さんは、田と畑の広さをくらべたり、田や畑や、くだもの畑で、とくに多く作っているものをしらべてみることにしました。



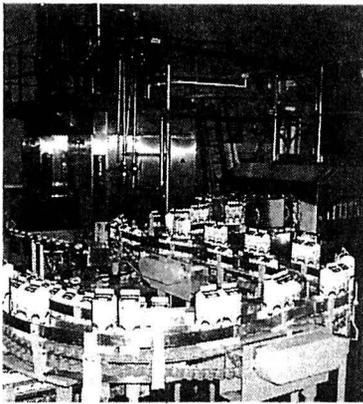
ちがうことがわかりました。

同じ重信町でも、土地のりょうのしかたが



校区別おもな作物の作られている広さ

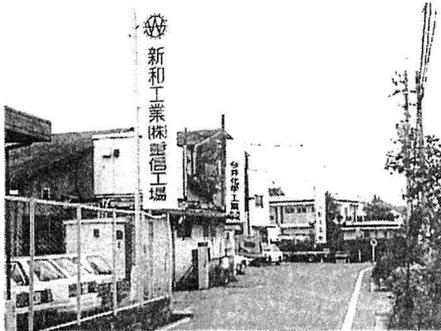
重信町では、米や野さい、くだものを多く作っていることがわかりました。また、花作りにも力を入れていることがわかりました。それで、花子さんたちは、米や野さい、くだもの作りを校区ごとにわけて、作っているものをしらべてみることにしました。



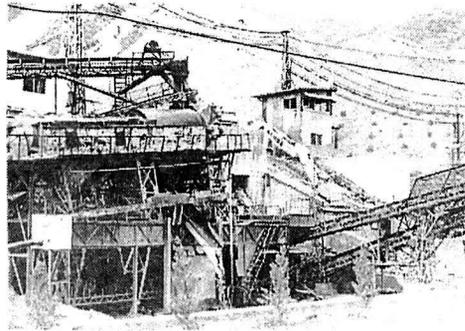
にゅうせいひんを作る工場



おかしを作る工場

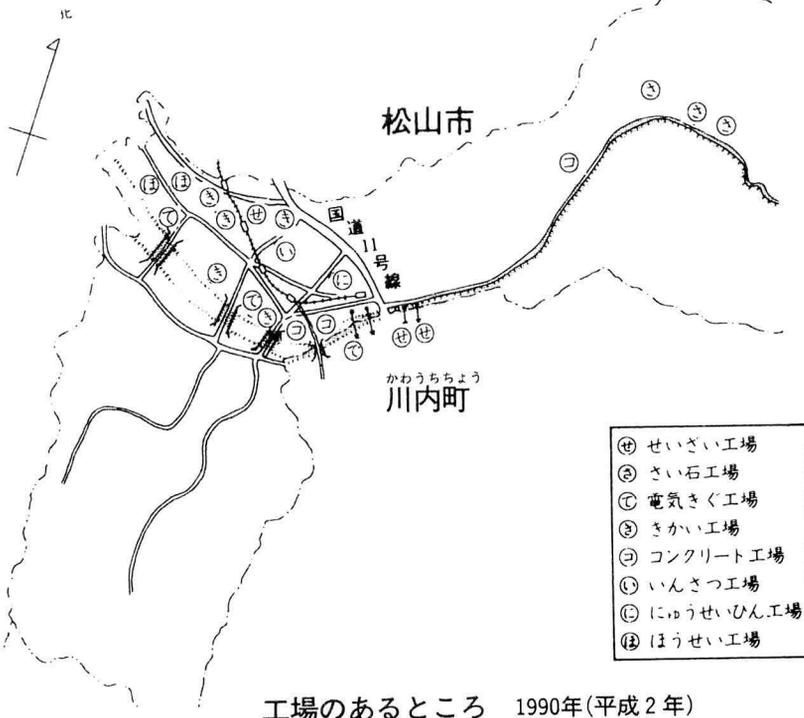


きかいを作る工場



石をくだく工場

2 工場で作っているもの  
花子さんたちは、重信町には、どんな工場  
が多いのか、話しあいました。



そこで、花子さんたちは、重信町のどこに  
どんな工場があるのかしらべることになりました。



花子さんたちは、山地という土地のようすをいかして、みかんやしいたげやきくを作っているのではないかと思いました。

また、山地の高いところでは、木をそだてているのではないかと思いました。そこで、上林のおじさんにどんなものを作っているか、話してもらいました。

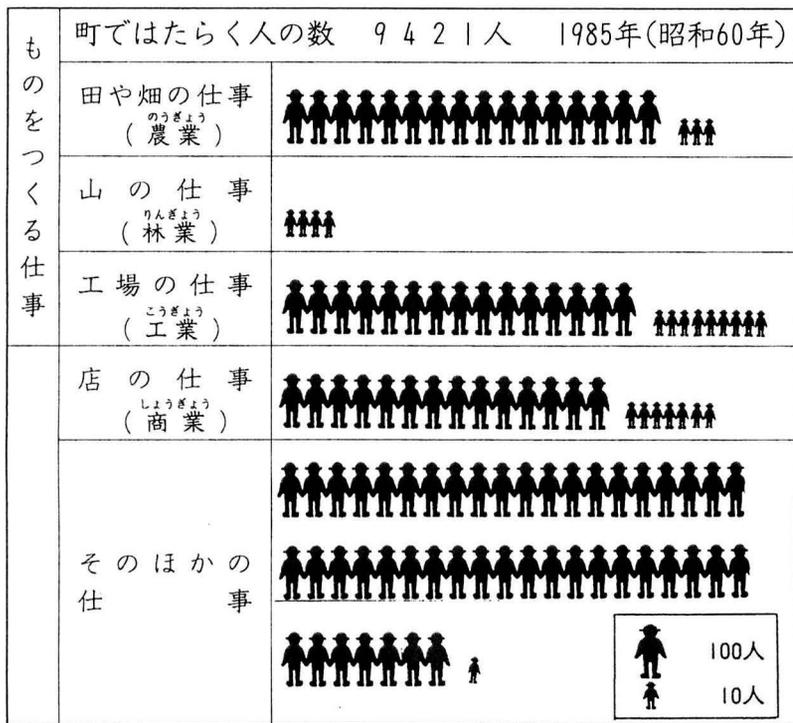
おじさんの話

山のしゃめんの日あたりのよいところではみかんやしきびを作っています。しいたげは、すぎやひのきの下の日かげで作っています。また、平地にくらべて美しい花がさくので、きく作りもさかんです。

また、高いところではすぎやひのきをそだてています。

4 重信町の人びとの仕事しごと

花子さんたちは、これまでしらべたことから、重信町ぜんたいでは、どんな仕事をして、いる人がどのくらいいるのか知りたくなり、しらべることにしました。



重信町の人びとの仕事

(二) 農家の仕事のくふう



米作り

重信町には、米作りをしている農家の人びとが、たくさんいることがわかりました。米は、農家の人びとにとってたいせつな作物といえます。

花子さんは、上の写真しゃしんのようにいねがみるまでに、たいへんなくろうがあるのだろうと思いました。また、米をたくさんとるために、ひりょうをやったり、いねがびょう気にならないようにしょうどくをしたりしているのだろうと思いました。

そして、むかしの農家の人びとがくろうしたことなども知りたくなりました。

農家の人たちは、米をたくさん作るために、どのようなくふうをしているのでしょうか。

▽ しらべるけいかく △

<p>しらべること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 米作りのくふう</li> <li>(今とむかしをくらべる。)</li> <li>・水を引くくふう</li> <li>・仕事をしやすくするくふう</li> <li>・おいしい米づくりのくふう</li> <li>○ 米がしょうひ者にとどくまで</li> <li>○ 米作りがいこの農家の仕事</li> </ul>
<p>しらべかた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 米作りの農家をたずねてしらべる。</li> <li>○ 農家のお年よりに話を聞く。</li> <li>○ 農家のおじさんに聞く。</li> <li>○ 農業協同組合<small>きやうどうくみあい</small>の人のお話を聞く。</li> <li>○ 農家をたずねてしらべる。</li> </ul>

1 米作りのくふう

① 水を引くくふう

田に水を引くためにどことなくふうをしてい  
るでしょう。

田に水を引くために、むかしからいろいろ  
なくふうがされてきました。

むかしは、おもに川の水を田に引いていま  
したが、日でりのときなど水が足りたなくてこ  
まることがよくあったようです。そこで、む  
かしの農家の人びとは、みんなで力を合わせ  
て、ため池をつくったり、いずみをほったり  
して水を手に入れるくふうをしてきました。

また、むかしは、川の両がわに石がきをつ  
んだだけなので、水が土にしみこんでいまし  
たが、近ごろは、川の両がわ底そこもコンクリー  
トでかためているので、うしなわれる水が少

なくなりました。

牛渚うしざちに住んでいるおじいさんの話

ここらは、あまり水がなく、わたしが子どもころは日でりがつづくど、水あらしがよくありました。

いずみや池から流れでる水を、夜の間に自分たちの地区へ流そうとするわけです。こんなときは、夜中でも水の取り入れ口とにこうたいて水の番をする人がいました。

池では年に一回池さらえをして、池があさくなるのをふせいでいました。田に水がいらなくなる十月ころに池の水をぬきました。水の深さを一メートルくらいにしておき、みなで魚とりをしながら池を深くしました。何百人もの人が魚をとろうと池の中を歩き回る

ので、池のどろがかき回され、このどろが水といっしょに水門すいもんから流れ出るのです。

小学生もじよれんや小さなあみで、ふなやしょうはちをたくさんすくっていましたよ。

わたしも、五十センチメートルの大きなこいをすくったことがありますよ。楽しみの一つでしたね。

今は、日でりがつづいても、いずみの水をポンプでくみ上げ、それでも足りないときは、面河わしごダムの水を田に引くことができるようになったので、日でりで水が足りなくてこまるといったことはなくなりました。しかし、日ではない方がいいのです。ポンプで水をくみ上げるのにも、面河ダムの水をつかわしてもらうのにも、お金がかかるのですから。

② 仕事をしやすくするくふう

仕事をしやすくするために、田おこしからとり入れまでどことなくふうをしているでしよう。



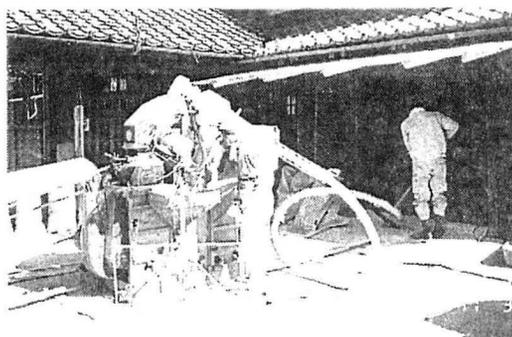
なえをそだてる



とり入れる



田おこしをする



もみすりをする



田うえをする

花子さんたちは、米をたくさん作るために、たねまきからとり入れまでを、どのようにふうしているか、農家のおじさんに聞きました。

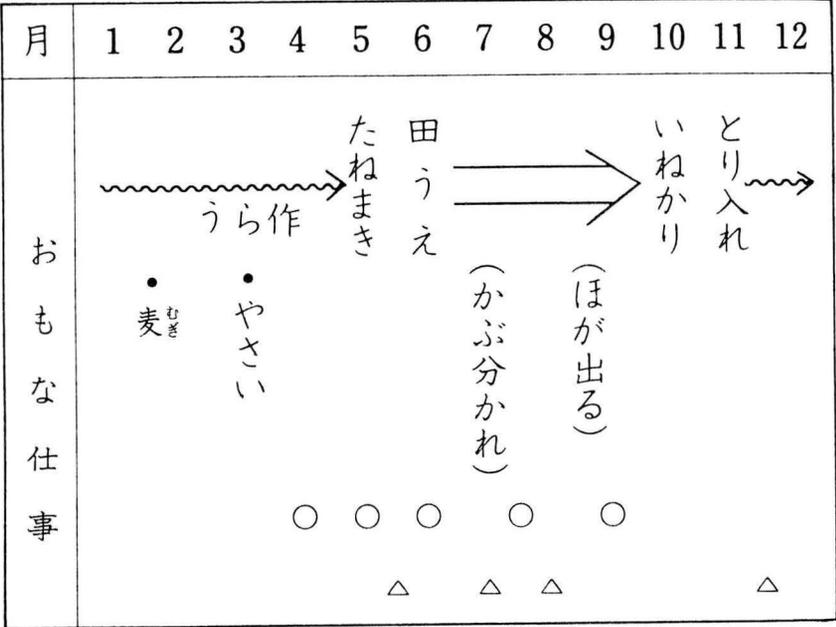
農家のおじさんの話

いねのなえをうえたあと、しょうどくしたり、ひりょうをやったりして、そだてています。

今から三十年くらい前までは、田をたがやすのは、牛の力をつかっていました。田うえやいねかりは、人の手をつかい、こしをまげてしなければならず、とてもしんどかったのです。

しかし、今では、田おこしからとり入れまで、ほとんどきかいをつかうようになり、仕事がらくにできるようになりました。

花子さんは、農家の人たちがいつごろ、どんな仕事をしているのかしらべました。

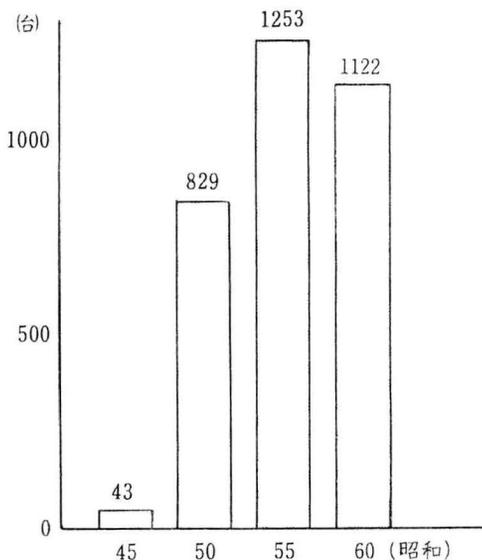


米作りの仕事  
 (○印はしょうどく)  
 (△印はひりょう)

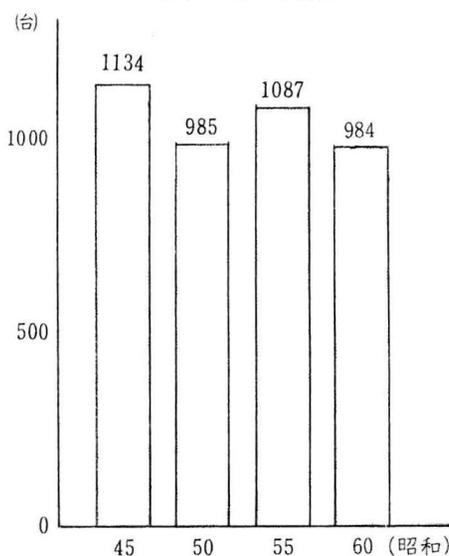
のうきとつか  
農機具の使われ方

年	農機具	農家数	ことうんき	トラクター	田うえき	バインダー	コンバイン	かんそうき	もみすりき
昭和 45		1,857	1,134	230	43	139	34	476	200
50		1,748	985	566	829	974	101	630	250
55		1,665	1,087	638	1,253	916	647	814	450
60		1,248	984	814	1,122	674	771	936	不明

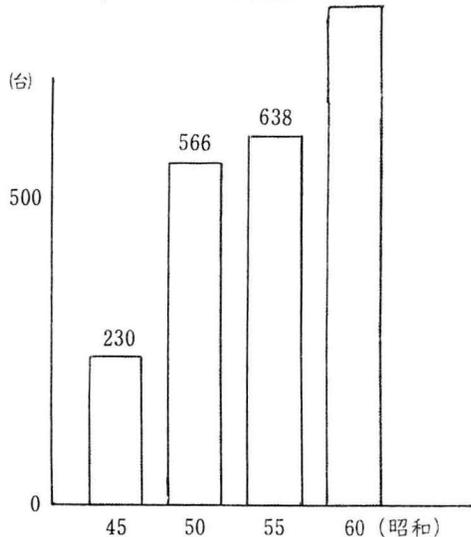
田うえきの台数



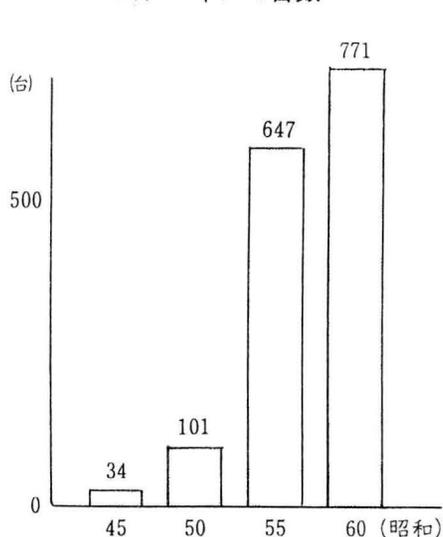
ことうんきの台数



トラクターの台数



コンバインの台数



つぎに、花子さんは、どんなきかいがどれぐらいつかわれているのかしらべました。

このように、きかいをつかって仕事をするようになつてきたことをきかい化といひます。

四十年ぐらい前までの米作りは、ほとんど人手にたよっていました。ところが、近ごろは、農きぐがどんどんつかわれるようになり、人手があまりいらなくなってきました。

そのため、農家では、米のほかには野菜やくだものを作ったり、農業よりほかの仕事をしたりする家がふえてきました。

また、農きぐは、大がたになるほどねだんが高くなるので、何げんかでお金を出し合ったり、のうきよきよとくみあひ農業協同組合からお金をかりたりしてか買う人もふえてきました。

上林では、きかいをつかったのうきよきよ農作業をしゃくするのために、田のくかくせい理をしています。いくつかの小さな田を大きな長方形の田につくりかえているのです。

③ おいしい米作りのくふう

農家では、おいしくてよい米を作るために、どのようなくふうをしているのでしょうか。

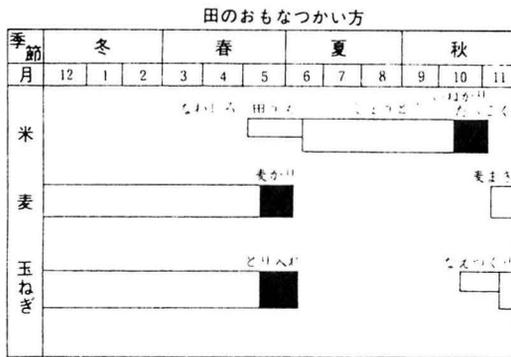
おいしくてよい米をたくさん作るためには、よいたねをえらび、よいなえを作ることがたいせつです。また、いねをそだてるうえで何よりもこまるのは、いねがびよう気になったり、がい中がいたりすることです。そこで農家の人たちは、一年に何回もしょうどくをします。

いねがよくそだつように、ひりょうのしゅるいを考えて、一年に何回もやります。いねをそだてるには、水がたくさんいります。そのため、農家の人は毎日、田の見回りをします。

米作りの仕事は、どの農家も同じところに同



麦畑



田のおもなつかい方

じょうな仕事をします。そのため、いつ、どんな仕事をしたらよいか、農業協同組合のしどういんが、そうだんにのっています。

農家の人びとは、米のとり入れがおわるとすぐに田をたがやして、そのあとに麦や野さいなどの作物をそだてます。重信町では、麦作りもさかんです。

2 米がしょうひ者にとどくまで  
農家で作られた米は、どのようにして、売られていくのでしょうか。

それぞれの農家でとれた米は、農業協同組合まではこんで行きます。

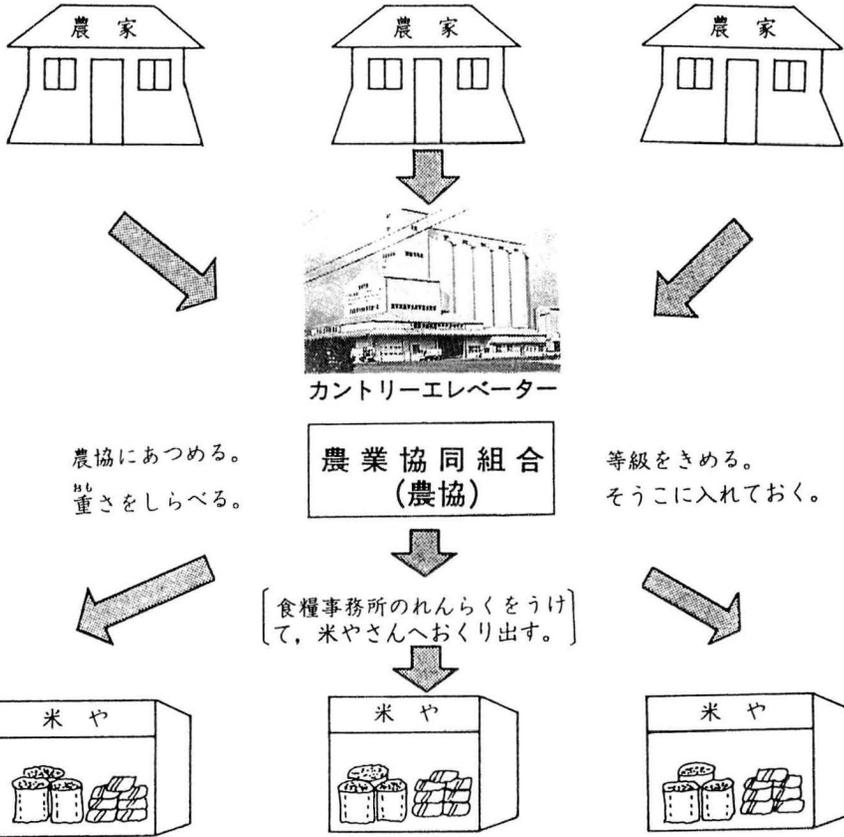
農業協同組合では、食糧事務所しょくりょうじむしょのかかりの人が、けんさをして等級とじゅうきゅうをきめます。

その米を、せいふ（国）が買います。そして、農業協同組合のそうこやカントリーエレベーターにしまっておいて、ひつようなときに、食糧事務所のれんらくをうけて、お米やさんに売られていきます。

しかし、さい近では、自主流通米じしゆりゆうつうまいと言って米屋などにちよくせつ売られるお米もふえてきています。

花子さんは、米のゆくえをしらべて、つぎ

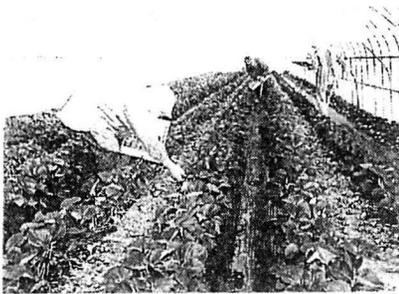
のような図にかきました。



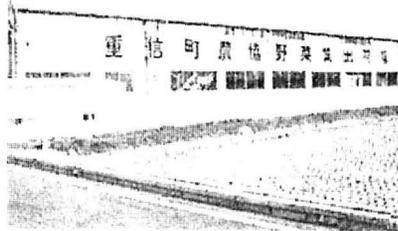
※自主流通米  
じしゆりゆうつうまい

国が直接管理せず価格も自由に流通する  
ちやくせつかんり  
かかく  
米。一九六九年産米から認められた。

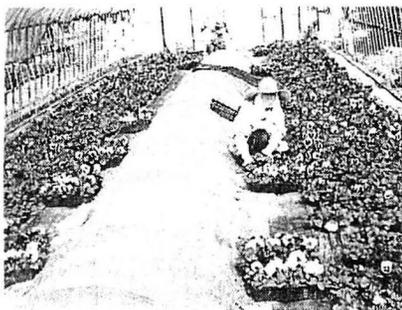
3 米作りがいの農家の仕事  
早作りのいちごや、きせつはずれの野さいは、高く売れるので、さむい冬でもビニールハウスの中で早作りをする農家がふえてきました。



いちご作り



野さい集出荷場  
しゆうしゆつかじょう



花作り



野さい作り

季節	冬			春			夏			秋		
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
きく	観	か	ふ	てい	いしょく	そた	てる	しゅ	っか	観	か	ふ



花のはこづめ

農家の人びとは、どことなくふうをして、花

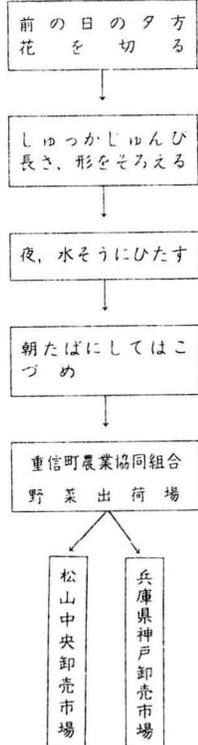
作りをしているのでしよう。

きくのそだち方

日本の国では、米がたくさんあまるようになったので、田んぼの一部をつかって、米よりほかの物を作るようしどうしています。

重信町では、こうした土地をりようして、さいきん花作りがともさかんにおこなわれるようになりました。

花のゆくえ



南吉井校区の野田、牛淵などでは、ビニールハウスの中で、カーネーション、スターチス、アネモネ、金魚草などたくさんのしゅるいの花を作っています。

上林では、土地が高く昼と夜の温度の差があるため、美しい色の花がそだつので、ろ地さいばいのきく作りがさかんです。

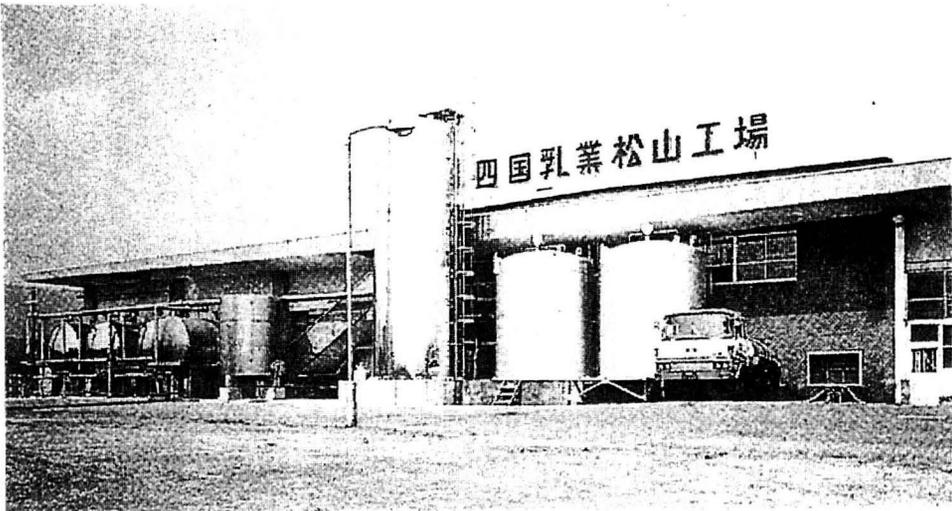
きくの花は、おぼんやおひがんに、カーネーションは、母の日に合わせてしゅっかできるようにうえるじきを考えます。また、びょう気にならないよう何回もしようどくしたり、台風にちゅういしたりしてそだてています。

### (三) 工場の仕事のくふう

太郎さんたちは、重信町には食料品しよくりようひんを作る工場がたくさんあることがわかりました。その中でも、わたしたちの給食きゅうしょくや日じよう生活にひつような乳せい品にゅうを作るらくれん工場があることも学習しました。

そこで、太郎さんたちは、らくれん工場では、品物しなものの作りかたや売りかたに何かくふうがあるのではないかと思ひ、しらべてみることにしました。

工場では、よい品物をたくさん作り、それを売るために、どんなくふうをしているのでしょうか。



四国乳業松山工場にゅうぎよう

しらべる計画

太郎さんたちは、わたしたちのけんこうを守り、みんなによるこんでもらえるよいせい品を作るために、どのようにしてざいりようをあつめたり、売るくふうをしたりしているのかをしらべてみることにしました。

そこで、工場ではたらく人たちがどのような仕事をしているのかを知るために、工場を見学する計画を話し合いました。

よい乳せい品を作るために、どのようなくふうしているのかよく見てくることと、聞いてくることとに分けて見学の計画を立てました。

太郎さんたちのしらべる計画

しらべること	しらべかた
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工場のあるところ</li> <li>○ よいせい品を作るくふう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 重信町の地図でしらべる。</li> <li>○ らくれん工場を見学してしらべる。</li> <li>・ 見てくること</li> <li>○ はたらく人のふくそう</li> <li>○ 乳せい品を作るじゅんじよ</li> <li>・ 聞いてくること</li> <li>○ おいしいせい品を作るくふう</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ せい品を売るくふう</li> <li>○ 公害<small>こうがい</small>をふせぐくふう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ げんりようの買いかた</li> <li>○ せい品の売りかた</li> <li>○ よごれた水をきれいにするしせつ</li> </ul>

# 1 よい乳せい品を作るくふう

太郎さんたちは、おいしい乳せい品作りのくふうを見つげるため、らくれん工場に出かけました。工場のおじさんは、じゅんじよよく話してくださいました。

## 工場のおじさんの話

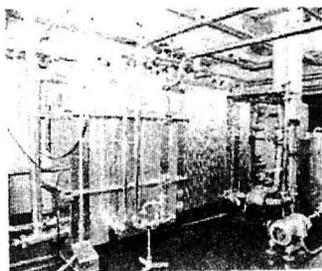
工場ではたらいている人は、七十人です。はたらいている人は、重信町の人や松山市の人ですが、^{いまばりし}今治市や^{おおすし}大洲市からはたらきにきている人もいます。工場ではとくにえいせいに気をつけています。みなさんは、乳せい品の中でも牛乳を毎日給食でよく飲^のんでいると思います。牛乳のげんりようは、牛からとれる乳です。でもこのままでは、飲^のむことにはできません。これを飲めるようにするために、さっきんをしたり、びんやパックにつめたり

して、いつでも出せるようにしてタンクにたくわえています。

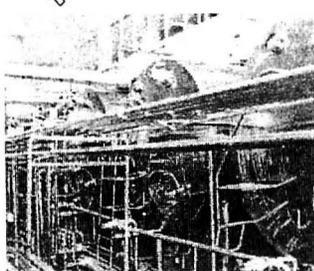
牛乳のできるまで



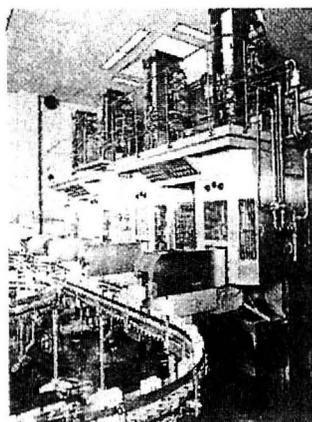
① タンクローリー車ではこばれてきた生乳は、けんさのあときれいにされ、タンクに集められてひやされます。



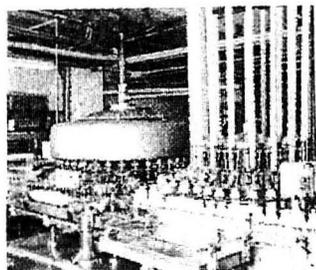
② 130°Cで2びょうかん間、または、65°Cで30分間さっきんをします。



③ 3°Cにひやされて、いつでも出せるように、タンクにたくわえられます。



④ きかがじどうてきに紙パックにつめます。



④ きかがじどうてきにびんにつめます。

太郎さんは、工場で何をどれくらい、どのようにして作っているかを聞いてみました。

### 工場のおじさんの話

この工場は、いろいろなしゅるいの乳せい品を作っています。二百cc入りの牛乳びんになおすと、一日におよそ七十万本もの牛乳を作っています。

また、クリームチーズも作っています。

工場では、人びとによるこんでもらえるよいせい品を作るために、よいざいりようをあつめたり、えい生に気をつけたり、せい品のけんさをしたりしています。

また、新しいきかいを取り入れ、人手が少なくても作れるようにしています。



けんさ

太郎さんたちは、おいしい牛乳やチーズ作りのひけつをもっと知りたいので、工場のおじさんにどういふふうをしているのか聞いてみました。

工場のおじさんの話（書きましよう。）

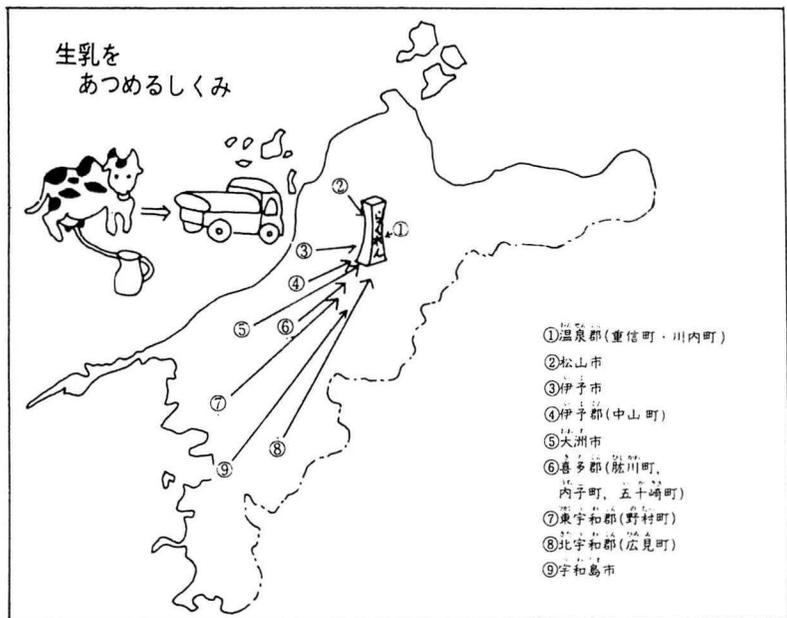
よいげんりようを入れるため

昔は、^{むかし}新しい^{なまにゆう}生乳を手に入れるために、

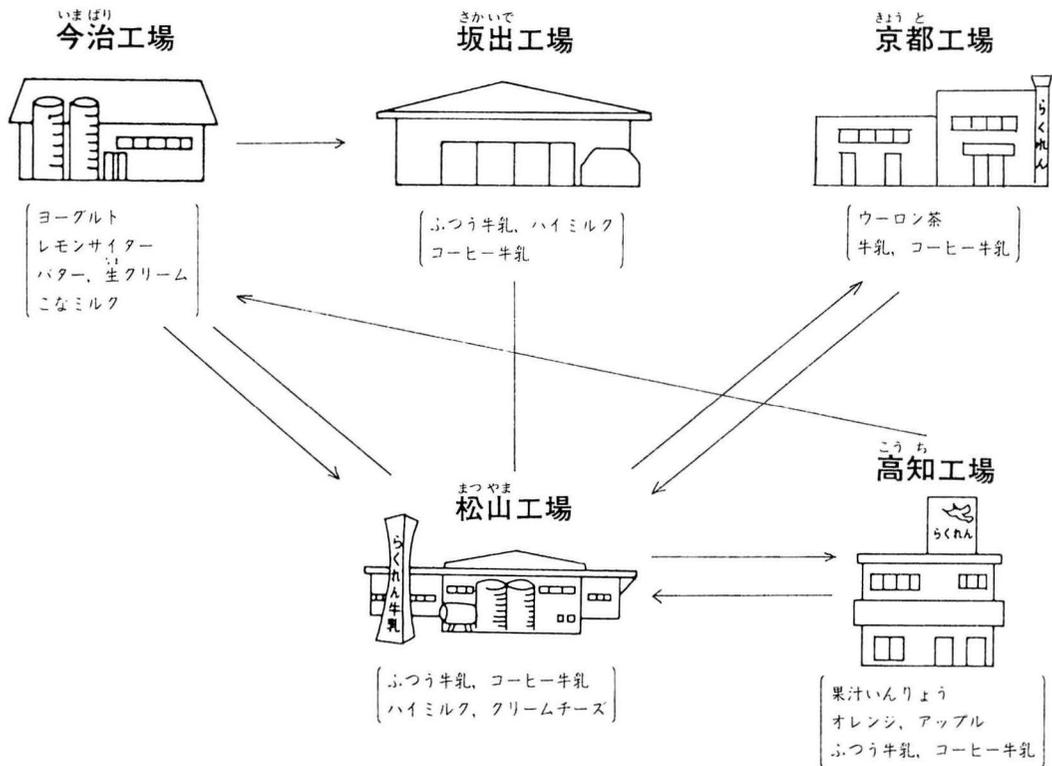
。今では、新しい^{なまにゆう}生乳を手に入れるために、

太郎さんたちは、おいしい牛乳やチーズ作りには、しんせんなざいりようを手に入れることがだいじだと思いました。

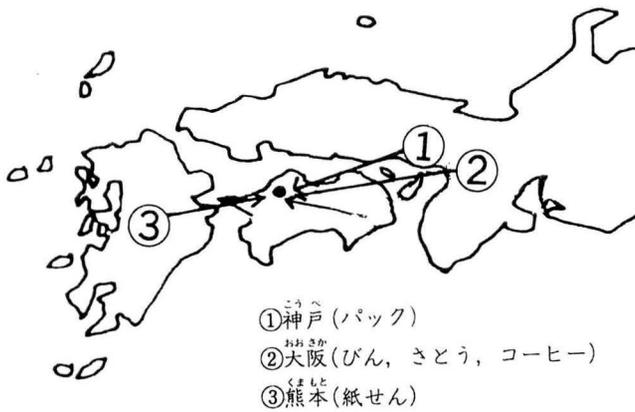
2 よいげんりようを買い入れるくふう  
 太郎さんたちは、牛乳やクリームチーズの  
 げんりようにする新しい生乳を、どこから買  
 い入れているのかを工場のおじさんに聞いて  
 きました。



工場どうしのきょうりよく



しざい  
資材をあつめるくふう



- ①神戸 (パック)
- ②大阪 (びん, さとう, コーヒー)
- ③熊本 (紙せん)

太郎さんたちは、よいげんりょうをあつめるのは、たいへんだということが気がつきました。

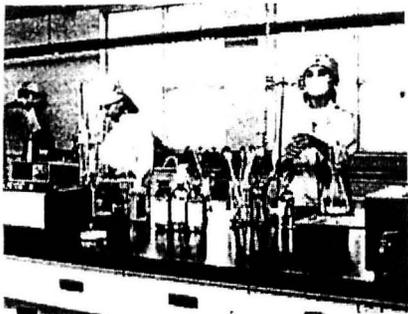
また、四国乳業には五つの工場があります。たりない生乳やせい品、あまった生乳やせい品を、おたがいにおくりあつて仕事をしています。

また、コーヒー牛乳のコーヒーやさとうやびんなどは、けんがい 県外の神戸や大阪や熊本から買っています。

3 作ったものを売るくふう

工場では、たくさん牛乳を売るためにどんなくふうをしているのでしょうか。

牛乳は、愛媛県のうわじまし 宇和島市やかわのえし 川之江市まではこばれています。工場では、できるだけはやくはこぶため、うんそう会社にたのんで一日のべ百二十台ものせんようトラックではこんでいます。このせんようトラックは、牛乳をいためないように、牛乳をひやしてはこんでいます。また、工場では人びとが、よろこんで買ってくれるおいしい牛乳を作るために、けんきゅうをつづけています。

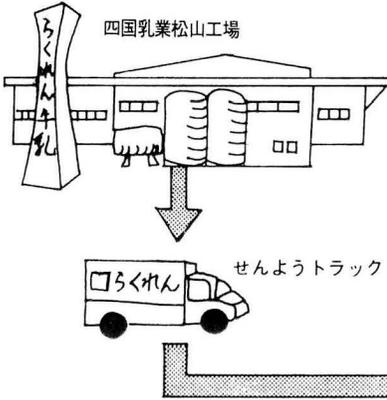


おいしい牛乳をつくるけんきゅう

牛乳のおくりさき (県外)

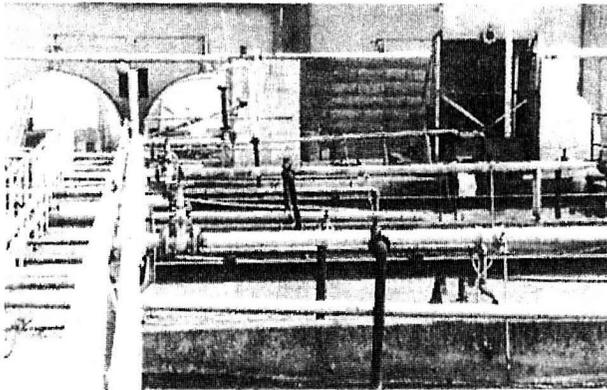


牛乳のつみだし (せんようトラック)



学校給食 20%  
 おみせ 73%  
 県内  
 県外 (広島県) 7%

牛乳は、どこへ売られているのでしょうか。



よごれた水をきれいにするせしつ

工場では、牛乳びんをあらったり、きかいをあらったりするときによごれた水がたくさん出ます。

そこで、町のきまりに合ったように、よごれた水をきれいにし、せつをつくり、水をきれいにしてから川へ流すようにしています。

工場では、どのようにして公害をふせいでいるのでしょうか。

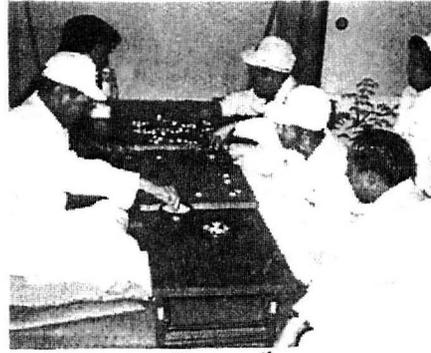
#### 4 公害をふせぐふう

## 5 はたらく人びとの楽しみ

工場では、仕事をしてつかれた人びとの心やからだを休めたり、くらしをゆたかにしたりするために、どのようなことをしているのでしょうか。



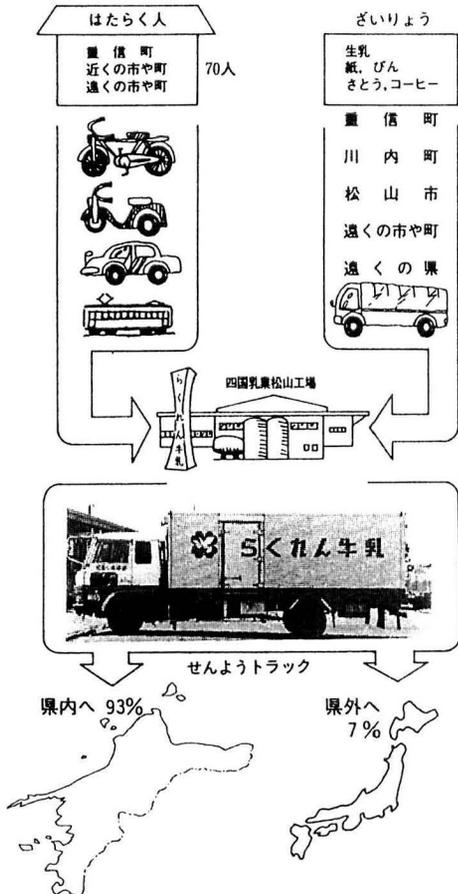
生け花



囲碁

写真のほかに、きょうりよくしている工場

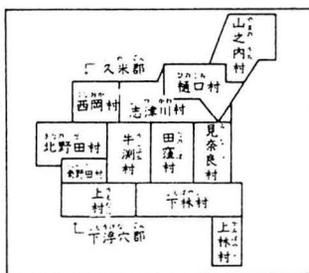
どうしてソフトボールのしあいをしたり、りよこうに行ったりして、楽しみをもうけています。



四国乳業松山工場では、仕事をうまくすすめるために、どのようにくふうしているのでしょうか。つぎの図を見て、学習したことをまとめてみましょう。

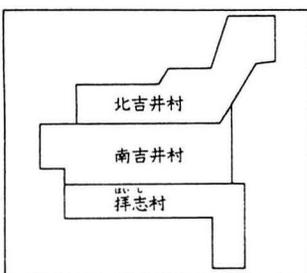
# 五 重信町のくらしのうつりかわり

## (一) 重信町のうつりかわり

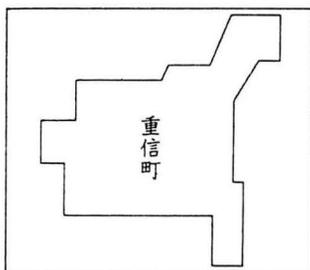


(125年前)

重信町のひろがるようす



(100年前・明治25年)



(36年前・昭和31年)

大名がいたころ、重信町は、小さな十二の村に分かれていました。

とじこみの年表を見ると重信町が大きくなってきたことがよくわかります。

百年くらい前のあいだに、人びとのくらしはどのようにかわっていったのでしょうか。

明子さんは、つぎのようにしらべる計画をたてました。

<p>しらべること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ができたころの重信町のようす。</li> </ul>	<p>しらべかた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重信町の歴史民俗資料館へ行く。</li> <li>・むかしのことを知っている人の話を聞く。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなせんそうのあとのかわりかた。</li> <li>・鉄道が通ったあとのかわりかた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とじこみの年表を見る。</li> </ul>

1 学校ができたころの重信町のようす  
重信町に、はじめて小学校ができたのは、  
今からおよそ百二十年前のことです。

おじいさんに聞いた話では、拝志小学校の  
一番もとになる伝宗寺学校てんしゅうじがはじまったのも  
このころだそうです。それは、国が

「これからは、日本のだれでもが、勉強でき  
るようにする。」

というきまりをつくったからです。けれども  
勉強する子供の数はたいへん少なく、学校へ  
行く人は、百人のうち十三人ぐらいの人でし  
た。

それから三十年ほどたって、今から九十年  
あまり前には、百人のうち九十八人までの人  
が学校へ行けるようになったそうです。

このころ男の子も、女の子もみんな着物を



明治時代の小学生

着て、勉強道具をふろし  
きにつつんで、学校に通っ  
ていました。

科目は、読本とくほん（今の国  
語）書き方（今の書写しよしゃ）  
そろばん（今の算数）が  
おもで、ノートやえんぴ  
つはなく、黒い石の板に  
石墨せきぼくという石で字を書い

て勉強したそうです。

明子さんは、ほと  
んどの子が、学校へ  
行けるようになった  
のは、なぜだろうか  
と考えました。



明治のころの教科書

明子さんは、勉強していくうちに学校ができたところの交通のようすをしらべてみたくなりました。

ぶしの世の中では、ぶししか馬にのれませんでしたが、いまから百年あまり前に、だれでも馬にのってよいことになりました。

人びとは、馬に荷物をのせて道しるべをたよりに歩いて旅をしていました。

重信町には、古くから三つの金毘羅さんへ行く道が



野田にある道しるべ

- ・西岡 — 志津川 — 横河原 — 川内 — 金毘羅
- ・野田 — 田窪 — 見奈良 — 川内 — 金毘羅
- ・上村 — 下林 — 川内 — 金毘羅

あり、人や馬がいききしていました。志津川や田窪には、たくさんやどがあり、石鎚まいたりや金毘羅まいるの人がおおぜいとまり、たいへんにぎわっていました。

城下（松山）へ出かけるときは、おべんとうをこしにさげ、わらじをはいて朝早くから出発して行きました。歩いて行って帰るにはそのとうの時間がかかり、たいへんつかれたことでしょう。したがって、一生城下（松山）を見ない人もいたそうです。

明子さんは、八十才になるひいじいさんから子どものころのようすを聞きました。

むかしの重信町は、ほとんどが農家でした。わらぶきの家もたくさん見られました。農家



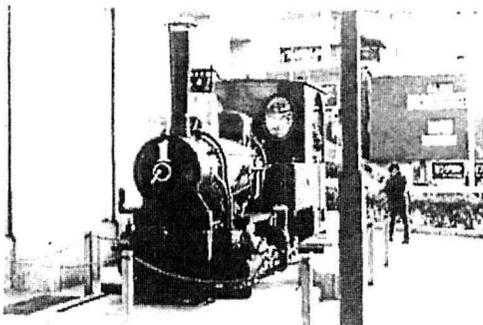
牛淵にたっているむかしの家

家でつかわれるみそやし  
しょうゆ、わらであんだ  
はきもの、きるものにする  
ぬのなど、たいていは  
自分の家で作っていました。



農家の仕事

の多くは、牛や馬を使^{つか}って仕事をしていました。



坊ちゃん列車

また、そのころは、テレビやラジオもなく  
楽しみといえは、村でおこなわれるいろいろな  
年中行事^{ねんちゅうぎぎょうじ}でした。

明子さんは、電気を使わなくらしは、ど  
んなくらしたったろうと考えました。

## 2 鉄道^{てつどう}が通ったあとのかわりかた

ねんびよう  
年表を見ると、横河原に伊予鉄^{いよてつ}の汽車が通  
たのは今からおよそ百年あまり前のことです。

黒いけむりをはいて  
走る「坊ちゃん列車^{れっしや}」  
を一目見ようとえん  
ぼうから、出かけて  
くる人もあったそう  
です。

北吉井村が作った  
古い本には、北吉井

村のかわりかたが、次のようにかかれていま  
した。

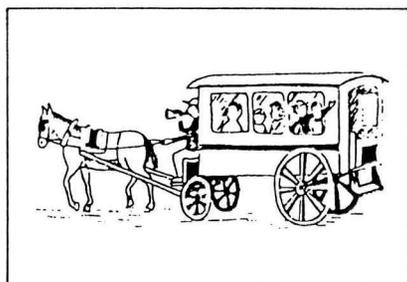
明治三十二年十月、横河原駅ができた時、  
家はわずか二、三げんあるだけで、松原のあ  
れた土地にすぎなかった。昼でも人通りの少  
ないさびしいところであった。

けれども、今（昭和十三年）人家が二百け  
んぐらいになり、店はくしのはのようになら  
しりならんでいる。一つの村ができ、大玄関  
のような発展をしたのは伊予鉄道のおかげで  
ある。本村以東の貨物の集散地であり、交通  
のたいせつなところとして、将来ますます発  
展するであろう。

横河原駅より東への交通は、客馬車でむす  
ばれていました。

駅前には、運送屋ができ、肥料や生活品は

すべて汽車で送られるようになりました。



客馬車

また、輸送がべんりな  
ため製材所もできました。  
重信川に橋をかけるこ  
とが、みんなのねがいで  
あったことを牛渚のある  
おじいさんは次のように  
話してくれました。

村の中での行き来にふだんこまったことは  
ありませんでした。ところが、大雨がふると、  
重信川の水かさが増えて、川がわたれなくな  
り拝志村との行き来ができなくなってしま  
りました。みんなが集まると、橋をつけてほ  
いと話し合ったものです。

また、拝志村が作った古い本には、次のよ  
うなことがかいてありました。

南は高い山にさえぎられ、北は重信川にへだてられているため、むかしより交通がさかんになったことがない。明治二十年ごろまでは、近くの村とそんなにちがいはなかったが、てつどう鉄道、ばしや馬車、じどうしゃ自動車などを見るようになってからは、近くの町、村にくらべると、へきち、ふべんといわれるがしかたない。

明子さんは、三つの村の古い本にかかれていますことから、伊予鉄道が通るようになって、まわりの町や村との行き来がどのようにかわったか考えてみました。

年表を見ると、ふべんといわれていた拝志村にも今からおよそ四十年前に、バスが通りました。また、坊ちゃん列車もディーゼル車にかわり、今では電車になりました。

横河原から松山へ行く時間

いつ	利用するもの	時間	1日の回数
<small>てつどう</small> 鉄道ができる前	歩	3時間	
<small>てつどう</small> 鉄道が通ったごろ	坊ちゃん列車	50分	17往復
30年ぐらい前	ディーゼル車	39分	22往復
今	電車	30分	61往復

拝志のおじいさんは、

「バスが通るようになったので松山へ買い物に行くのにたいへんべんりになりました。

町へ出ると何でも売っているの、みそやしょうゆまでかうようになったしまいました。」  
と、話してくれました。

横河原のおじいさんは、

「坊ちゃん列車だと松山へ行くのに一時間もかかっていたりましたが、今では三十分ほどで行けるようになり、回数も多いので、二、三時間あれば買いいものして帰ることができ、とてもべんりになりました。」

と、うれしそうに話していました。

また、高浜^{たかはま}までのりかえなしで行けるようになり、通学や海水浴^{よく}などべんりになりました。

### 3 大きなせんそうのあと

日本がアメリカ合衆国^{がっしやうこく}やそのほかの国とせんそうをしたあと、人びとのくらしがたが大きくかわりました。

#### ① 重信町が生まれる

日本の人びとのくらしについて、国がしていた仕事を村にまかされるようになりました。そのためには、小さな村ではなかなかできない仕事がたくさんあるので、いくつかの村がいつしよになって仕事をするようになりました。

むかしから、北吉井、南吉井、拝志の三つ

重信町たんじょうをいわう歌

一、石つちはれて空はれて

よろこひのうたこだませよ

みんなのねがいが一つになって

みんなのぞみがつつになって

生まれたわが町

重信町

二、重信ひかり雲ひかり

よろこひのうたこだませよ

みんなのころが一つになって

みんなのえがおが一つになって

たのしいわが町

重信町

の村は、となりあつて

たいへんしたしいあい

だがらでした。この三

つの村のみんなのねが

いが一つになって、昭^{しやう}

和^わ三十一年九月一日、

大きな町、重信町が生

まれました。この大き

な町、重信町は、一万

五千七百十人の町民^{ちやうみん}が

生活^{のうそん}している農村でし

#### ② 道路^{どうろ}をととのえる

明子^{あきこ}さんは、大きな町になって、「豊かな^{ゆた}町づくり」をめざして、どんなけいかくがたてられたのかしらべてみました。

新しい重信町づくりは、橋をかけることや道路をととのえ、町民の安全をねがうことからはじまりました。

交通量は、今後ますますふえ、自動車も大型になってきている。自動車道路をととのえ、これにくわえて通学のきけんをなくし、さらに全町一つになることと、町民のふれあい、産業の発展のために重信川に橋をかけることをつよくすすめる。農道は近代的な農業の機械が通るようにせいびする。

(新町建設計画の一部)

明子さんは、どこへ橋がかかり、どのよう  
に道路がととのえられたか、近くの道路をし  
らべてみようと思いました。



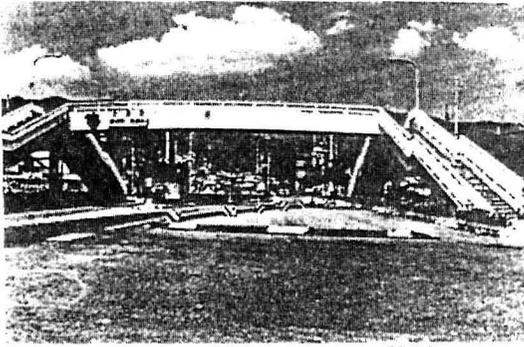
木の橋を通学する中学生たち(昭和33年ごろ)



橋のないとき水の中を歩く(昭和20年ごろ)



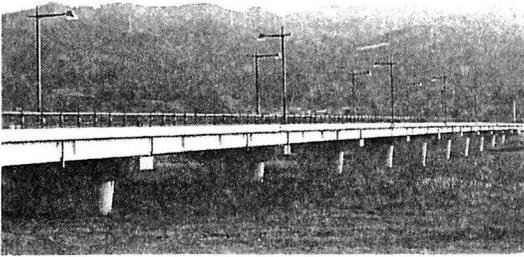
昭和40年4月完成の拝志大橋



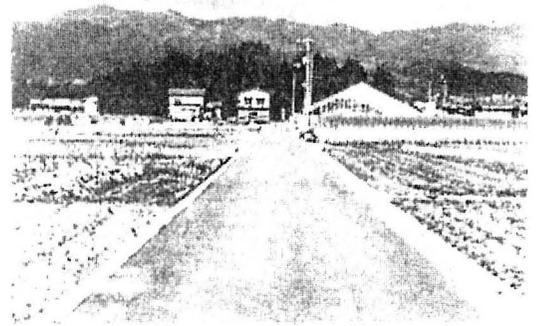
昭和57年完成の国道11号線



せいびされる前の農道



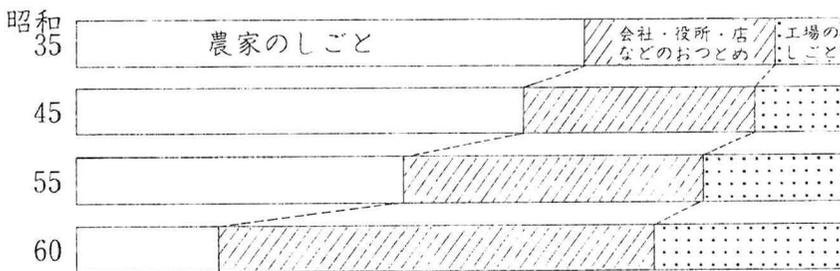
平成2年11月完成の上村大橋



せいびされた農道

年	人口(人)	家の数(けん)
昭和 30	15,710	2,789
35	14,703	2,934
40	14,041	3,065
45	14,056	3,405
50	17,624	4,526
55	20,070	5,751
60	21,380	6,327
平成 3	20,765	6,722

重信町の人口と家の数



町の人々の仕事の変化

③ 人口がふえる  
 明子さんは、左の表を見て、重信町の人口は、だんだんふえてきていることがわかりました。そのわけを考えてみました。

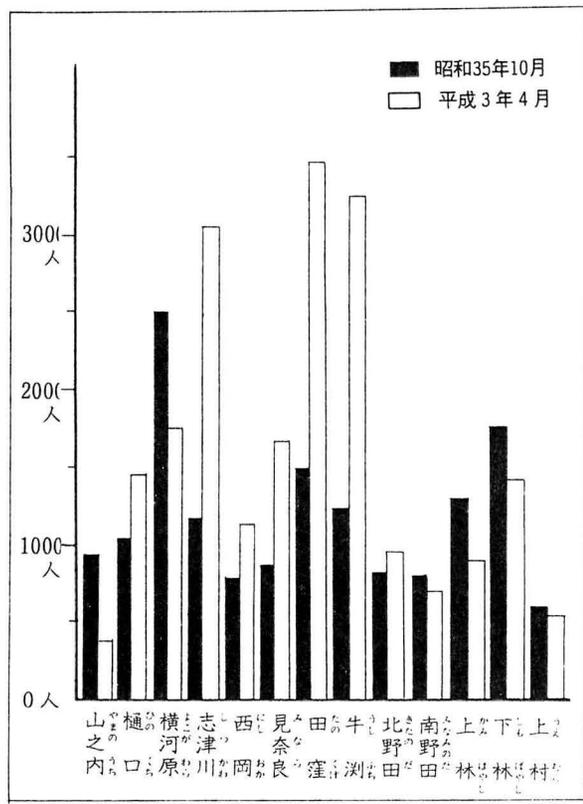


橋のようす

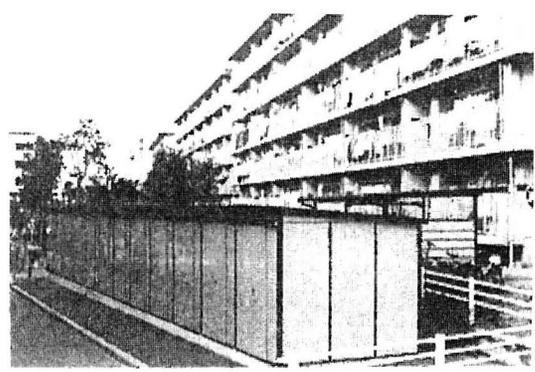
重信町には、高等学校、愛媛大学医学部、養護学校などいろいろなしせつができました。



愛媛大学医学部



重信町の大字別人口



牛渕団地付近

伊予鉄道の田窪駅・牛渕団地前・愛大南口駅もできてきました。そして、そのまわりには、住宅団地や商店がふえ、まちのあちらこちらに、工場もできてきました。

④ 町制三十周年をむかえた重信町

昭和三十一年に生まれた重信町は、交通がととのい、学校や公民館や図書館などのしせつもできて、とてもくらしやすい町になりました。また、住宅などもたくさんふえて、ますます大きな町になってきました。

昭和六十一年十一月五日には、重信町となつて三十年目をお祝する式がにぎやかにおこなわれました。文化祭やマラソン大会などいろいろな行事をおこない、町の人々みんなでよろこび合いました。

みなさんも、このあと重信町がどんな町に発展していくとよいか、ゆめをふくらませて考えてみましょう。





たくさんのごみの山

⑤ 暮らしの上での問題^{もんだい}

重信町は大きな町となって、人口がふえ、くらしもべんりになってきました。しかし、春子さんは、町が大きくなると、今までになかったくらしの上での問題が、いろいろおきていないだろうかと思ひしらべてみました。

春子さんは、こんな  
にたくさんのごみが出  
ているにおどろきま  
した。すぐに町のおじ  
さんがあつめにきて、  
しまつをしてください  
ました。どこへ持^もつて  
いくのか心配^{しんぱい}でしたが  
どじこみの年表^{ねんびょう}をみる  
と、昭和四十五年に山^{やま}

之内^{のうち}にごみ焼却場^{しょうきゃくじょう}ができたので安心^{あんしん}しました。



交通量の多くなった国道11号線

みなさんも、ほかにどんな問題^{もんだい}がおきてい  
るかしらべてみましょう。

(二) 家のごさされている古い道具どうぐ

むかしの人は、せいかつするためによ  
うな道具を使っていたのでしよう。

しらべること

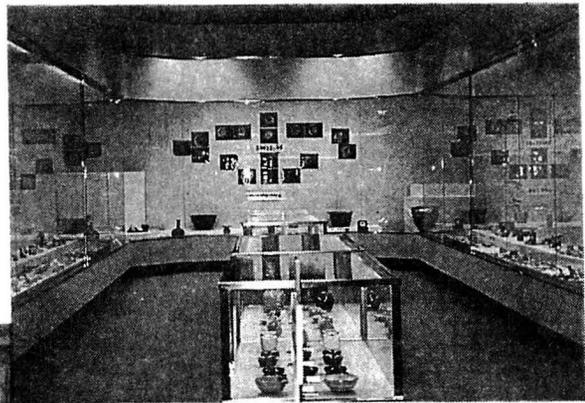
- 。道具の名前や形
- 。いつごろつかっ  
ていたか。
- 。どんなことにつ  
かっていたか。

- 。今の道具とくら  
べる。(ちがい)

しらべかた

- 。自分の家やきんじよで  
古い道具をさがす。
- 。むかしのことを知って  
いる人に聞く。
- 。重信町の歴史民俗資料  
館かんへ行く。

これらの道具をつかって、むかしの人た  
ちはどうな生活をしていたのか話し合っ  
てみましょう。

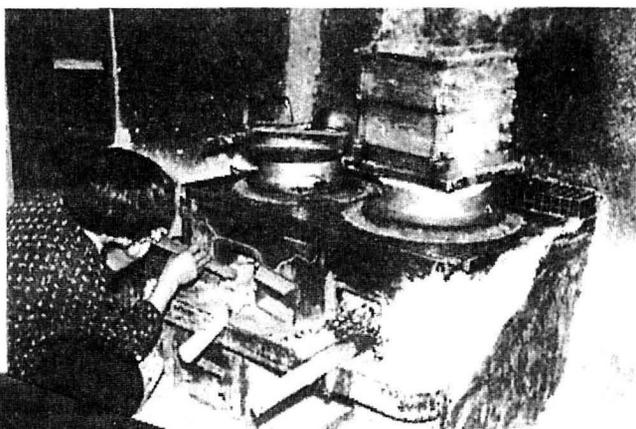


歴史民俗資料館内部

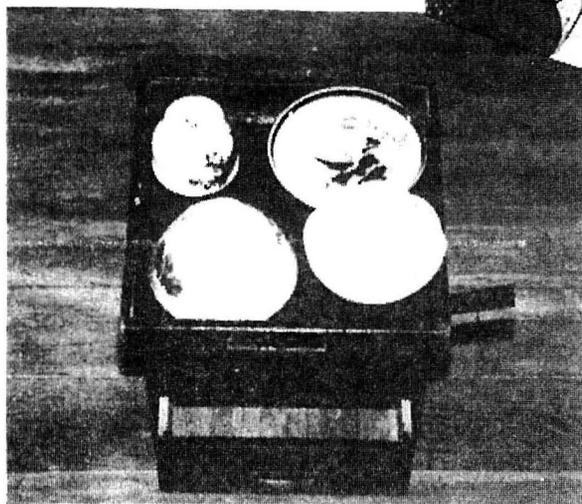


重信町歴史民俗資料館には、昔の古い道具が集められています。

① かまどとはこぜん



かまど



はこぜん

明子さんが、おばあさんの家のおもちつき  
のようすを見ていると、広い土間どまにある土の  
かまどにまきをくべて、もち米をむしていま  
した。

おばあさんに聞いてみると、これは「かま  
ど」で「くど」ともいって、むかしは、ごは  
んもおかずもこのかまどにまきをくべてたい  
ていてのだと話してくれました。

明子さんは、むかしの人は、じつとかまど  
のそばについていて、火かげんを見なければ  
ならなかったからたいへんだったんだなあど  
思いました。

また、しょくじは今はテーブルでしていま  
すが、むかしはひとりぶんの食べるものをの  
せていた「はこぜん」で、ひとりひとりがそ  
の前にすわってしょくじをしていたそうです。

## ② 石うす



明子さんは、おばあさんのうちの「なや」に、石を二つかさねたものをみつけました。これは、「石うす」といって、お米を少しずつ入れてうすをまわして、こなにしていたのだと話してくれました。このお米のこなで、おだんごを作っていたそうです。また、だいたもこの「石うす」で、ごろんごろんとひいて、きなこを作っていたそうです。

あべかわもちやおすはぎに、このきなこ石つかを使つかっていたそうです。

## ③ つるべ

明子さんは、おばあさんの家のうら口にある「いど」の上に木の小さなはこがあるのを見つけました。

これは、いどの水をくむ「つるべ」というものでした。むかしは、水道すいどうがなかったので、つなのりょうはしに木の「つるべ」をくくって、いどの水がある所まで下ろして、水が入るとひっぱり上げて水をくんでいたそうです。



木のつるべ

みなさんも、ほかの道具をしらべましょう。

### (三) 町にのこされている古い行事

重信町に古くからつづいている行事には、  
どんなものがあるのでしよう。

<p>しらべること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>。行事の名前</li> <li>。いつするか。</li> <li>。どのようにしているか。</li> <li>。行事にこめられている人びとの考えやねがい。</li> </ul>
<p>しらべかた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>。自分たちがしている行事を話し合う。</li> <li>。むかしのことを知っている人に聞く。</li> <li>。お宮や歴史民俗資料館<small>りょうかん</small>へ行く。</li> </ul>

#### ① 亥の子

むかしのこよみで十月の「亥」の日には、  
子どもたちはわら亥の子を作って集まり、そ  
れぞれの家を回って亥の子つきをします。



亥の子つき

これは、その家に元気な子が生まれ、お米や野さいがたくさんでき、これから先もますますはんじょうしていくように、みんなで歌を歌いながらおいおいをするのです。

亥の子をつくときは、次のような歌を歌いながらその家のはんじょうをいわいます。

いのこいのこ

おいのこさんという人は

みなさんも、

一で たわらをふまえて

さんかしましよ

二で にっこりわろて

う。

三で さけ つくって

四つ 世の中よいように

五つ いつものごとくなり

六つ むびょうそくさいに

七つ なにごとないように

八つ やしきをたてひろげ

九つ 小ぐらをたてならべ

十で どうとうおさめた

この家はんじょうせえ

この家はんじょうせえ

このように歌っている所もあります。みなさんの所では、どんなに歌っていますか。

冬のはじめの寒い夜に子どもたちの歌う亥の子歌は、ポテンポテンとつく亥の子の音といっしょにあたりにはびき、夜空に消えていきます。



市ちの木につるしたいのこのわらぼて

亥の子がすむと、ついた亥の子のわらぼては柿の木にひっかけておきます。こうしておくとお米や野さいがよくできるのだそうです。亥の子の歌を聞くと、むかしの人の考え方や、ねがいがつたわってくるようです。

このほかにも重信町には次のような古くからおこなわれている行事があります。それらの行事には、それぞれどんなねがいがかめられているのでしょうか。

## ② 虫送り

百万べん、虫ぎとう、土用ぎとうともいい土用三日目に行います。

子どもたちが、大きいたいこをドンデンドンデンとたたきながら、  
「なんまいだあ、なんまいだあ、いねの虫しや目えむいだあ。」

という文句をはやしながら虫を送っていったものです。

いまでは、この日に地区の代表の人がお寺に集まっておいのりをしています。

しかし、さいきんでは、この虫送りの行事をふっかつさせ、つづけていこうとしている地区もあります。



30年ぶりにふっかつした  
北野田地区の虫おくり

③ おぼん

おぼんが近づくと、おほかそうじをします。八月十四日に、かど口でむかえ火をたいて、ごせんぞさまの「れい」をおむかえし、おまつりをします。十六日には、家でかがり火をたき、おほかではおがらをたきます。そして、そなえものをして、せんこうを立てておがみます。これが、送り火です。

みなさんの家ではどのようなにしていますか。

④ 秋祭りまつり

十月のとり入れが近づくと楽しい秋祭りがやってきます。

この日は、町内のどの神社じんじやでもおみこしを出したり、ししまいをしたりしてにぎわいま

す。



山之内・麓ふもとの楽頭がくとう

神社はもとよりおたび所しょや組つじの辻つじなどにのぼりが立ち、家々いえいえにもちようちんがつるされるところお祭りの気分はいつそうもり上がります。むかしは、「神楽かぐら」がほうのうされたあと夜は、青年の人たちの「ニワカ」とよばれるもよおしもありました。

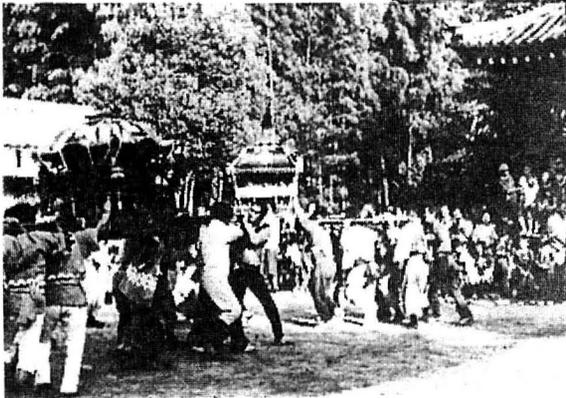
さわやかな秋空になりひびくししだいにこにつれて、いろいろな動きのししまいが行われ、美しく着きかざった見物人けんぶつたちや子どもたちの目を楽しませてくれます。

明子さんは、むかしの人は、家ぞくみんなが元気で、家もはんじょうするようになつていづうでいのつたんだなあと思いました。

太郎さんは、むかしの人は長い間くろうし



牛淵のおねり



お祭りの  
おみこし



しし舞まい

てそだてたお米が実^{みの}ったのを見て神^{かみ}さまに感^{かん}しゃし、みんなでいわったのだと思いました。

よし予さんは、むかしは何でも手でしていでくろうも多かったから、それだけとり入れのよろこびも大きかったんだらうと考えました。

みなさんも、しらべてわかったことや感じたこと、考えたことなどを、いろいろなまとめ方をして発表し合いましょう。

# 一 住みよい生活

## (一) わたしたちのくらしと重信町の水

### 1 重信町の人びとのくらしと水道

重信町では、たくさんのお水を、どのように使っているのでしょうか。

むかしは、茶わんやはがまなどを、川の水であらっていました。飲み水やすすぎあらいの水は、いどころからくんでいました。ふるの水くみなどは、大へんな仕事だったそうです。今では、水道のじゃ口をひねるだけで、いつでもたくさんのお水を使うことができます。

重信町では、一万七千人の人が、一日に六千三百立方メートルのお水を使っています。

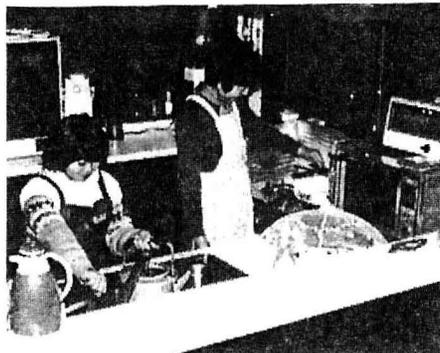
水は、家庭・学校・仕事場などで、どのように使われているか調べてみましょう。



ホームポンプ



手押しポンプ



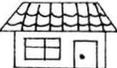
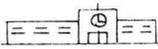
家庭のすいじ場



つるべで水くみ

しげのぶちよう かんい すいどう  
重信町で1日に使った簡易水道の水の量

(平成2年8月役場しらべ)

	1000	2000	3000	4000	5000 m ³
 家で使う量	5,061				
 役所・病院・学校で 使う量	1,176				
その他 らくれん 精米工場 建築工事使用(臨時)等	117				

## 2 水道が使える地いきの広がり

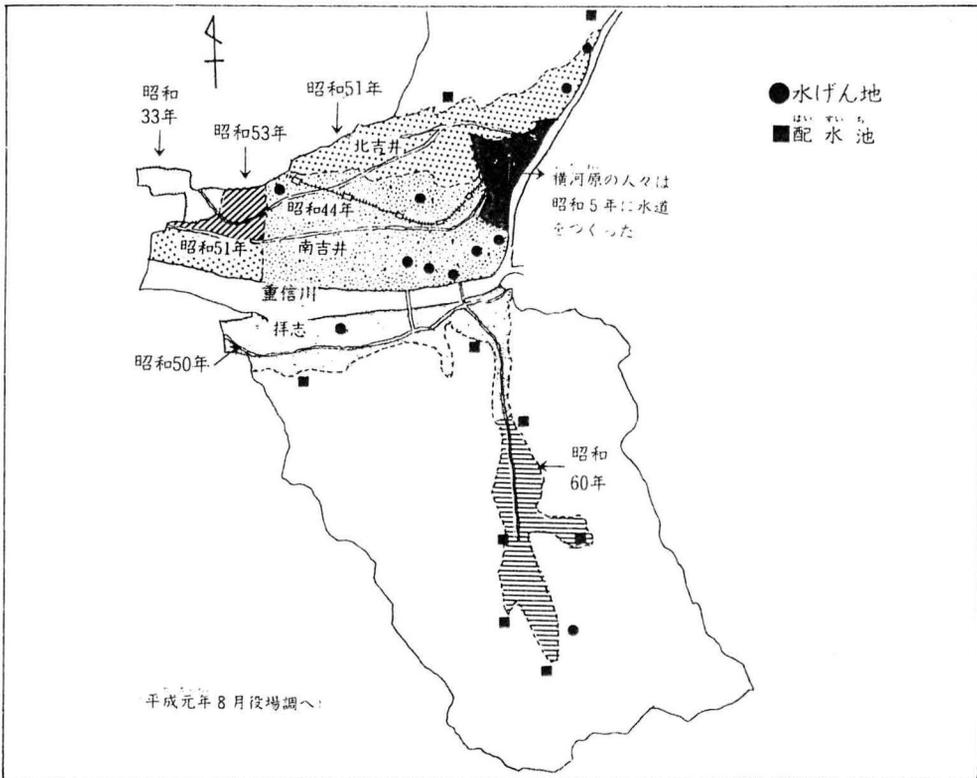
重信町の簡易水道の広がりかんいは、どのようになっかているのでしうか。

横河原は、大へん深く井戸をほらないと水が出ません。それで、横河原の人たちは、今から六十年ほど前、初めて簡易水道を作りました。

ほかの所でも、井戸水がだんだん出なくなっつたり、よごれたりする所がでてきました。

そこで、重信町では、昭和四十三年から、町民の願いをとり入れて、簡易水道を作つてきました。今では、町内の全地いきで簡易水道が使えるようになっています。どこでも簡易水道が使えるようになるまでには、二十年いじょうもかかっています。

# 町の水道の広がり



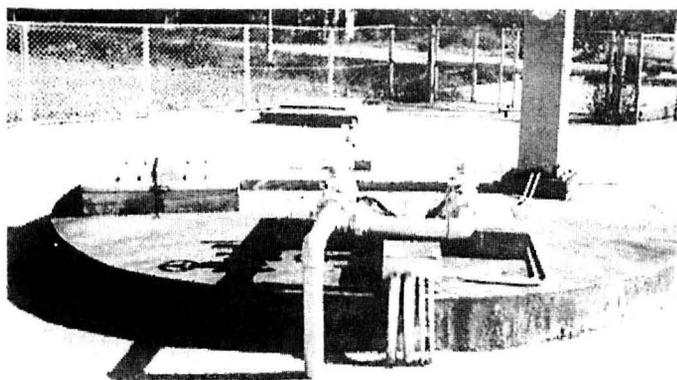
かんい すいどう 簡易水道利用のうつりかわり (平成2年8月役場しらべ)

1日に使った水の量 5000 m ³	昭和	水道を使う人の数 人		
		5000	10000	15000
	44	3,300		
585	47	5,318		
1,612	50	7,481		
3,974	53		12,042	
5,210	56		14,112	
6,609	60		15,587	
6,485	63		16,698	
6,354	H2		17,078	

### 3 簡易水道のしくみ

きれいな水を、いきおいよく、広い地いき  
に送るためのしくみを調べましょう。

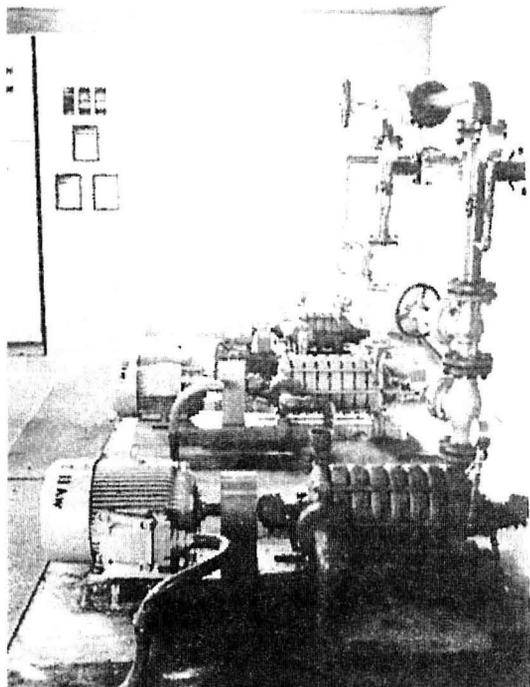
水の少ない重信町の簡易水道は、ほとんど  
地下水にたよっています。



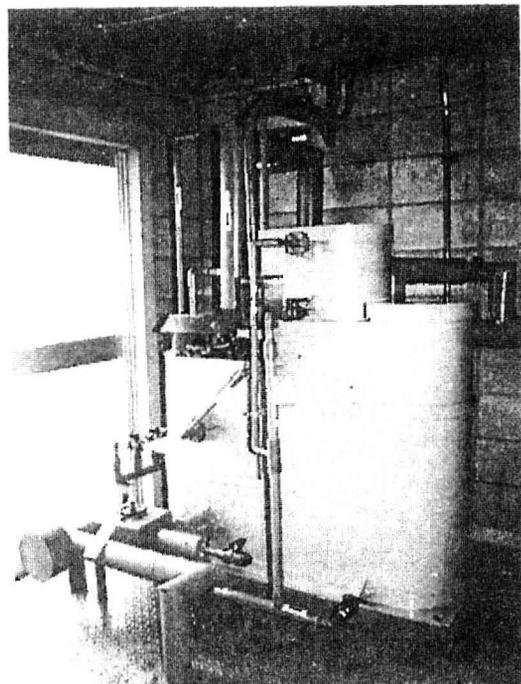
井戸のふた



井戸 (水中ポンプ)



送付ポンプ

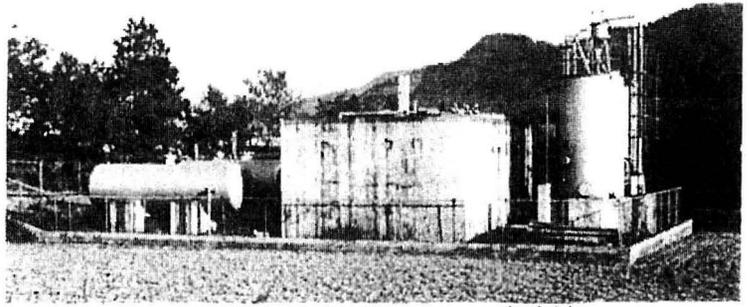


めっきん機

見奈良水源池 すいげんち



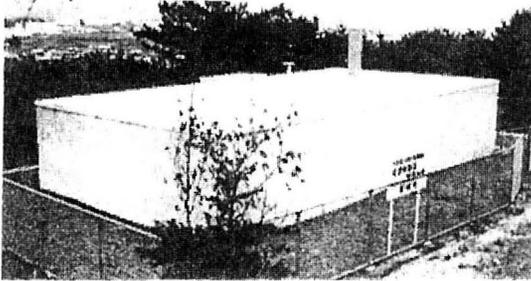
水を使う



あつりよく  
圧カタンク

じょうすいち  
浄水池

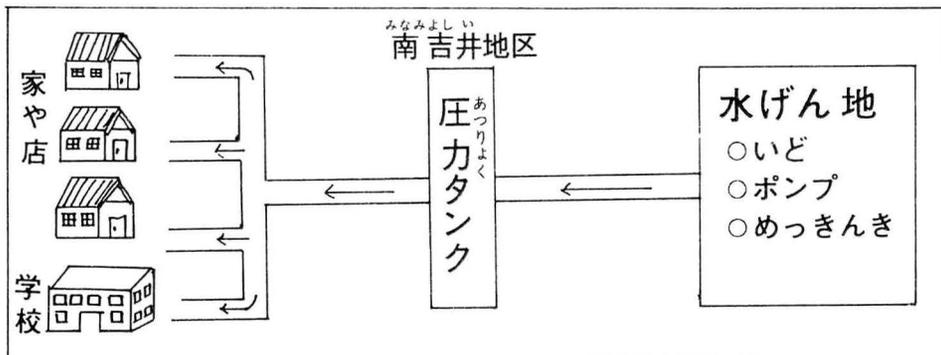
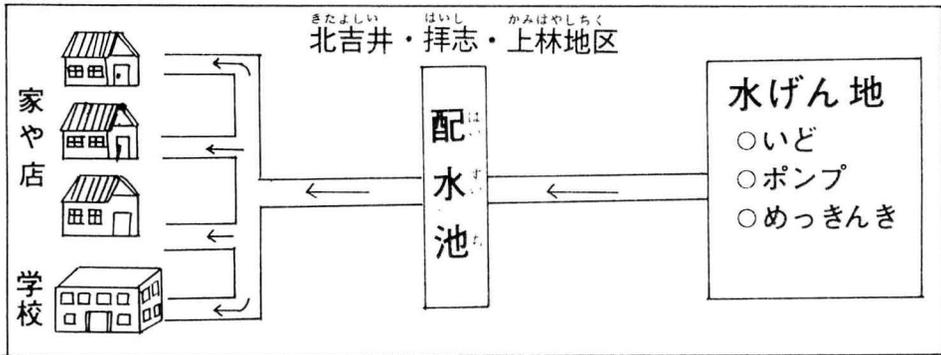
きゅうそく  
急速ろか機



にしのおかはいすいち  
西岡配水池 (高さを利用して水を送る。)



はいすいかん  
配水管



#### 4 下水のしまつ

重信町では、下水のしまつを、どのようにしているのでしょうか。

重信町には、下水のしまつをする下水しやり場はありません。

家から出たよごれた水のほとんどは、家の回りの水路に流れ出ています。

しかし、学校や病院などから出るたくさん  
の下水をそのまま流すと、川の水はよごれて  
しまいます。そこで、学校や病院では、じよ  
うかそうを使って、下水をきれいな水にして  
います。

下の図のように、地下にいくつもの区切り  
がある大きな水そうをうめています。

第一そうに流れてきた下水は、大きな重た  
いごみのようなものをしずめ、第二そうに送

られます。

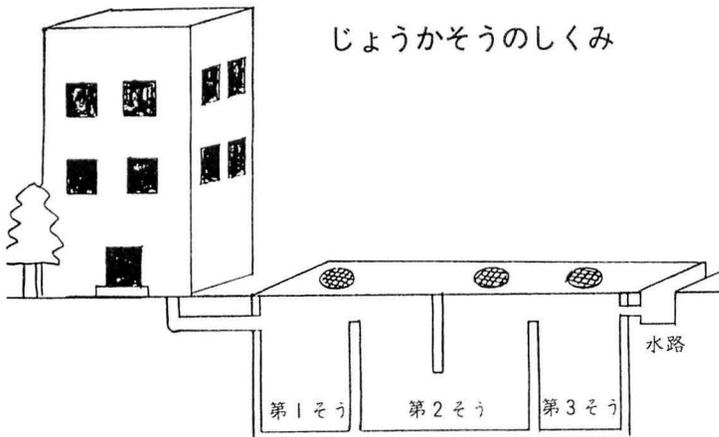
第二そうでは、バクテリア（微生物）でき  
れいな水にかえます。

第三そうに入った水は、水路に流す前くす  
りを使って、さらにきれいな水にします。

このようにして、きれいになった水は、水  
路を通って田の水に利用したり、重信川へ流  
されたりします。

近ごろは、家庭  
でも、じようかそ  
うをうめて、水せ  
ん便所べんじよにしている  
ところが多くなっ  
てきました。

じようかそうのしくみ



## (二) ごみを少なくする運動

重信町では、ごみのしまつを、どのようにしているのでしょうか。

むかしは、ごみを自分の家でもやしたり畑にうめたりしていました。しかし、くらしが便利べんりになってくると、ごみが大へんふえてきました。また、ごみを川にすてる人もいて、川がよごれるようになりました。そこで重信町では、昭和四十五年に、山之内の麓ふもとに、重信町の清掃センターをつくり、たくさんのごみをやいてしまつするようになりました。

ごみのおき場は、町のあちらこちらにあります。家のまわりのごみおき場がどこにあるのか、家のごみは、どのようにしまつしているのか調べてみましょう。

わたしたちの家から出るごみは、もえるご

みともえないごみに分けて集めます。生ごみや紙くずなどは、ごみぶくろに入れて、口をきちんとしばって出します。

大きなごみ	もえないごみ	もえるごみ	
テレビ・れいぞう 庫・せんたく機 自転車・ミシン・ ベット・机・いす ・家具・ふとん・ じゅうたん	ガラス ビン類 金物類 プラスチック類	台所生ごみ 紙くず	ごみの種類 集め方
四月二十八日 六月二十八日 八月二十八日 十月二十八日 十二月二十八日 二月二十八日 午前十時まで (年に六回)	毎月十日と二十日 正午から午後六時 まで(月に二回)	一週間に二回決ま った曜日の午前八 時まで	

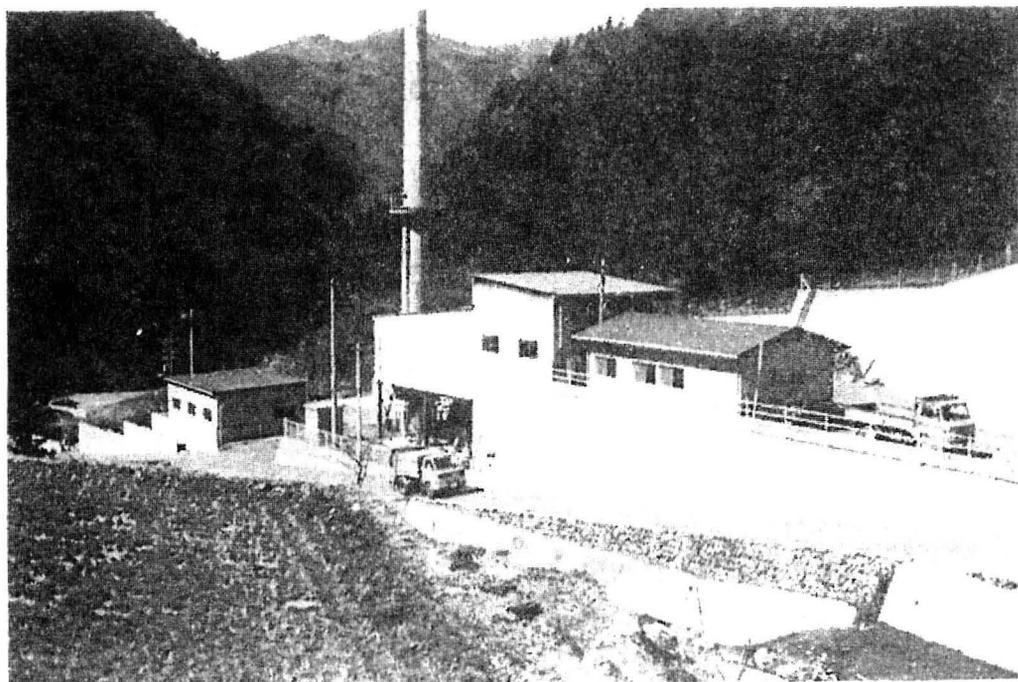
ごみを集めているおじさんの話  
 みんな、きまりをよく守ってくれてい  
 ます。でも、もえるごみの中へびんやか  
 んを入れている人や、時こくにおくれて  
 出したりする人がいて困ります。  
 また、大きなごみを出す日をまちがえ  
 て、もえないごみを出す日に、じてんしゃ自転車や  
 テレビを出す人もいます。



しゅうしゅう  
 だしたごみを収集車につんでいるところ

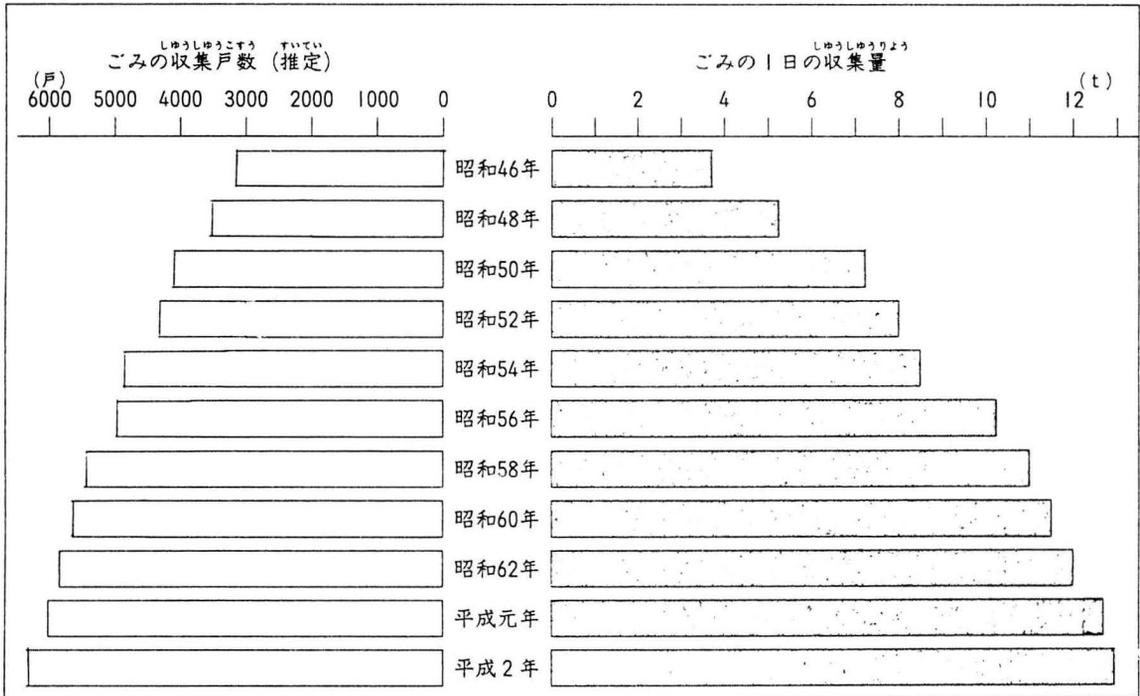


きけん物を出している



せいそう  
 重信町清掃センター

ごみの収集戸数と1日の収集量 (平成2年8月役場調べ)



むかしは、ごみのしまつをどのようにして  
いたのでしょうか。おじいさんやおばあさんに  
聞いてみましょう。

よし子さんのおばあさんの話

むかしは、おとう、ふはお皿おしらを持って、おしよ  
うゆは、びんをもって買いに行きました。た  
から、ごみはありません。

生ごみは、にわたりのえさにしたり、こえ  
(ひりょう) にしたりしました。木や竹や紙  
などは、おふるわかしに使いました。その灰はい  
は、食器しょつきをあらったり、灰じるをとってせん  
たく石けんのかわりに使っていました。また、  
ひりょうにもしました。金物などは、くず屋  
のおじさんが、あめとかえてくれました。

くらしが便利になると、ごみもふえてきます。ごみをしまつするのにも、重信町では、たくさんのお金を使っています。

そこで、重信町では、ごみを少なくするよ  
うに、いろいろと考えています。

生ごみをくさらせてひりょうにするのもその一つです。そのために、町が半分のお金を出して、各家庭で生ごみをくさらせたいひにする容器ようきを買ってもらっています。

また、新聞紙、あきびん、ぼろぬのなどはしげんかいしゅう業者に売って、リサイクルするようすすめています。地いきで集めているところもあります。学校で回収して、売ったお金を学校のために使っているところもあります。

平成三年からは、町民会館に「くうかん鳥」

という、あきかんをつぶしてリサイクルする機械きかいがおかれました。あきかん一こで、ほじょけん一まいです。ほじょけんはノートにはるようになっています。ノートにいっぱいになると、図書けんがもらえます。あきかんは少なくなるし、持って行った人は、図書けんがもらえるので、「くうかん鳥」は、大いそがしのだそうです。

わたしたちは、ごみをださないようなくふうもしなければなりません。また、すぐにしてしまわないで、何か利用できなにか考えてみることもだいじです。



生ごみを処理する容器ようき

## 二 安全な生活

### (一) 火事をふせぐ作戦さくせん

#### 1 火事を早く消すために

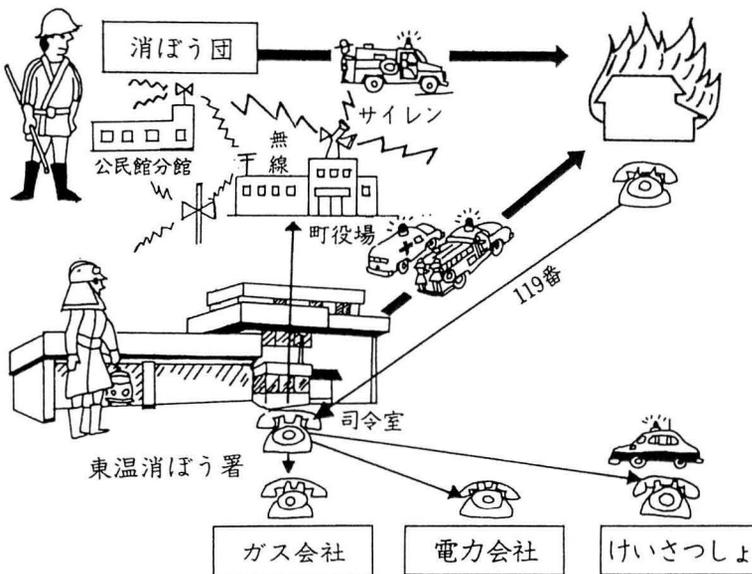
重信町では、火事を早く消すために、どんなしくみをつくっているのでしょうか。

重信町は、川内町と共同きょうどうで、横河原に、東温消ぼう署しよをつくりました。ここでは、三十名の人が、いつでも火事を消しに行けるように、訓練くんれんをしています。また、火事をおこさないように、見回りやよびかけをしています。その上に、地いきの人たちといっしょにぼう火訓練をしています。

このほか、重信町消ぼう団だんがあります。消ぼう団の人は、ふだんは自分の仕事をしています。火事になると、無線放送むせんほうそうでれんらくが

いき火事場にかけてつけます。

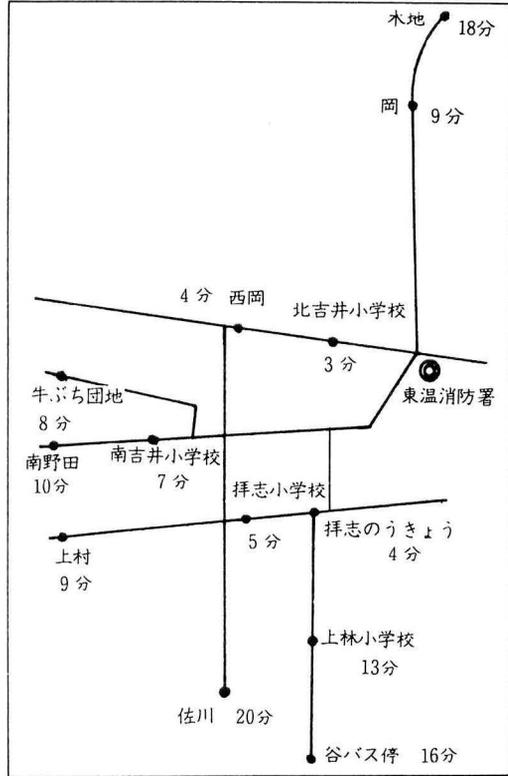
- △調べるけいかくをたてよう▽
- 東温消ぼう署しよのしくみやはたらき。
- 消ぼう団のしくみやはたらき。



消ぼう署のれんらく

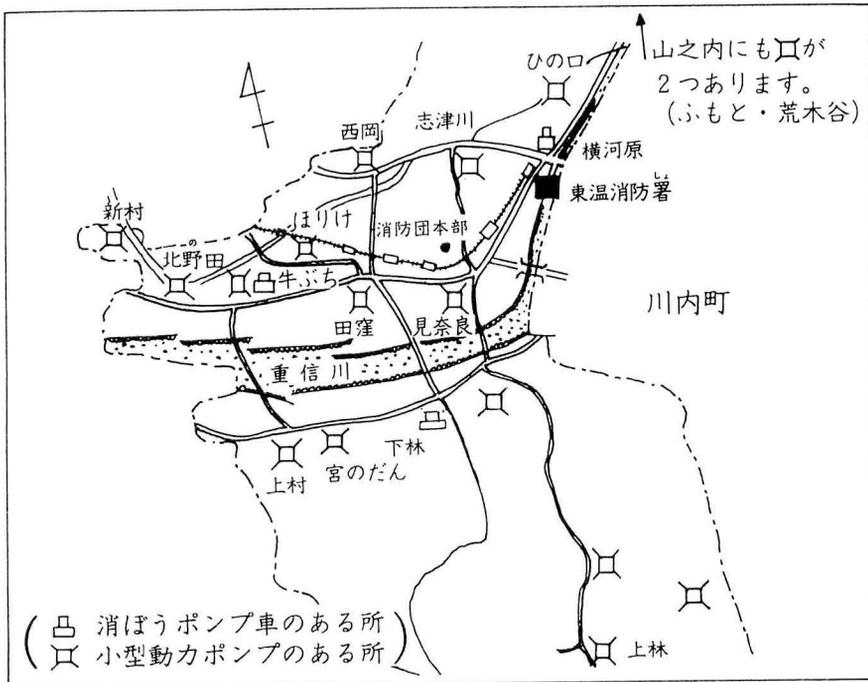
年	家屋	林野 山林	車両	その他	計
昭和51	5	0	0	0	5
52	0	2	0	0	2
53	4	6	0	0	10
54	3	2	0	0	5
55	5	3	0	1	9
56	2	1	0	2	5
57	7	2	1	1	11
58	8	2	0	1	11
59	6	2	1	0	9
60	6	1	0	0	7
61	5	2	1	0	8
62	5	0	0	0	5
63	3	1	1	0	5
平成1	4	0	2	0	6
2	2	1	0	0	3

○ 重信町でおきた火事の数



○ 消ぼう署からかけつけてくれる時間

消ぼう団のポンプおき場 (昭和63年調べ)



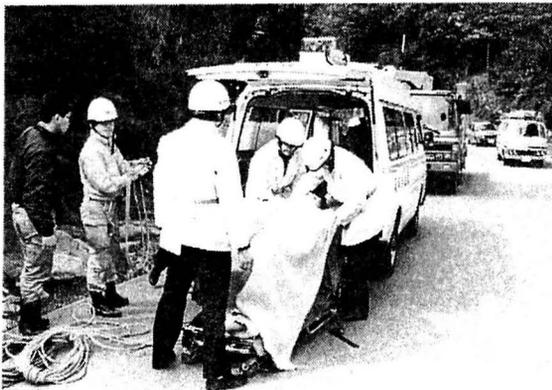
○ 消ぼう団のポンプのおき場

火事 のとき	ふだんのようす	人 の 数	防 災 行 政 無 線	消 火 せ ん	防 火 水 そ う	指 令 広 報 車	は し ご 車	小 が た 動 力 ポ ン プ	救 急 自 動 車	救 助 工 作 自 動 車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	水 そ う つ き ポ ン プ 車	小 が た 動 力 ポ ン プ 車	こ と が ら
協 力 し 合 う	ふだんでも 消防の仕事をしている。	35人	37 き	300 か所	73 か所	1 台	1 台	1 台	2 台	1 台	2 台	1 台	1 台	東温消防署
	ふだんは 自分の仕事をしている。	313 人								20 台			3 台	

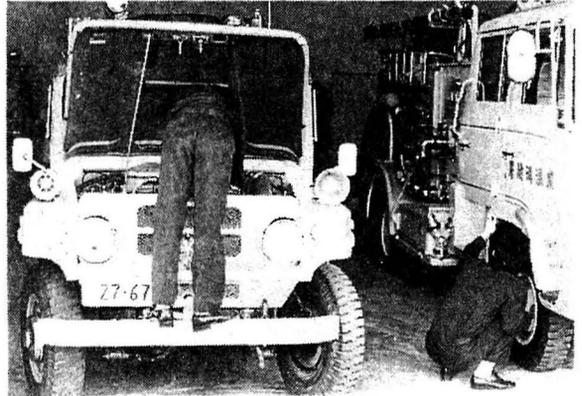
東温消ぼう署と消ぼう団



東温消ぼう署



救急自動車



消ぼうポンプ自動車

○ふだんでも車のてんけんや、^{くんれん}訓練  
をしています。



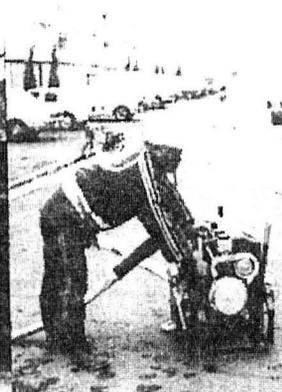
はしご車



きゆうじよ  
救助訓練



消ぼう団ポンプおき場



小がた動力ポンプ



消火せん

重信町では、^{あいたい}愛大医学部や病^{たてもの}院ができてから高い建物がふえていきます。また、消ぼう車の入らないせまい道路ものこっています。どのようになっているか調べてみましょう。



おそろしい山火事

- どんなにして火を消すのでしょうか。
- 消ぼう団の人がたりないときは、どうするのでしょうか。

## 2 もえない町づくり

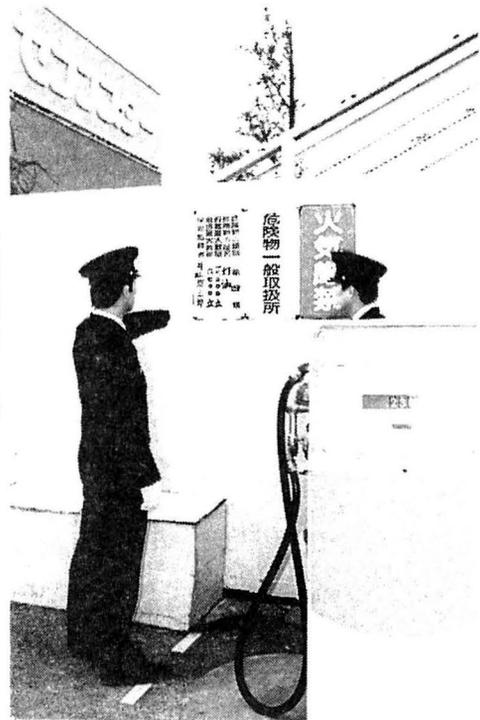
重信町では、大きな火事をふせぐための町づくりは、どのようにしているのでしょうか。

重信町では、町を火事から守るために、町の道路のはばを広げて消ぼう自動車が入れるようにしたり、消火せんやポンプおき場をふやしたりしています。また、東温消ぼう署では、火事をふせぐために、次の四つの仕事をしています。

- (1) 予ぼう (災害をふせぐために)
- (2) 行事 (きりつを守るために)
- (3) 広報 (協力してもらうために)
- (4) 訓練 (すぐに活動するために)



ひとりぐらしのお年よりの家をたずねる



ガソリンスタンドのけんさ

### (1) 予ぼう



(3)

広報

人工呼吸法の練習



(2)

行事

でぞめしき  
出初式



消火器の使い方



少年消ぼうクラブの消火訓練



ひなん訓練



消火訓練

(4)

訓練

## (二) 交通事故のない町に

### 1 ふえる交通事故

重信町の道路や国道十一号線での交通事故について調べてみましょう。

瀬戸大橋が開通したり、工場や店ができた  
りして、重信町を通る車の数がふえてきました。  
そのため、交通事故も多くなってきました。  
した。

### △調べる計画をたてよう▽

- ・ 交通事故は、どのようにふえているか。
- ・ 重信町の交通事故は、どうなっているか。
- ・ 交通事故の原因は何か。

重信町の交通事故

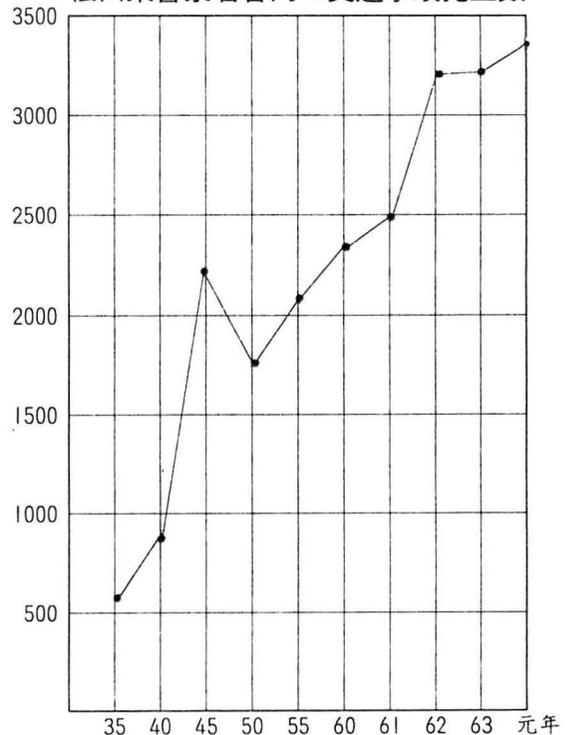
	昭和 63年	平成 元年	平成 2年
交通事故数	66件	110	111
死者数	3人	2	4
傷者数	76人	139	121

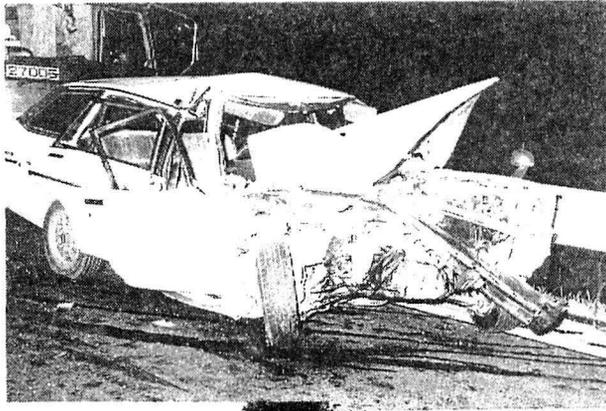
なって、けがをした人の数や、なくなった人の数もふえています。  
重信町の交通事故の数も、年々ふえています。  
交通事故の原因で

ふえていることが、わかります。それにとも

右のグラフを見ても、交通事故の数が、年々

松山東警察署管内の交通事故発生数





おそろしい交通事故

一番多いのは、うんでんしゅ運転手さんの前方不注意です。二番目は交差点こうさきでの不注意です。自転車の事故もあります。みなさんも、一人一人が注意して交通事故にあわないようにしましょう。

## 2 交通事故をふせぐ

重信町では、交通事故をふせぐために、どのようなことをしているか調べてみましょう。

交通事故をふせぐために、毎月二十日を交通安全の日と決めて、全国各地かくちで、交通事故をめぐして、取り組んでいます。重信町でも、安全旗きをたてたり、交通指導員しどういんの人が、交通指導をしています。重信町内の小学校でも、毎月十四日から二十日までを安全通学つうがく強調週間きょうごうしゅうかんとして、交通安全をよびかけています。二十日には、先生方やお父さんお母さんも出て、登校指導をしてくださいます。

また、重信町のそれぞれの学校では、交通事故をふせぐために年に三回の交通安全教室を開いています。

- ・交通安全に関する話
  - ・信号機しんごうきを使つての歩行指導ほこうしど
  - ・安全登校旗どうこうきの使い方
  - ・自転車の安全な乗り方
  - ・自転車の正しい点検てんけんについて
- 等を内容ないようとしています。



交通安全教室



自転車教室

このときには、松山東警察署けいさつしょ、重信町警察けいさつ、官派出所かんはしやうしよの方や、重信町役場、交通指導員、PTAの方々の指導を受けています。

みなさんは、交通事故をふせぐために、どんなことに注意していますか。話し合ってみましょう。

### 三 地いきの開発かいはつ

(一) たりなかつた農業用水

1 野田のだ・牛渕うしづちの田に引く水

田に引く水は、今とむかして、どのように変わってきたでしょう。

むかし、南野

田村、北野田村、

牛渕村の農家の

人びとは、おも

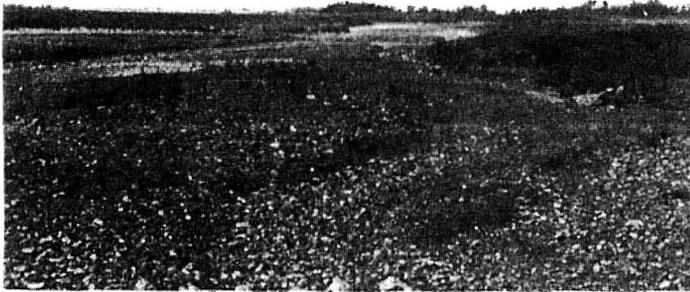
に重信川の水に

たよって農業を

していました。

しかし、ふだん

は、この川の水



ふだんは水の少ない重信川（上重信橋ふきん）

があまり流れていないので、田に引く水がたりなくて、たいへんこまっていました。

そこで、人び

とは苦労くろうして重

信川の底から水

を取り、用水路ようすいろ

をつくってたく

さんの田に水を

引きました。

今いまでも、この

用水路は使われています。

信子さんたちは、この水路はどこからきて

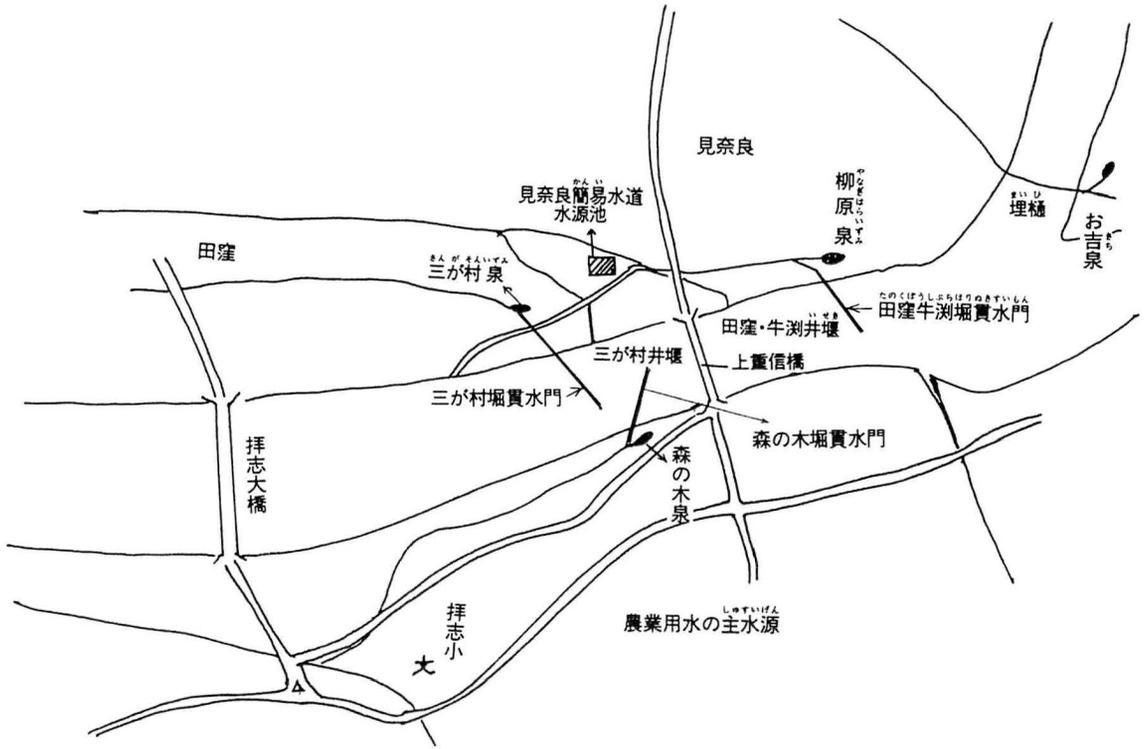
いるのか、どのようにして作られたのか、見

学をしたり地いきの人に聞いたりして、調べ

ることにしました。



田に引く水が流れるむかしの水路（田窪たのくぼ）



三が村掘貫水門と水路



三が村掘貫水門

## 2

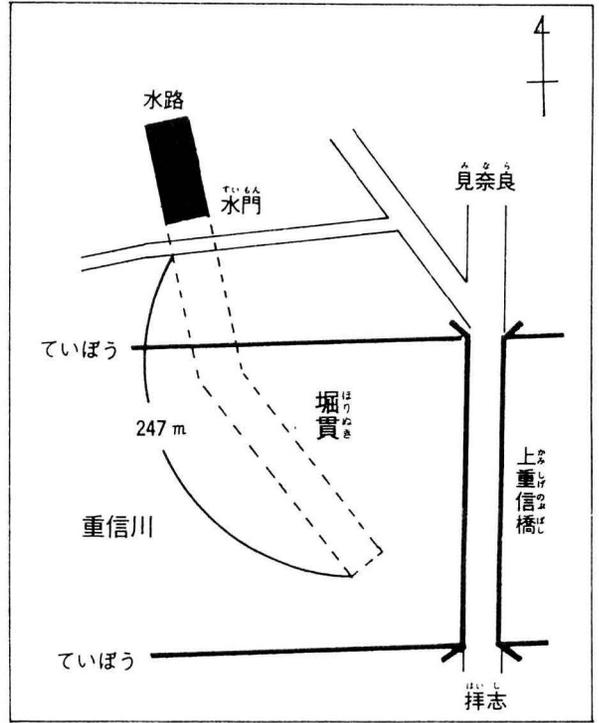
### 三が村掘貫水門の見学

三が村掘貫水門では、どのようにして、水を取り出しているのでしょうか。

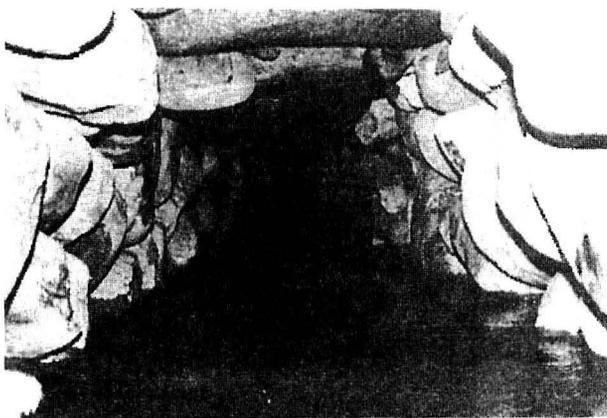
水路をたどっていくと、上重信橋の西がわにつきました。水門からは、水がいきおいよく流れ出しています。しかし、重信川には、水があまり流れていません。

この水は、どのようにして集められているのか、農家の人からいろいろ教えてもらいました。

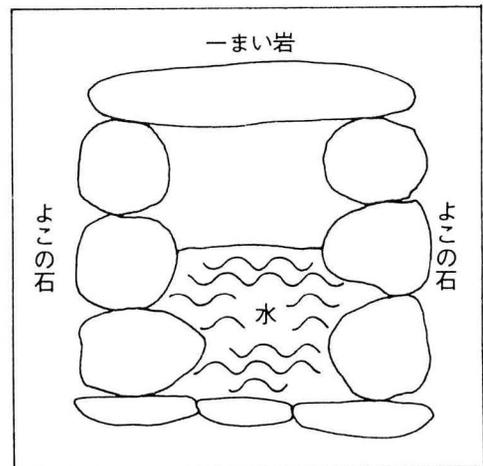
この堀貫水門は、川に深いみぞを掘り、その上を、はば六十センチメートル、長さ五十センチメートルの石でふたをしています。ふたの上には、もどおり石や砂をかぶせていますから、重信川はもどおりになっています。



堀貫のようす



堀貫のとちゅうの様子



堀貫のしくみ

す。川の底を流れる水は、このみぞにたまり、水門からたくさん出ています。

この堀貫は、三が村いせきや三が村泉からとっていた水では足りないために、一八三九年につくられました。

### 3 三が村堀貫水門がつくられる前のようす

三が村堀貫水門がつくられる前、南野田や北野田、牛渕など三つの村の人びとは、田に引く水をどうしたでしょう。

重信川は、大雨のときいがいは、水があまり流れていません。そのため、南野田や北野田、牛渕など三つの村の人びとは、田に引く水にこまりました。

重信川の水をせきとめ、水を引いていまし

た。しかし、水量が少ないうえに、水路のつくりが悪く、きよりが長いたため、水が地中にしみこみ、田にくるまでにへってしまいました。そのため、たびたび日でのりによる害を受けました。

日でのりが続くと、少ない水を自分たちの村に引こうとして、水のうばいあい、「水あらしあい」がおこることもありました。

そのため、三つの村では、三が村泉を掘り（ほ）ました。しかし、それでも用水がたりませんでした。

日でのりの年など、農家の人びとは「雨ごい」と言って神様におまいりして、水をえるのにたいへんくろうしました。

農家の人びとは、何とかしてお米をたくさん作りたい。そのために水がほしい。いい方（ほう）

法はないものかと考えていました。

## (二) 農業用水の開発

### 1 橋並右衛門のはたらき（おとしより

から聞いた話）

橋並右衛門は、田に水を引くためにどのようなくふうをしたでしよう。

橋並右衛門は、およそ百七十年ほど前の人で、北野田村の庄屋しやうやでした。

そのころ、田に引く水が不足ふそくし、日でりが続き、作物が十分育たないため、村の人びとは、苦しい生活を続けていました。この生活からぬけ出すためには、用水を手に入れるほかはないと、並右衛門は考え、重信川に目をつけました。

この重信川からは、せきをつくって水を取っ

ていますし、土手ぞいには泉を掘り、水を取っていましたから、新しく水を取るところはありませんでした。しかし、並右衛門は、この川の地下には、水が流れているにちがいないと考えました。そこで、土地のようすやしめりけ、などを調べました。また、地下水の流れの音を聞くために、川原で夜をすごすことも、めずらしいことではありませんでした。こうして、並右衛門は、川の水が少ないときでも、その地下には、たくさん水が流れていることをつきとめました。そこで「掘貫ほりぬき」をつくり、わき出る水を田に引く方法を考えつきました。

これよりほかに、水を手に入れる方法はな  
いと考えた並右衛門は、三つの村の人びとに、  
掘貫づくりの計画を説明し、これが完成する

と、日でも水がえられ、米のしゅうかくがふえることを話しました。しかし、この堀貫づくりの計画が、人びとにわかってもらえず、そのうえ、工事がむずかしいので、大ぜいの人びとが反対しました。

みんなから反対されましたが、並右衛門の強い決心と自信じしんにみちた説明は、村びとの心を動かしました。やがて、村の人びとも並右衛門きょうりやくに協力することになりました。

並右衛門は、堀貫づくりの計画書を、役所に出して役所の協力をえて、工事を始めました。水が出ることを本当にしない村びとをはげまし、川底に深いみぞを掘らせました。

やがて、川底からたくさんの水が流れ出しました。そのとき、村びとはおどろくとともに、並右衛門に感しゃしました。

みぞの上は、石でふたをして、もとおりにしておきました。でき上がるまでは、苦勞れんぞくの連続れんぞくでしたが、その後、この堀貫の水がかれて出なくなったことが、一度もありません。村の人びとは、並右衛門のりっぱな働はたらきをたたえました。今も、並右衛門のおはかに、おまいりする人が多いということです。



たしばな  
橋 並右衛門のはか

三が村堀貫水門の近くには、柳原泉・柳原堀貫水門・田窪^{たのくぼ}牛^{うし}澁^{しぶち}いせきなど、田窪・牛澁のかんがい用水^{すいげんち}源地も集まっております、祖先^{そせん}の人びとが、米づくり^{いねづくり}に大切な水をもとめて、苦勞したことがわかります。

△調べてみよう▽

・ 泉や堀貫水門の見学

## 2 ため池の利用

上村では、農用水をおぎなうために、たくさんのため池がつくられました。それは、どのようなにつくられたのでしょうか。

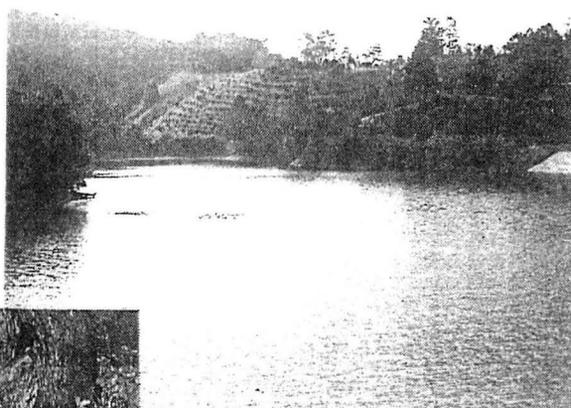
上村は、拜志^{ちげい}地区で、一番水不足にこまっています。地形^{ちけい}上、重信川の水を利用することができないからです。そこで、池づくりをくりかえしてきました。

しかし、池をつくる計画をすすめようと思うと、塚^{つか}や墓地^{ぼち}があり、たいへんなことでした。村人たちは、しんこう心があついたため、たたりをおそれて、だれ一人として計画をすすめる人はいませんでした。

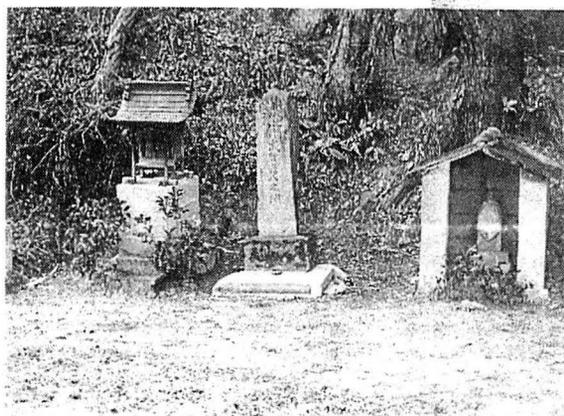
このとき、組頭^{くみがしら}であつた五十三才の武智彦^{たけちひこ}八^{はち}は、村人が一番きらつていたおはかを、ほかのところへうつして、一八〇七年に池をつくりました。村人は、この池を「彦八池^{ひこはちいけ}」と名づけ、今でも彦八をたたえ、くようがつづけられています。

「佐古池^{さこいけ}」は、重信町で一番大きな池です。下林、上村、津吉^{つよし}、中野のために一八四五年に、小山^{おやま}九三衛門^{きゅうざえもん}によつてつくられました。ていぼうの長さは、九十メートルあり、八十ヘクタールの田に水を引くことができました。

池の水の利用については、うばい合いがな  
いように、円満えんまんな話し合いがなされました。



彦八池のようす



彦八記念碑  
ひこはちきねんひ



佐古池のようす  
さこいけ

△調べてみよう▽

重信町の用水を開いた人びと

・ 西川むくうえもん 杵右衛門 (西岡新池)

・ 小山九左衛門

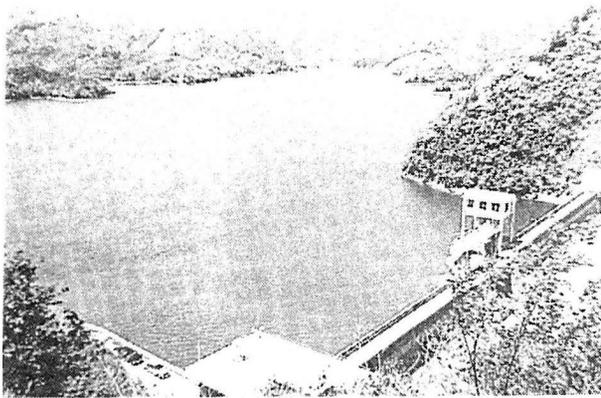
### 3 面河ダムおもごの水

面河ダムができて、農業用水は十分えられるようになりました。それは、国の事業として、道前道後どうぜんどうご水利開発による近代的な水利事業が完成したからです。

道前道後水利開発事業とは、どんなことでしょうか。

今まで面河川は、仁淀川によどかわとなって太平洋に流れ込んでいました。そこで国は、上浮穴郡かみうけなぐんにある面河川上流の笠方かさかたにダムをつくり水を貯えたくわ、その水を松山平野一万六千ヘクタールの水田、工業用水や飲料水として引くことを考えました。

村の人びとは、自分たちのふる里が、水底に沈むしずことに反対し、計画は、なかなか進みませんでした。一けん一けん説得せつとくし、村びと



面河ダム



道前道後幹線水路

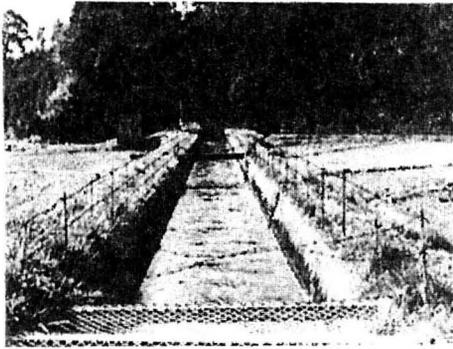
が、なっとくするまで話し合われました。昭和三十九年に、やっと面河ダムが完成しました。ダムからは、いくつもの山をトンネルでぬき、松山・新居浜平野に水が送られて行くようになったのです。まさに「夢の開発事業」でした。

面河ダムの完成と同時に、道後南北幹線水路から各地区に、専用水路がもうけられました。

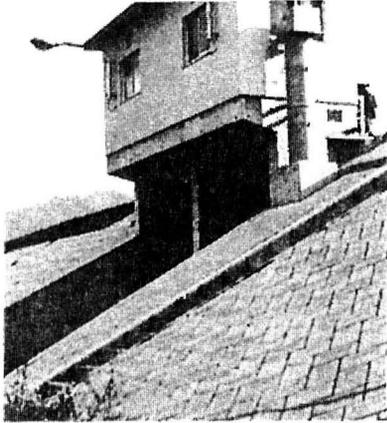
この事業の完成によって、今までの水不足がなくなり、安定した農業をしていくことができるようになりました。

重信町では、面河ダムの水路は、北と南の山間部を通っています。

北は、樋口を通り、西岡に向けてぬけ、久米方面へ通じています。

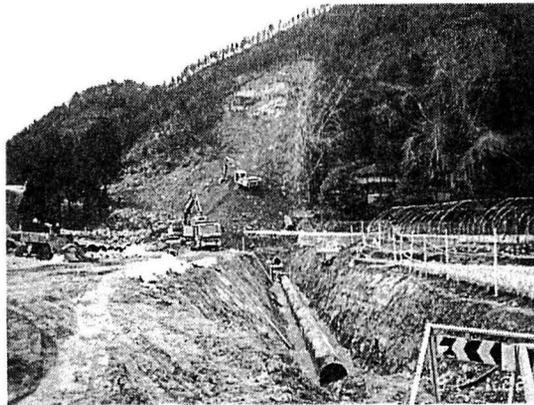


面河ダム放水路（樋口）

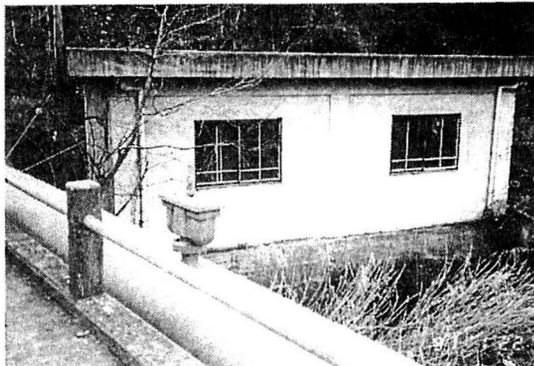


面河ダム送水管（西岡）

南は、下林の八幡地区をぬけ、佐古池へつながらり、そこから、上村を通って、伊予郡松前町へ通じています。



面河ダムの送水トンネル



面河ダム送水パイプ（下林八幡）

△調べてみよう▽

重信町を通っている面河ダムの専用水路の見学

・ 面河ダムの水の利用を土地改良のおじさんに聞いてみましょう。

(三) 大がかりな開発事業

1 ほ場整備

土地の改良は、どのように進められたのでしょうか。

いぜんから土地の改良は進められてきましたが、現在では、上林や下林地区で国・県・町・地元の協力をえて、大がかりな「ほ場整備事業」が行われています。



整備前の農地



整備後の農地

こうして、田や道路が広くなり、きちんと整備され、機械化が進み農作業や運搬がよくなりました。

### △調べてみよう▽

- ・ ほ場整備が行われる前の農地と整備された農地
- ・ 農道はどのように整備されたか
- ・ 重信町の発展につくした人

### △学習のまとめ▽

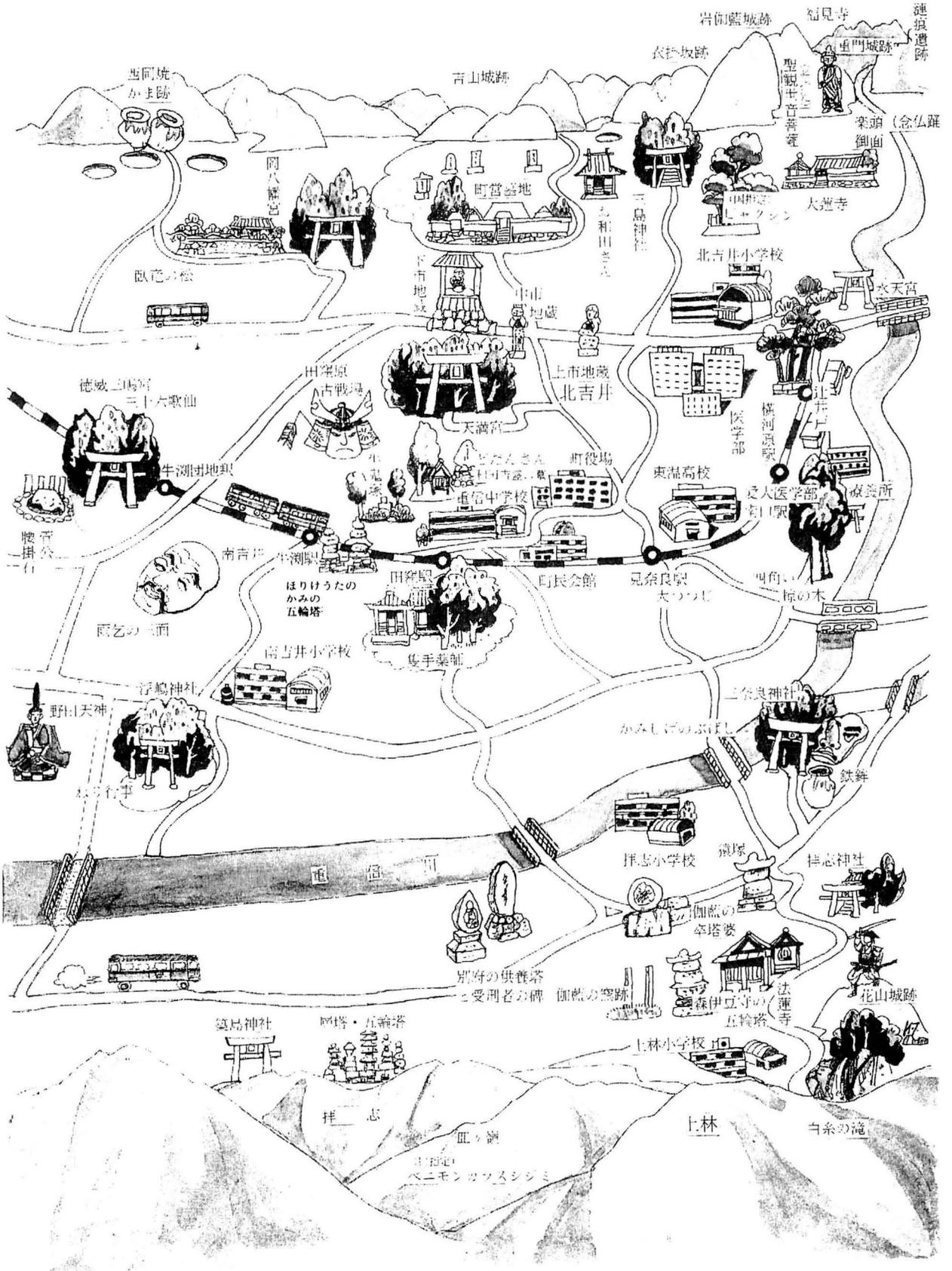
- 昔は、農業用水を手に入れるためにどのような努力をしたでしょう。
- 面河ダムによって、どのように便利になったでしょう。
- 自分の住んでいるところの農地は、どのように変わったでしょう。
- 農地のほ場整備は、何のために行われているのでしょうか。

# 重信町の指定文化財

ベニモンカラスシジミ	鉄 鉢	銭壺及び古銭	鼻 高面	経 塚	層塔及び五輪塔群	三輪田米山筆三十六歌仙図	大ツツジ	漣痕化石	五十八社大明神の雨乞い御免と楽頭	木像聖観音菩薩立像	ビヤクシン	文化財のなまえ
上林小	拜志小	拜志小	拜志小	拜志小	拜志小	南吉井小	南吉井小	北吉井小	北吉井小	北吉井小	北吉井小	校 区
重信町大字上林皿ヶ嶺千百メートル以上	重信町大字下林助兼 三奈良神社	重信町大字下林助兼 三奈良神社	重信町大字下林助兼 三奈良神社	重信町大字下林八幡	重信町大字下林仙幸寺	重信町大字北野田 徳威三嶋宮	重信町大字見奈良 池川松太氏宅	重信町大字山之内出合	重信町大字山之内麓	重信町大字山之内 福見寺	重信町大字樋口 大蓮寺	あるところ
県	町	町	町	町	町	町	町	町	町	県	国	指定したところ
二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二三	二二	二〇	一九	一〇八	ページ

# 《ふるさと「重信」の文化財と史跡絵図》

ざい しせきえず



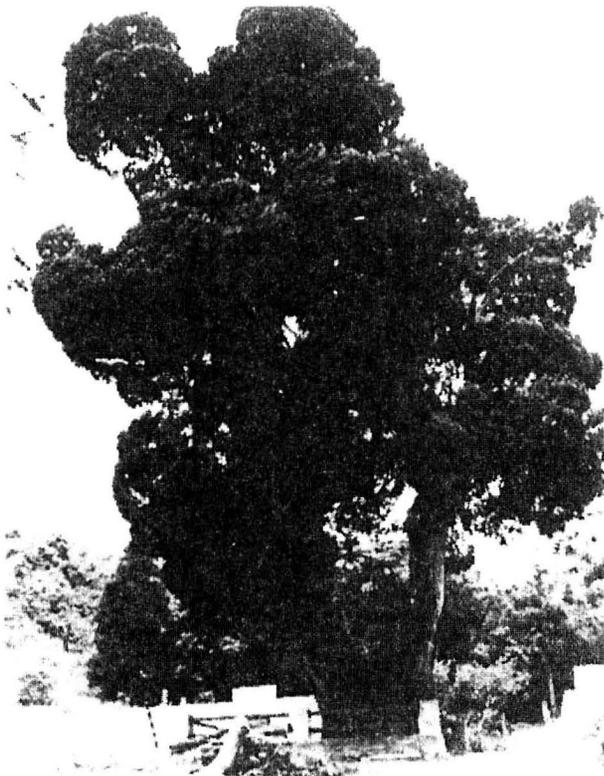
## ビャクシン

### 樋口 大蓮寺

樋口の大蓮寺にある「ビャクシン」は、昭和二十二年に、東京大学から本田正次博士が調べに来て、そのねうちがわかり、国指定の天然記念物となりました。

木の大きさは、根まわりが七メートルあり、地上一メートルのところまで二つの大きな枝に分かれ、その枝のつけねのまわりは、四メートルもあります。高さは二十メートルもあり、上の方まで、たくさん大きな枝が出ています。右の枝のはしから左の枝のはしまでは、十二メートルもある大きな木で、おおあおとしげっています。

木の年齢は、八〇〇年以上だと言われています。



このビャクシンは、愛媛県では三番目に大きく、ヒノキ科イブキの種類です。葉は全部針のように、ほそくどがったものです。日本一大きいビャクシンは、香川県の小豆島にあり、根まわりは十四・五メートルもあります。

木像聖観音菩薩立像

山之内 福見寺

福見寺は、福見山（一〇五三メートル）の頂上の近くにあります。

この福見寺に県指定文化財の聖観音菩薩立像があります。

像の大きさは、一六一センチメートルで、一本の檜ひのきで作られています。全身にうるしをぬったあとや、下半身には色をつけたあとがみられます。

現在は両手首から先がありませんが、ふっくらとした大へん美しい像です。今から約千年くらい前に作られたとみられています。

ふだんは、この像を見ることができませんが、毎年八月九日の福見寺の縁日えんいちには見るこ

のにぎわいをみせ、急な山道をお参りする人々がいます。  
山之内の愛媛碎石さいせきの工場の近くから登って  
いけます。



五十八社大明神の雨乞い御面と楽頭

山之内 麓

あまごいの面は、山之内麓の五十八社大明神に古くから伝わっています。この面は、猿の顔によくにっています。毎年八月十四日の夜、念仏踊り（楽頭）が行われ、この時、この面が使われます。

念仏踊りは、麓地区の薬師堂の前でたくさんの人々が集まって行われますが、その時、「大だいば」という役の人がこの面をかぶります。この面をかぶって踊ると、日でも雨の時でも雨が降り出すと言われています。それで麓の念仏踊りのことをあまごい踊りともいっています。

むかし、麓地区には、重門城（麓城・十門城）という城がありました。この城のお殿さ

ま加藤遠江守が、この面を大切にしていたそうです。

重門城については、まだ十分な調査が行われていません。くわしい調査をすれば、麓地区のことがもっとくわしくわかると思います。



## 漣痕化石

### 山之内 出合

漣痕とは、波や流水、風によって砂などの表面にできた波形の跡をいいます。

この漣痕の化石は、今から約七千万年前、(恐竜が減びるちよつと前) 中生代の終わりにできたものです。

昭和五十四年十二月、関西の大学の地質研究グループが、山之内の出合で発見し、重信町指定の天然記念物となりました。発見された場所は、重信川の源に近い木地部落の東方約一キロメートルのところにあります。

写真のように、たて約五〇メートル、よこ二〇メートルの一枚岩の表面に、漣痕化石ができています。その大きさは、日本で発見されている同じ化石の中では最も大きいと言わ



れています。これは地球の地殻変動によって海だったところが陸となり、水平に積み重なったはずの地層が南に五〇度傾き、上部に積み重なった地層が川の水でけずりとられたり、くずれたりしてできたものです。このことから、この地方に大きな地殻変動があったことがわかります。

## 大ツツジ

見奈良 みなら

毎年春になると、見奈良の池川松太さんのお家の庭に美しい花を咲かせる大きなツツジがあります。

このツツジは長崎県平戸島の古い品種で、あかむらさきのきれいな花をたくさん咲かせます。五月五日〜十日ごろがちょうど満開で見ごろとなります。

木の高さは二・八メートルもあり、枝は外向かって二・七メートル〜三メートルも張り、その周りは二〇メートルにもなります。幹は地面から四〇センチメートルのところ、大きな枝を円形に十数本出し、全体がおまんじゅうの形をしてよく整っています。

木の年齢は一二〇年ほどと言われ、県内で

も指おりの古い大木に入ります。その価値が認められ、昭和五十六年に重信町指定の天然記念物となりました。

ツツジには三〇〇種余りの品種があり、日本での栽培の始まりは江戸時代（一六六〇年ごろ）だと言われています。



三輪田米山筆「三十六歌仙図」

北野田 徳威三嶋宮

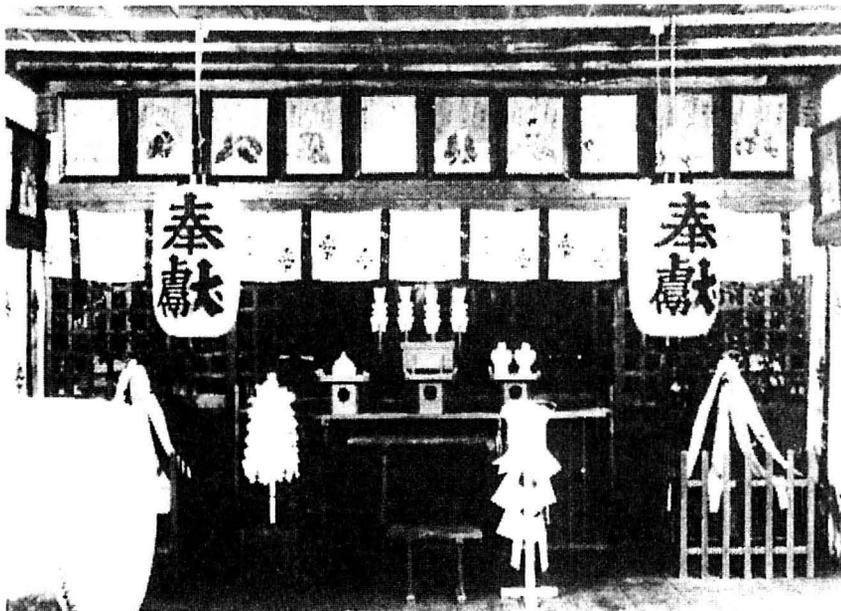
三輪田米山という人は、今の松山市（久米）

で生まれた、字を書くのがたいへんじょうずな人でした。その米山が一九〇〇年ごろ、昔の人が作った和歌を木の板に書いて三嶋神社におさめたものだと言われています。

三十六歌仙というのは、大昔から、日本で和歌を作るのがじょうずだった代表的な三十六人のことです。その三十六人のすがたを藤田先蔵という人が絵にかき、米山がその人たち一人一人の歌を書いたものです。

たてが四十四センチメートル、よこが二十三・五センチメートルの木の板に、一人一人のすがたと歌がかかれてあり、全部で三十五まい残っています。米山が書いた文字で、三

十六歌仙の絵と組合せになっている作品は、他にはありません。



## 層塔と五輪塔群

### 下林 仙幸寺

下林の仙幸寺に石を重ねて作った塔があります。下林の仙幸寺に石を重ねて作った塔があります。

層塔のほうは、五重の塔のように石の屋根を五つ重ねているように見えますが、実は二番目から上の屋根は一つの石をきざんで作られています。高さが、一・八メートルくらいあり、かなり大きな塔です。層塔は二つあったはずなのですが、一つは下の方だけしか残っていません。

五輪塔の方も、やはり石を重ねて作られたもので、層塔の左右に合計五つの同じような形をしたものが残っています。最も大きいものの上の部分がなくなっています。

これらの石の塔は、鎌倉時代の終わりころ

に、戦いで亡くなった武士のために作られたと言われています。下林の人々は、これらの塔を昔から「おたちゅうさん」とよび、いろいろな所にあつたものを一か所に集めて、今もおまつりをしています。



## 経塚きょうづか

### 下林はちまん 八幡

下林の八幡にある拝志神社の西の田んぼの中にある小さなおかのことです。このおかは一辺が七メートルくらいの四角形をしており、おかの上には、石の塔とうが一つ立っています。

このおかは、昔から猿塚さるづかとよばれていて、どうも昔の人がお経きょうを書き写して、せんぞをお祭りするために、このおかの中におさめたものようです。作られたのは今からおよそ五〇〇年くらい前であろうと言われています。これほど大きな経塚きょうづかはたいへんめずらしく、その当時さうとうの力を持っていた人がいたか、みんなで力を合わせて作ったのだろうか、考えられています。近くに拝志神社があるとすることも、このおかが作られたことと関係かんけい

があるのかもしれない。

また、おかの上にある石の塔もたいへんめずらしい形をしたものですが、かなりいたんでいるので、どういものかはっきりわかっていません。



鼻はな 高たか 面めん

下林 三奈良神社みならじんじや

鼻高面はなたかめんは、檜ひのきの木でできており、はじめはしゅ色がぬってあったようですが、今ははげで木のはだが出ています。この面はかざりけがなく力づよい作りです。土地の人が作ったものであると言われています。

面の鼻は、つぎ鼻といってさしこむようになっていきます。ひもをつけるあながあるので、お祭りなどのときにかぶった面だろうと言われていています。作られたのは、永録三年（一五六〇年）で、三奈良神社みならじんじやの本でんをたてたとき、相原出雲守あいばらいずものかみという土地の頭かしらがおさめたものです。このことは、「三奈良大明神縁起えんぎ」という本や、神社のむな木のふだにも書かれています。

相原出雲守あいばらいずものかみは、天神森城てんじんもりじょうのお殿さまどのまで、お城は上林にあったことになっていますが、今の場所にはつきりしていません。



## 錢壺と古錢

### 下林 三奈良神社

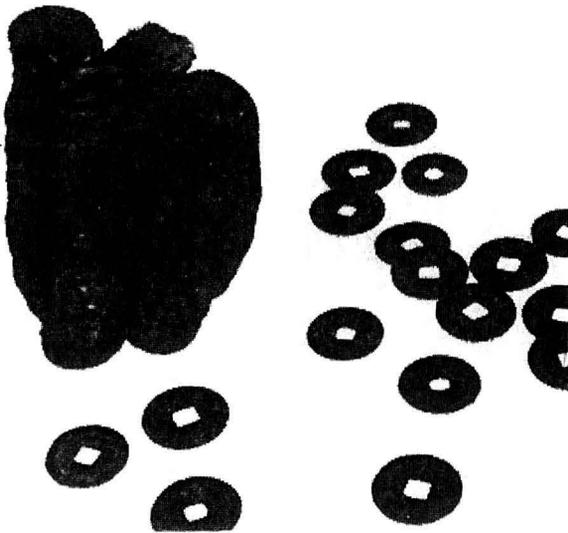
昭和三十一年六月、下林定力の「古大寺」という田んぼから、古いやきもの大きなつぼが二つ見つかり、ほり出しました。

このつぼの高さは、六十八センチメートル、まわりは一九五センチメートルあります。

そのつぼには、古錢がぎっしりつまっていました。二つのつぼの古錢を合わせると、約十萬まいもありました。古錢は日本のものではなくて、中国の宋、明の時代のもので、日本では平安時代、室町時代にあてはまりません。

これだけたくさん古錢が発見されたという事は、そのころこの地方にたいへんなお金持ちが住んでいたということが考えられます。

す。重信町の歴史を知るための大切な資料です。



鉄てつ  
銚ほこ

下林 三奈良神社  
みならじんじや

銚ほこというのは、先のとがったやりのようなもので、全体の長さが一〇九・八センチメートル、銚先ほこさきが二〇・五センチメートルで鉄で作られています。その銚の柄えのところ、つぎのようなことが書かれています。

応永おうえい二十八年四月二十六日

奉納ほうのう

滝之宮三嶋大明神たきのみやみしまいみょうじん

土地の頭かしら 太郎三郎たろうさぶろう

この銚は、室町時代むろまちにこの土地の頭かしらであった太郎三郎たろうさぶろうという人が、三奈良神社に奉納ほうのうしたものです。滝之宮大明神たきのみやというのは、三奈良神社の大昔のよび名です。

三奈良神社は、お宮の名前がいろいろかわってきました。ずっとむかしは、「神明宮しんめいぐう」

「滝之宮たきのみや」などと言われていたころもあり、「滝之宮三奈良大明神たきのみやみならだみょうじん」「三奈良大明神」と言われたこともありました。このように、この鉄銚てつほこは三奈良神社のいわれを知る上で、またこの地方のむかしのようすをしらべるのに、大切な資料しりようです。



## ベニモンカラスシジミ

### 上林 皿ヶ嶺の山中

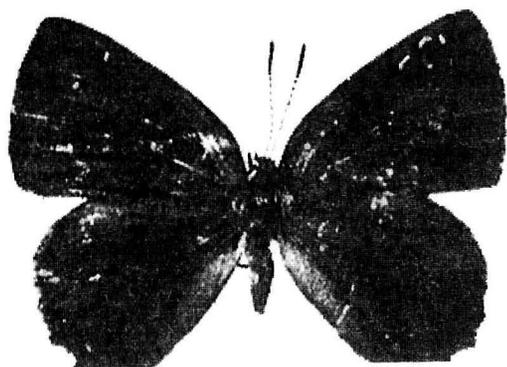
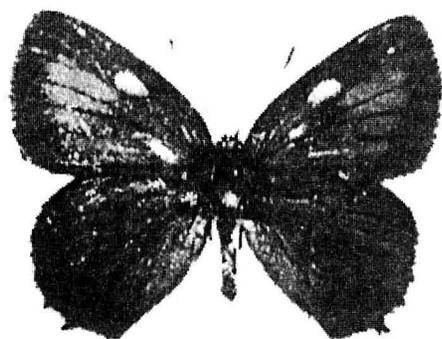
ベニモンカラスシジミというのは、皿ヶ嶺さらがみねの北がわに生息せいそくしているたいへんめずらしいチョウです。昭和三十一年に、上林のおく、高さが一〇〇メートルから一二〇〇メートルくらいの林の中で発見されました。

日本で新しいしゅるいのチョウが発見されたことは、たいへんめずらしいことだったので、このあたりにしか住んでいないチョウだったので、昭和三十七年に愛媛県の天然記念物てんねんきねんぶつとなり、大切に保護ほごされることになりました。

このチョウは大きさが三センチくらいで、黒っぽい色をしています。オスにははつきりとした赤いもようが見られます。

数がたいへん少なく、住んでいた林が切り

ひらかれていったことなどによって、今ではそのすがたをほとんど見ることができなくなっ  
てしまいました。もし見つけたら、つかまえ  
たりせず、そっと見まもり大切に保護ほごしてい  
きましょう。



# 重信町のうつりかわり

80年まえ	90年まえ	100年まえ	110年まえ	年前
一九〇七	一九〇一	一八九三	一八七四	西暦
明治三十九年	明治三十四年	明治二十六年	明治七年	年号
<p>養蚕がさかんになった。 田窪郵便局ができた。</p>	<p>なしのさいばいが始まった。 伊予鉄の汽車が横河原まで通じた。 植林をはじめた。</p>	<p>北吉井村、南吉井村、拝志村ができた。 伊予鉄の汽車が松山から平井まで通じた。</p>	<p>このころさかんに泉をつくったり掘貫がおこなわれた。 はじめて小学校ができた。</p>	おもなことがら
<p>このころ、横河原駅に営業用の人力車が、続いて客馬車ができた。ラッパの音をひびかせながら、川内、丹原方面へお客をはこんだ。</p>	<p>農産物は貨車で送るようになった。</p>	<p>大八車、牛・馬車があらわれ、馬の背による運搬は少なくなった。</p>	<p>重信町には、金比羅さんへ行く道が三つあったため、人や馬のいきぎが多く、志津川や田窪は宿場となつてにぎわっていた。 農産物などの運搬は馬の背でおこなっていた。</p>	人口

50年まえ				60年まえ				70年まえ							
一九四八	一九四七	一九四七	一九四五	一九四二	一九四一	一九四一	一九三九	一九三二	一九三〇	一九三〇	一九二八	一九二二	一九二一	一九二〇	一九一九
昭和二十三年	昭和二十二年	昭和二十二年	昭和二十二年	昭和十七年	昭和十六年	昭和十六年	昭和十四年	昭和七年	昭和五年	昭和五年	昭和三年	大正十一年	大正十年	大正九年	大正八年

横河原と西条を結ぶ、乗合自動車ができ  
みかんのさいばいがはじまった。  
北吉井村、南吉井村に電燈がともった。  
横河原郵便局ができ

大正六年ごろ、川上村の越智^よ六が、川上と横河原を結ぶ乗合  
自動車をはじめた。

乗合自動車ができ  
たため、客馬車は  
姿を消し、人力車  
が六台きりとなっ  
た。大正十年

電話が通じた。  
横河原橋が木橋からコンクリート橋になっ  
横河原に簡易水道ができ  
山之内の除えんていの工事がはじまった。

愛媛療養所ができ  
北吉井村森林組合ができ  
太平洋戦争がおこった。  
拜志村森林組合ができ

太平洋戦争がおわった。  
拜志郵便局ができ  
山之内に電燈がともった。  
吉井中学校ができ  
農業協同組合ができ

一九二〇年  
(大正九年)  
九、九八九人

一九二五年  
(大正十四年)  
一〇、二九五八人

一九三〇年  
(昭和五年)  
一〇、五四五八人

一九三五年  
(昭和十年)  
一〇、五〇〇八人

一九四七年  
(昭和二十二年)  
一五、一二四八人

20年まえ

30年まえ

40年まえ

一九七三	昭和三十八年	一九六〇	昭和三十五年	一九五八	昭和三十二年	一九五〇	昭和三十五年	一九四八	昭和三十二年
一九七二	昭和三十七年	一九六五	昭和三十四年	一九五九	昭和三十二年	一九五〇	昭和三十五年	一九四八	昭和三十二年
一九七二	昭和三十七年	一九六六	昭和三十四年	一九五九	昭和三十二年	一九五〇	昭和三十五年	一九四八	昭和三十二年
一九七二	昭和三十七年	一九六七	昭和三十四年	一九五九	昭和三十二年	一九五〇	昭和三十五年	一九四八	昭和三十二年
一九七二	昭和三十七年	一九六八	昭和三十四年	一九五九	昭和三十二年	一九五〇	昭和三十五年	一九四八	昭和三十二年
一九七二	昭和三十七年	一九六九	昭和三十四年	一九五九	昭和三十二年	一九五〇	昭和三十五年	一九四八	昭和三十二年
一九七二	昭和三十七年	一九七〇	昭和三十四年	一九五九	昭和三十二年	一九五〇	昭和三十五年	一九四八	昭和三十二年
一九七二	昭和三十七年	一九七一	昭和三十四年	一九五九	昭和三十二年	一九五〇	昭和三十五年	一九四八	昭和三十二年
一九七二	昭和三十七年	一九七二	昭和三十四年	一九五九	昭和三十二年	一九五〇	昭和三十五年	一九四八	昭和三十二年
一九七二	昭和三十七年	一九七三	昭和三十四年	一九五九	昭和三十二年	一九五〇	昭和三十五年	一九四八	昭和三十二年

東温高等学校ができた。  
 私立双葉保育所ができた。  
 拝志線のバスが通いだした。  
 私立仲よし幼稚園ができた。  
 南吉井保育所ができた。  
 坊ちゃん列車がディーゼル車となった。  
 拝志保育所ができた。  
 北吉井村・南吉井村・拝志村が合併し重信町となった。  
 北吉井、南吉井公民館ができた。  
 山之内荒木谷までバスが通いだした。  
 拝志公民館ができた。  
 重信中学校ができた。(吉井中学、拝志中学、山之内中学が統合)  
 双葉保育所が町立となった。  
 上重信橋ができた。  
 重信郵便局ができた。  
 山之内の藤之内までバスが通いだした。  
 山之内に砕石場ができた。  
 重信町舎ができた。  
 拝志大橋ができた。  
 第一養護学校ができた。  
 重信町中央公民館ができた。  
 横河原線が電化した。  
 学校給食センターができた。  
 町営の簡易水道ができた。  
 山之内小学校が北吉井小学校に統合された。  
 山之内にごみ焼却場ができた。  
 電話が自動化した。  
 南吉井第二保育所ができた。  
 松山刑務所が見奈良にできた。  
 第二養護学校ができた。  
 第三養護学校ができた。  
 重信町総合開発計画が定められた。

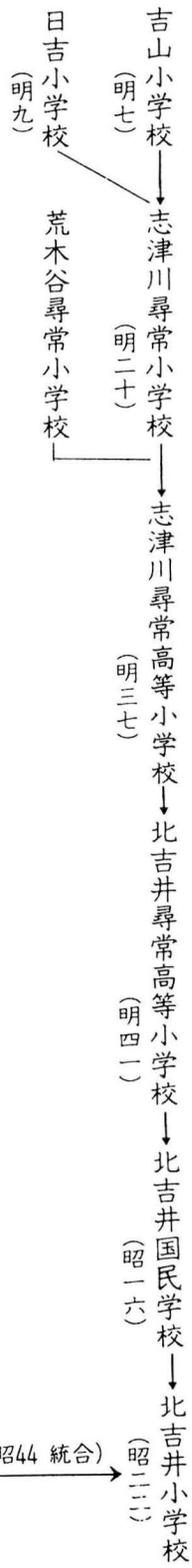
一九五〇年  
 (昭和二十五年)  
 一五、九五〇人  
 一九五五年  
 (昭和三十年)  
 一五、七一〇人  
 一九六〇年  
 (昭和三十五年)  
 一四、七〇三人  
 一九六五年  
 (昭和四十年)  
 一四、〇四一人  
 一九七〇年  
 (昭和四十五年)  
 一四、〇五六人

10年まえ

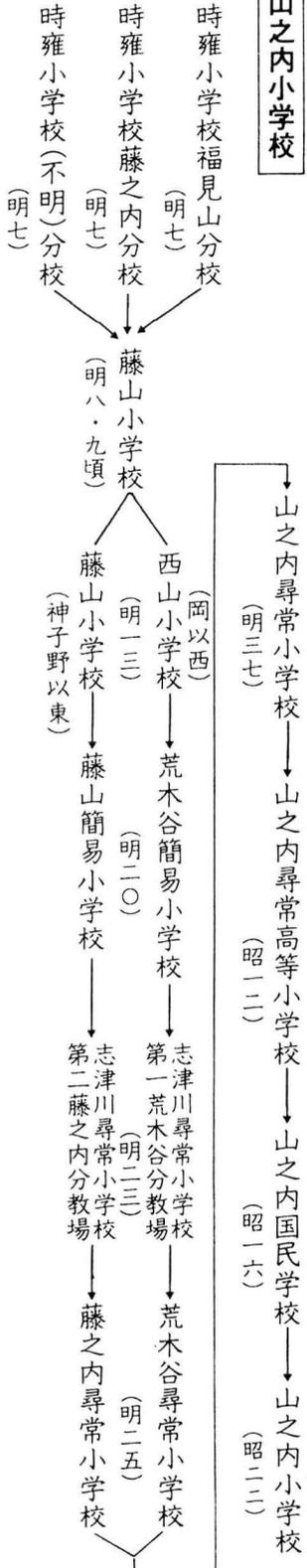
一九七四	昭和四十九年	愛媛大学医学部ができた。	一九七五年
一九七五	昭和五十年	重信幼稚園ができた。	一九七五年
一九七六	昭和五十一年	愛媛県緑化センターができた。	一九七五年
一九七七	昭和五十二年	北吉井幼稚園ができた。	一九七五年
一九七八	昭和五十三年	重信町農業協同組合ができた。(拝志・南吉井・北吉井が合併)	一九七五年
一九七九	昭和五十四年	重信町清掃センターができた。	一九七五年
一九八〇	昭和五十五年	東温消防署ができた。	一九七五年
一九八一	昭和五十六年	学校給食センターが新築された。	一九八〇年
一九八二	昭和五十七年	重信町森林組合ができた。(北吉井・拝志が合併)	(昭和五十五年)
一九八三	昭和五十八年	町民会館ができた。	二〇、〇七〇人
一九八四	昭和五十九年	町民憲章と町花「きく」町木「もくせい」が決められた。	
一九八五	昭和六十年	農林業者トレイニングセンターができた。	
一九八六	昭和六十一年	国道十一号バイパスが開通した。	
一九八七	昭和六十二年	見奈良大橋ができた。	
一九八八	昭和六十三年	重信町プールができた。	一九八五年
一九八九	昭和六十四年	重信町図書館 歴史民俗資料館ができた。	(昭和六十年)
一九九〇	昭和六十五年	町制三十周年記念式典が行われた。	二一、三八〇人
一九九一	昭和六十六年	上重信橋ができた(ふるい橋をこわす)	
一九九二	昭和六十七年	重信町農村環境改善センターができた。	
	昭和六十八年	重信町農業協同組合が新築された。	
	昭和六十九年	上林地区でほ場整備事業が始まる。	
	昭和七十年	上村大橋ができた。	
	昭和七十一年	カントリーエレベーターができた。	
	昭和七十二年	下林に愛媛県花き総合指導センターができた。	

# 重信町内の小・中学校のうつりかわり

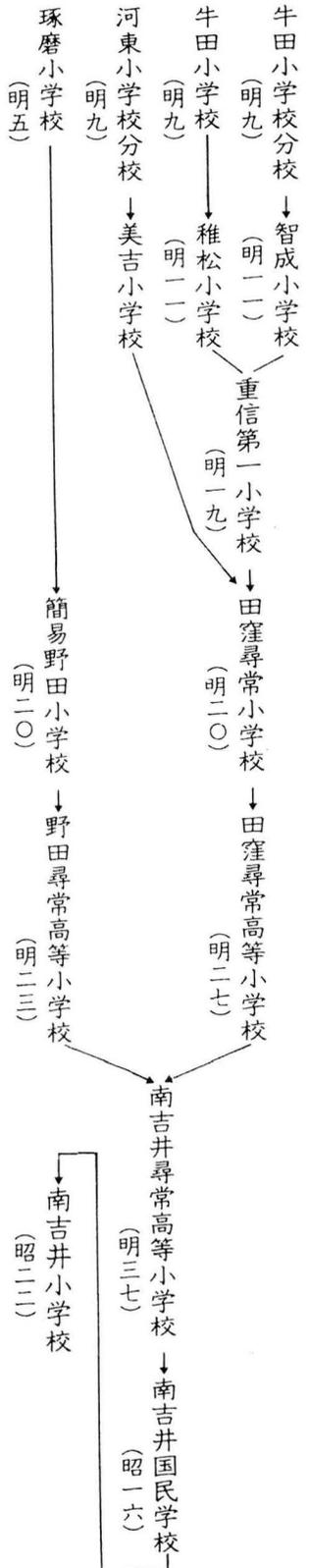
## 北吉井小学校



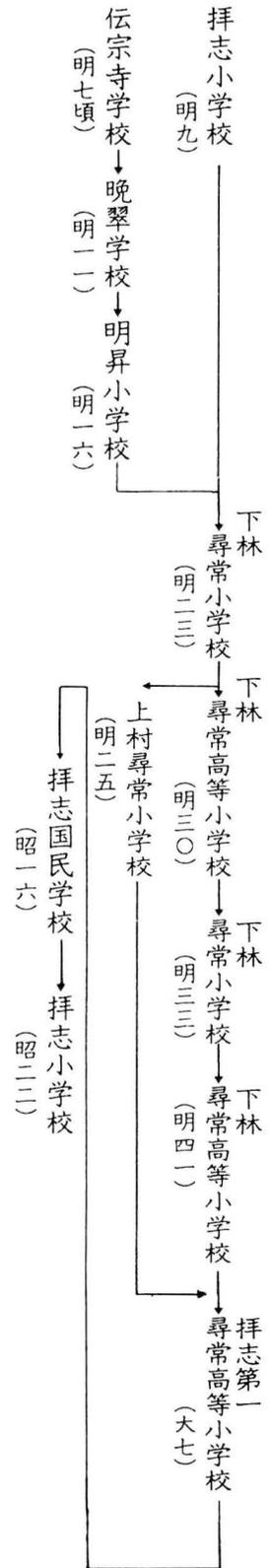
## 山之内小学校



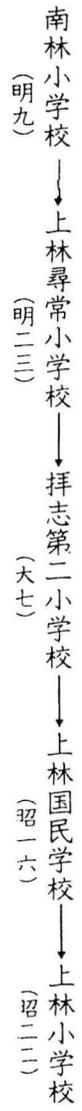
## 南吉井小学校



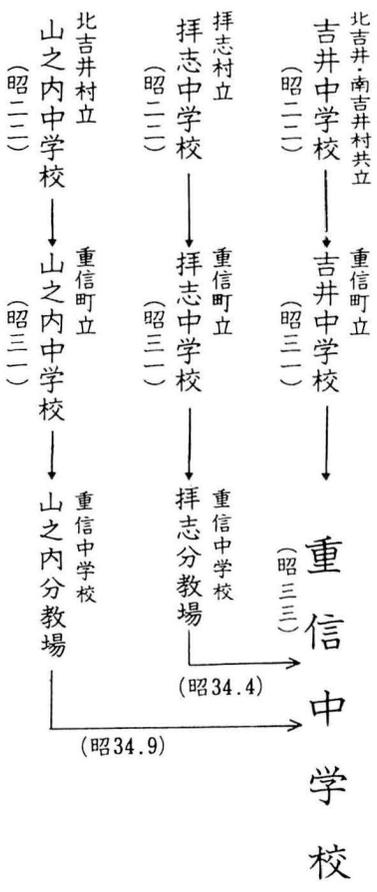
揖志小学校



上林小学校



重信中学校



編 集 委 員

学 校 名	氏 名	備 考
北吉井小学校	宇都宮 雅 雄	校 長
	戒 能 申 脩	教 頭
	相 原 富美子	教 諭
南吉井小学校	土 居 茂 男	校 長
	中 矢 俊 江	教 諭
	西 村 徳 夫	教 諭
	深 井 泰	教 諭
拝志小学校	井 上 勝 美	校 長
	高 橋 久 枝	教 諭
上林小学校	高 橋 信 夫	校 長
	山 内 志津江	教 諭
重信中学校	日 野 良 二	校 長
	橋 本 勝 司	教 頭
	菅 野 邦 彦	教 諭
	堀 内 秀 樹	教 諭



『わたしたちの重信町』

平成四年四月一日 発行  
 小学校三・四年生社会科資料

編集者 重信町教育委員会  
 発行者 教育長 高橋 謙 一  
 印刷所 松山市小栗六丁目三一二三  
 (有) 青葉図書